

之地。①遷移也。②弘布也。③流産也。④典物過期而失其有也。⑤企事而中止也。

なかれ〔助〕(莫) 禁止之辭。勿也。毋也。

ながれ〔活名〕(流) ①流也。流物也。②川也。③盃酒之餘滴也。④系統也。源氏之。⑤傳統也。⑥典物過期而失其有也。⑦企事而中止也。

ながれ〔添〕(旒) 數旗之語。ふた一の白旗。白旗二旒也。

ながれき〔名〕(流水) ①流水也。②罹流刑之人也。

ながれくわんぢやうぢやう〔名〕(流灌頂) 佛事也。水邊立四柱。懸以白布。加栴葉者。以祭不食之鬼溺死之鬼。又或以祭女子難産而死者之靈。

ながれめ〔名〕(流女) 娼妓之異名。

ながれや〔名〕(流矢) それや。りうし。矢之飛於意外之地者。

ながわきぎし〔活名〕(長脇差) ①徳川時

かばれ

なきこと〔名〕(泣言) 愁訴也。

なきことゑ〔名〕(泣聲) 涕泣中之語。聲有淚氣者。

なきさ〔名〕(渚) 水濱波來之處。泚也。汀也。一曰なみうちぎは。

なきしづむ〔動ま四〕(泣沈) 不堪悲哀而沈泣也。

なきじやうぢやうぢやう〔名〕(泣上戸) 動輒泣之人。有泣癖人也。

なきたま〔名〕(亡魂) 死者之靈也。(亡靈。死靈)

なきつら〔名〕(泣面) 泣時之顔容也。

なきな〔名〕(無名) 謂無實之惡名。(冤名) ながなた〔名〕(長刀) 武器之一種。刃廣而長。其櫛

長。用薙倒敵足。薙刀。尖刀。眉尖刀。皆同。

なきぬいり〔活名〕(泣寐入) ①泣且睡也。②不慊意而遂許諾之曰。 [たなきな]

代。博徒佩長刀者之異名。①凡博徒之稱。

なかる〔活名〕(仲居) ①婢之給事家中者。②娼閨之婢。老於情事。佐妓而待客者。

ながる〔活名〕(長居) 謂久不去座。一す〔動〕

なかりせば〔句〕 なかりせば之音便。同な

なかんづく〔副〕(就中) 中かにつき之音便。衆物中摘取其一而言之語。とりわけ。こ

とに。其の中でも。皆同。

なき〔名〕(水葱) ①みづあふひ類之水草。其葉細者謂こなき。②あさぎ。持也。

なき〔名〕(椰) 喬木也。葉似水葱。其成長。高及二三丈。一名竹柏。(仙動木)

なき〔活名〕(風) 謂海上風止波靜。なきいる〔動ら四〕(泣入) 泣也。同なきしづむ。

なきがほら〔名〕(泣顔) 泣時之顔容。同なきつら。

なきがら〔名〕(亡軀) 死尸也。(死骸) 同し

なきやうぢやうぢやう〔名〕(奈行) 五十音圖中之第五行。即なにねれの之五音也。一へんか

く〔名〕(奈行變格) 語學之語。なきりばりぢやうぢやう〔名〕(菜切庖丁) 用於切蔬菜之刀。刃薄而未鈍。

①同義) うすは(薄刃)。

なきる〔動か上二〕(風) なが之今言。なきわらひり〔活名〕(泣笑) 泣且笑也。

なく〔動か四〕(泣) 泣也。なく〔動か四〕(啼) 禽獸蟲之鳴號曰。

なく〔助〕(不) ぬ之長言。見一に。不見也。なく〔動か四〕(和) やはらぐ。和也。

なく〔動か四〕(薙) 謂橫擊如薙草。又擊倒也。

なく〔動か上二〕(和) 靜定也。靜穩也。なく〔動か下二〕(風) 風止也。波平也。

なく〔動か下二〕(擲) なげうつ之約言。抛擲也。

なくさみ〔活名〕(慰) 慰安也。嬉遊也。なくさむ〔動ま四〕(慰) 嬉遊也。忘憂也。

なぐさむ〔動ま四〕〔慰〕 謂愚弄人。 〇

謂強姦婦女。

なぐさむ〔動ま四〕〔慰〕 慰藉也。慰問也。

なぐさむ〔活名〕〔慰〕 以言若事慰安人心

曰。

なぐす〔動さ四〕〔無〕 使之消亡也。又亡失

也。

なぐなく〔副〕〔泣泣〕 此語下附屬動詞。爲

泣且爲某事之語。「行く」泣且行也。「

言ふ」泣且言也。

なぐなす〔動さ四〕 謂使之消亡也。又亡失

也。「子を」喪子也。

なぐなる〔動ら四〕 〇亡滅也。亡失也。 〇

死歿也。

なぐはし〔動〕〔形動〕〔名細〕 高名也。(著名

一さ〔形名〕 一さ〔形〕 一く〔副〕

なぐらど〔名〕〔名倉砥〕 三河州設樂郡名

倉村所産之砥石。

なぐらはは〔名〕 心之異名。

なぐる〔動ら四〕〔擲〕 〇痛撃也。 〇たゝ

く。ぶつ。毆打也。

なぐれる〔動ら下一〕 〇謂飛去於意外之

方。就矢丸等而言。 〇謂疾病快復之遲。

なげちつ〔動た四〕〔擲〕 投擲也。又投與也。

なげかし〔形動〕〔歎〕 なげかばし之約言。

一さ〔形名〕 一さ〔形〕 一く〔副〕

なげかはし〔動〕〔形動〕〔歎〕 可歎之義也。

一さ〔形動〕 一さ〔形〕 一く〔副〕

なげき〔活名〕〔歎〕 悲歎也。一ことば〔名〕

のきり〔名〕 悲痛也。以濃霧四塞形容

之。

なげく〔動か四〕〔歎〕 〇謂憂溢於心而長

大息。 〇悲愁也。 〇情願也。

なげし〔名〕〔長押〕 ながおし之約言。謂所

横於かもえ(上關子)之上之材。(承塵)

なげしまだ〔名〕〔投島田〕 島田鬻之結

束居下。其觀殊艶冶者。

なげやり〔名〕〔投槍〕 短槍也。擲而傷敵

者。

なげやり〔名〕 同やりばなし。謂忽略事務

而不省。(等閑)

なげやる〔動ら四〕〔投遣〕 〇投擲而與之

也。 〇仍舊不改之謂。

なごし〔活名〕〔夏越〕 祭名也。陰曆六月

三十日行之。一名なつばらへ。(夏被)たい

ないくどり。みなづきのばらへ。(水無月

被)

なごやねび〔名〕〔名古屋帯〕 文祿寛永中。

桐絲爲細圓條索。兩

端有總。以重纏

腰間代帶。男女

皆用之。其色不一。

肥前州名古屋人創之。故名。

なごやせん〔名〕〔名古屋扇〕 尾張州名古

屋所製。扇子之一種。

(なごらん〔名〕〔名護蘭〕 沖繩島名護岳

所産。似蘭之草。一名仙人脂甲蘭。

なごり〔活名〕〔餘波〕 〇謂風斂而水波仍

搖。 〇謂潮濤去後殘於岸上之水。 〇謂



〔びおやごな〕

物既逝而其氣猶存。夜の「待ちし」。

別後情仍牽曰「袖の」。〔名殘。殘懷〕

なごりをし〔形動〕〔名殘惜〕 惜別也。離別

不堪情也。 一さ〔形名〕 一さ〔形〕 一

く〔副〕

なごりをしし〔形動〕 なごりをし之音

便。 一さ〔形名〕 一さ〔形〕 なごりを

しき之音便。 一ち〔副〕

なごん〔名〕〔納言〕 古官名也。有大納言

中納言小納言。

〔なごり〕〔助〕 なされ之轉。敬語也。お見

請見也。

なさけ〔名〕〔情〕 〇憐憫也。情愛也。 〇風

流心也。

なさけなしい〔形動〕 なさけなし之音便。

無情也。 一さ〔形名〕 一い〔形〕 なさ

けなき之音便。 一ち〔副〕

なざし〔活名〕〔名指〕 謂指示姓名。(指名)

なざる〔助〕 爲す之敬語。「見」。

なし〔名〕〔梨) 木名。其實夏熟。水氣多。脆

而甘。一名ありのみ。

なし(助)(無) ①無也。有之反。 ②死歿也。

③出而不在家也。

なしらち(活名)(梨子打) 烏帽子之一種也。其徽似梨子皮之斑紋。

①なしじか(副)(如何) 何しか之略。猶言如何而也。「は取られん」。

②なしくづし(活名)(濟崩) 謂期年月漸次分還所借之全額。

なし(名)(梨地) まきゑ(蒔繪)之一種也。謂以金銀粉點似梨子皮之斑紋者。一名ちりぢ。(梨文)

なしつぼ(名)(梨壺) 昔時。禁中五舎之一也。本名照陽舎。

なしじみ(活名)(馴染) ①與人親狎也。 ②親善也。懇交也。(執識)

なしむ(動ま四)(馴染) ①なれしたしむ。なつく。親善也。懇交也。 ②數誦熟於口。謂なしむ。同なすむ。

なじる(動ら四)(詰) 詰問也。詰責也。

なす(名)(茄子) なすび之略言。

なす(動さ四)(爲) ①爲某事之爲也。 ②作爲也。謂化某物爲某物。

なす(動さ四)(成) ①こしらふ。做也。製作也。 ②成就。

③(同義) つかす。しあぐ(仕上)。

なす(動さ四)(生) うむ。出生也。つかす。使成就也。

なす(動さ四)(濟) 謂返還所借之物。

④(同義) かへす(返)。すます(濟)。つくのふ(償)。

なす(動さ四)(鳴) 與ならず同。何爲乎不鳴其善鳴者也之鳴也。

①なす(動さ四)(寐) め(寐)之古言。

②なす(添) 肖似之義。如也。似也。「さばへ」
一蝦夷等。

なすび(名)(茄子) 草名也。高二三尺。自夏涉秋著紫花。其實紺鐵色。鹽醃食之。又煮若炙爲食。

なすらふ(動は下二)(準) なぞらふ。たぐふ。准也。擬也。

なする(動ら四)(擦貼) 塗抹也。

①なせ(名)(名兄) 女親男而呼之語。猶曰夫君。

②なせ(副)(何故) どうして。どういふわけで。③所以之語也。一は(副)

なぞ(名) なぞく之略言。

①なぞ(添)(等) などの轉訛。

②なぞ(名)(謎辭) 何ぞ何ぞ之義也。一人隱事而發問。一人推測而置對之戲。猶隱語。同なぞ。

③なぞらふ(動は下二)(準) なぞらふ之古言。

なぞへ(名)(準) なぞらふ之義。又同ななめ。ばす。傾斜也。

なぞらふ(動は四)(準) 准也。擬也。與なすらふ同。

④(同義) くらぶ。たぐふ。なすらふ。

なそり(名)(納蘇利) 雅樂曲名。元傳自高麗。

なた(名)(鈍) 刀之刃厚巾廣。稍爲弓形。

者。用於伐木。樵者之具也。一名彎刀。

なだ(名)(灘) 海中常有怒濤。難於舟航之處也。

なだい(名)(名題) ①牌示姓名謂一。

②(名代) 著名之謂。

なだいめん(名)(名對面) 謂相見而迭告其名。(名調)

①なだかい(形動) なだかし之音便。

②なだか(形動)(名高) 著名也。一さ(形名) 一さ(形) 一く(副)

なだぎより(名)(灘鱈) 魚名也。一名だつ。

なだたる(形動)(名立) 名立ちてある之約言。其名特著之謂。

なたね(名)(菜種) 油菜之種子也。以製燈油。

なたまめ(名)(鈍豆) 豆之一種也。莢形似なた。故名。莢實共可食。一名たちばき。

なた(名)(白刀豆。狹劍豆)

なだむ(動ま下二)(宥) ①慰撫也。使霽怒。

也。●救宥也。

なだめぎけ(名)(灘日酒) 攝津州自西宮

至兵庫之海日灘日。其近地所釀之酒。品

上上者曰。又略曰なだぎけ(灘酒)

なだめる(動ま下二) なだむ之今言。

なだらか(形名) ●平坦也。平穩也。●傾

斜之度太緩也。―に(副)

なだる(動ら下二)(傾) ●傾斜也。●物

之斜崩墜曰。

なだれ(名)(類) ●物沿斜面而崩墜也。●

山腹積雪。至春其下層先融。一時崩墜者

曰。(類雪)

なちむろ(名)(那智黒) 紀伊州那智海邊

所産之試金石。其色純黒。以製棋石。

なつ(名)(夏) 四季之一也。春後秋前三

月間。

なづ(動下二) ●撫摩也。●あはれむ。

いづくしむ。愛撫也。撫循也。天下の民を

なつあづき(名)(夏赤豆) あづき之一種。

其實夏熟者。

なついちご(名)(夏苺) 苺之一種也。一名

とくりいちご。

なつらめ(名)(夏梅) ●娑羅樹之一名。●

またたび之一名。

なつかび(名)(夏影) 夏木清陰曰。

なつかし(形動)(懐) ●可慕之義。又親睦

也。●戀戀之義。又可愛也。―さ(形名)

―さ(形) ―く(副)

なつかしい(形動) なつかし之音便。

―い(形) なつかしき之音便。―う(副)

なつかしぐさ(名) 草名。なでしこ之異

名。(石竹)

なつき(名)(夏季) 夏時也。

なつき(名)(夏着) 夏時所着之衣服曰。

夏衣也。暑衣也。

なづき(活名) 書姓名之票也。降服或入

門之時以爲證。

なつきく(名)(夏菊) 草名。菊之夏初開花

者。(施覆花)

なつく(動か四)(懷) 馴服也。親而服從也。

なつく(動か下二)(懷) 使馴服也。使親從

也。

なづく(動か下二)(名付) ●命名也。●

此謂知之至也之謂也。又稱也。呼也。

なつぐみ(名)(夏菜莢) 菜莢之一種也。木

高丈餘。其實夏熟。(木半夏)

なつげ(名)(夏毛) 謂鹿毛之夏末黃變。爲

斑紋者。宜於用爲筆。

なつげ(活名)(菜漬) 菜之鹽醃者。一名お

はつげ。(醃菜)

なつげねや(名)(名付親) 兒生而七日。

命其名之人也。邦俗外祖父多當之。

なつと(名)(夏蠶) 蠶之一種也。春蠶之卵

至夏孵化者。

なつと(活名)(夏木立) 謂夏時樹木

之繁茂鬱蒼者。

なつさはる(動ら四) なづさふ之長言。

なづさふ(動は四) ●同なづむ。●

浸潤也。●狎好也。親昵也。

なつふぢ(名)(夏藤) いはふぢ之一名。

なつせみ(名)(夏蟬) 夏日自朝至暮所鳴

之蟬也。大六分許。其羽透明而美。

なつたいこん(名)(夏大根) だいこん之

一種也。夏蘿蔔。

なつつばさ(名)(夏椿) ●娑羅樹之一名。

●またたび之一名。●同なにはげら。

なつな(名)(薺) 草名也。葉似たんぼぼ。

有小溝。春開白花。一名べんくぐさ。又

さみせんぐさ。

なつまめ(名)(夏豆) ●しろまめ之夏熟

者。●出雲州方言以そらまめ爲。

なつみかん(名)(夏密柑) ●密柑之實之

至夏猶存者。同はなたちばな。(花橘)橘之

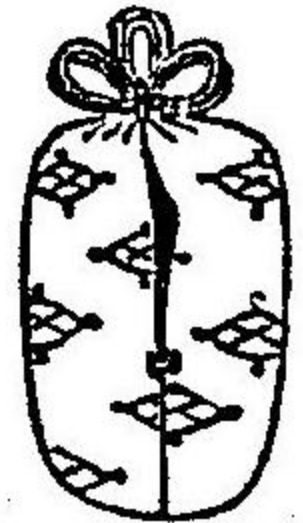
一種。盧橘也。●又まぼん。朱欒也。

なづむ(動ま四)(滯) ●とどこほる。滯滯

也。●拘泥也。●口厭而不欲食之謂。

なつむし(名)(夏蟲) 凡夏日所出之蟲曰

なつめ〔名〕(棗) ●木名也。夏初生芽。葉尖而互生。實橢圓形。可食。乾燥爲藥劑。●畜抹茶之器也。



[なつめ]

なつとも〔名〕(夏桃) 夏時早熟之桃也。其味酸。一名五月早桃。

なつやせ〔活名〕(夏瘦) 謂中暑而身瘦。(注夏病)

なつゆき〔名〕(夏雪) 木名也。高丈餘。葉似うめもどき。(落想紅)夏時開花。五瓣而色白。簇簇如雪。(無根藤)

なでがく〔名〕(撫角) 謂器具削去四隅之廉者。(委角)

なでがた〔名〕(撫肩) 人肩接腕處。垂而不聳者。

なでざり〔名〕(撫斬) 謂穢穢不存一人。

なでしこ〔名〕(撫子) 草名也。葉似竹而色深綠。其花可愛。瞿麥。洛陽花。南天竺草。蓬麥。天菊。

なでつく〔動〕(動か下二) (撫付) ●手撫也。●

なごこ 飾搔亂髮而整之。

なでつけ〔活名〕(撫付) 謂不結頭髮。梳而垂之背後。

なでふりか〔副〕 何と言ふ之約言。此語之下常置反語。「遠背のあるへきや」なんでふ。どうして。いかにして。いかてか。皆同。猶言何以何故何爲也。

なでふか〔名〕(撫沙魚) ふか之一種也。産於土佐州近海。人在船舷。則掉尾而墜之海云。

なでもの〔名〕(撫物) 撫摩而移禍於此。以祓除災患之具。

なでん〔名〕(南殿) 紫宸殿之一名。

なご〔副〕(何故) 何と之略言。

なご(添)〔杯〕 屬於名詞之下而用。示其未盡之意之語也。與等同義。

なごころ〔名〕(名所) ●姓名及住地也。●器物中之名目也。●めいしよ。名蹟也。勝地也。

なごて〔副〕 なにとて之略言。何故也。

なごり〔活名〕(名取) 凡技藝者。得其師之聽許。獲藝名。謂之。

なごる〔動〕(動ら四) (抹) 撫つ之轉訛。謂書字已揮灑。復加塗飾。

なな〔數〕(七) 數之七也。同しち。

ななくさ〔名〕(七種) ●芹。薺。こぎやう。ほこべ。ほとけのざ。すいな。すずしろ。以上七菜。正月七日一并煮而作羹。俗傳。食之可以除萬病。●以正月七日食七菜羹。又稱此日爲。人日也。

ななくさ〔名〕(七草) 秋花七草。曰はぎ。胡枝花也。曰なばな。芒花也。曰葛。曰なでしこ。洛陽花也。曰なみなへし。敗醬也。曰ふぢばかま。蘭草也。曰あさがほ。薺花也。今則代あさがほ。以ききやう。

ななこ〔名〕(魚子) 魚鱈之義也。●金工

ななこ 一種也。巧並列衆微星。一見如魚鱈者。●綢緞之一種也。

ななし〔活名〕(名無) 無名也。

ななしのねよび〔名〕(無名指) 無名指也。一名へにさしゆび。又くすりゆび。(藥指)

ななそ〔數〕(七十) 數之七十也。

ななそぢ〔數〕(七十) 與ななそ同。

ななつ〔名〕(七) 古時刻之名。今之下午四點鐘也。

ななつ〔數〕(七) 數之七也。與なな同。

ななつ(同義) しち(七)。

ななつ(咳)〔名〕(咳) 毛之生於指者。(聚毛)

ななつ(古)〔活名〕(七下) 古。謂既過七時。曰。即日暮也。

ななつ(七星)〔名〕(七星) 北斗星也。

ななつ(七所借) 謂借於諸家而集之。

ななつ(七曲)〔活名〕(七曲) 謂路多曲折。羊腸也。

ななつ(七在星)〔名〕(七在星) 北斗星也。

ななつ(不斜)〔句〕(不斜) 謂多也。なの

めならず。ひとかたならず。皆同。

◎(同義) おほかたならず。

ななめに[副](斜) ◎傾斜也。◎はすに。

はすかけに。斜也。

ななよづき[活名](七夜月) ◎陰曆七月之異名。

月七日之月也。◎陰曆七月之異名。

なに[代名](何) 凡不知名者之代名詞。

なに[副](何) 興いかで。などて同。何其然之何也。

なにねふ[動](何) 興いかで。などて同。何其然之何也。

實相適也。

なにがし[代名](某) ◎不欲顯指其名時。

所用之語也。人物共用。「の朝臣」。◎自稱之語。與それかじ。拙者同。

なにくれ[代名] なにくれ。又なにかれ之轉。猶言諸事。

◎(同義) あれやこれや(散是)。

なにさま[猶](何様) 興いかさま同。

なにしねふ[動](何) 興なにおふ同。

なにしに[副](何) 何故也。

◎(同義) どうして。いかで。

なにすれぞ[副](何爲) なんとしてか。どうしてか。何爲也。

◎(同義) なんすれぞ。

なにとぞ[副](何卒) 請也。仰望也。興ひたすら。どうぞ同義。

なにはばらた[名] 蘆之異名。

木。夏時開花。白色五瓣。有香氣。一名なつげき。難波うばら。(金櫻子)

なにはめた[名] 難波女。◎大阪婦人之稱。◎葦之異名。

なにぶん[副](何分) 興ひたすら。なにとぞ同。

なにほど[副](何程) 不明之數量也。與幾何同。

なにより[名] 無上。拔群之義。無以加之也。「な品」。

なぬし[名] 名主 昔時村里之長。一名里正。庄屋(坊正)。

なのか[名](七日) ◎七日間也。與なぬか同。◎月之初七也。

なのり[活名](名乘) 昔時。武士之本名謂。如頼朝正成之類。一之外又有通稱。

なのる[動](四) 名乘) ◎自言其名也。◎自白罪狀也。

なは[名](繩) ◎繩索也。◎引繩清丈亦曰。「」を打つ。

なばえ[名] 苗生え之義也。謂出芽。

なはしろけ[名] 苗代) 下種子。使生稻苗之田也。一しろこ[名] 苗代(苗) 山野

自生之亞灌木。初夏開花。其色紅。(梅田藤)

なはせみ[名] 蛙蟬) 雌蟬也。不能鳴。(啞蟬)

なはつきけ[活名] 繩付) 繩縛施于身者。即罪人也。

なはてけ[活名] 繩手) 田間之小路也。

なはのびけ[活名] 繩延) ◎引繩而測。其長曰。◎謂地畝實積。多於官簿所記。

なはぼし[名] 繩梯子) 梯以繩作者

也。

なはばりけ[活名] 繩張) ◎謂引繩定經界。◎謂捕吏配置人於要處以捕罪人。一す[動]

なはめけ[名] 繩目) ◎謂以索被縛。◎兩繩結合之處也。同むすびめ。

なばる[動](四) 隱) かくる之古言。隱也。

なびく[動](四) 靡) ◎隨風而搖也。◎謂從於人意。

なびろめ[活名] 名弘) 謂商賈及技藝者。始公告其商號藝名。

なふみ[動](四) 綱) 索綱也。

なふみ[動](下二) 萎) なへぐ。痿也。謂手足不自由。

なふ[動](下二) 並) 興ならぶ同。竝也。

なふきん[名] 納銀) 謂納金錢於上。

なふじゆ[名] 納受) うけをさむる也。

收受也。

なふだ〔名〕(名札) 名刺也。一名てふだ。
なふりころし〔活名〕(鵜殺) 鷹殺也。弄殺也。

なふりやうり〔名〕(納涼) 同すゞみ。納涼也。

なふる〔動ら四〕(騙) 謂戲言困人。誑弄也。嘲弄也。

なへサ〔名〕(苗) 凡草木之出於種子者。皆謂之。○稻苗曰。

なべ〔名〕(鍋) 似釜而淺。有鉉及柄。用煮蔬菜魚肉者(鑊)。

なべがね〔名〕(鍋鐵) 所鑄釜鑊之鐵也。硬而易折。

なべずみ〔名〕(鍋墨) 烟煤著釜鑊之底者。

なべせん〔名〕(鍋錢) 鐵錢也。其品與なべがね同。故名。徳川時代用之。今廢。一名びたせん。

なべづる〔名〕(鍋鶴) 鶴之一種也。其色如灰。(灰鶴)

なべづる〔名〕(鍋鉉) なべ之鉉也。

なべて〔副〕(並) 今言おしなべて。概して。おほかた。凡也。大概也。

なへへごこけ〔名〕(苗床) 下種子育苗之所也。一名苗代。

なほサ〔副〕(猶) 猶也。尙也。仍也。もとのやう。やはり。また。その上に。皆同。

なほさらけ〔副〕(猶更) いや〜。其の上

に。愈也。且也。

なほざりけ〔形名〕(等閑) 苟且也。不注意也。輕輕看過也。一に〔副〕

なほざるけ〔動ら四〕 變なほざり爲動詞而用之語。

なほしサ〔活名〕(直) 火酒之味甘而氣弱者。

なほしサ〔名〕(直衣) 古之朝衣。似袍者。一名すそづけ



[しほな]

のころも(襦袢。褌衣)

なほしサ〔形動〕(直) 謂事物正直而不邪曲。○行爲之正直曰。

なほすサ〔動ら四〕(直) 同たゞしくす。謂矯正不正而正之。○同つくろふ。繕修也。○謂治療癒病。

なほなほサ〔副〕(尙尙) なほ之重言。義同而意稍重。一がさサ〔活名〕(尙尙書) 尺牘之本文已畢。追書別事者。曰。

なほなほしサ〔形動〕(直直) なんのこともなし。普通なり。無特異也。通常也。

さ〔形名〕 一さ〔形〕 一々〔副〕

なほなほにサ〔副〕(直直) 今言おだやかに。あたりまへに。平穩也。通常也。

なほなほサ〔名〕(直人) たゞひと。謂無門地人。(素人)

なほし

なほるサ〔動ら四〕(直) 改善也。○疾癒也。○齋宮忌詞。死也。

なま〔名〕(生) 未烹燻之天然物曰。就動植物而言。

なま〔名〕(生) 未熟也。一物議り。謂學術未成熟者。○未經世故也。一侍謂迂遠世事之士。

なまいさ〔名〕(生意氣) 未知而爲知之謂。乘血氣而輕舉者。亦曰。

なまがね〔名〕(生鐵) 鐵含炭素少者也。(熟鐵)

なまがひサ〔名〕(生貝) 石決明之生肉也。又謂細割石決明之肉而浸於水者。一名みづがひ。(水貝)

なまかべ〔名〕(生壁) 土壁未乾者也。○染色名也。鼠色帶藍而深濃者。

なまさ〔名〕(生木) 木材未乾燥者也。

なまざき〔名〕(生聞) 未學而裝博識者曰。

なまぐさサ〔形動〕 なまぐさし之音便。

なまぐさ一〔形〕なまぐさき之音便。―う一〔副〕
なまぐさ一し〔形動〕(生臭)腥也。謂魚貝
生肉之臭。―さ一〔形名〕―さ一〔形〕―く

なまぐさ一び〔名〕(生首)今所斬之首級也。
なまぐさ一くら〔名〕●鈍刀也。●同なまぐさ
の。懶惰也。

なまぐさ一ける〔動加下二〕(懶)おこたる。づ
るける。爲懶惰也。

なまこ一〔名〕(海鼠)海參也。本名こ。對いり
こ(乾海參)而名。形似水蛭。長六七寸。
全身多疣。軟柔而腹白。産於海中。(沙嘴)

なまごころ一し〔活名〕(生殺)同はんごろし。
殺而不殊也。

なまごじ一ひ一に一じ一〔副〕(愨)生強之義。謂
心不欲而強爲之。又謂已宜不爲而強爲之。

なまごす一〔名〕(膽)●古謂細割魚肉者爲。●
●今謂細割魚肉而浸於醋者爲。

なまごす一〔動さ四〕(焯)謂使燒鐵熱之。又投
之水以堅利其質。

なまごち一〔名〕(生血)同いさち。鮮血也。

なまづ一〔名〕(鯰)魚名也。口大尾小。無鱗而
甚滑。産於淡水中。(鯰。鯰。慈魚)―はだ
〔名〕(癩肌)皮膚病之一種也。肌膚生斑
紋。其色或紅或白。白者曰しろなまづ。又
しろはだ。

なまづめ一〔名〕(生爪)爪在指頭之時謂之
―。―を剥がす。

なまなかに一〔副〕(生半)半途也。未熟也。
又與なまじひに。なまじか同義。―途は
れば。

なまなま一〔名〕(生半)●未熟也。●謂鳥
獸魚肉及菓實等之新鮮者。

なまへ一〔名〕(名前)人名也。名稱也。

なまみ一〔名〕(生身)有生之身也。

なまめかし一〔形動〕同いろめかし。謂斲治
之容。謂女之冶容如媚而挑人者。―さ
〔形名〕―さ一〔形〕―く一〔副〕

なまめく一〔動か四〕●謂猶在未熟之境。

●謂妙斲動人。
なまもの一じり〔活名〕(生物斲)謂學藝未
成熟。即一知半解也。

なまよ一ひ一〔活名〕(生醉)なまよひ之轉
訛。半醉也。

なまり一〔活名〕(鉛)金屬之一種。重於水十
一倍半。金屬中最柔軟而易鎔融。

なまり一〔活名〕(訛)謂言語之轉訛。又方言
也。

なまり一ぶし一〔名〕(生節)炙松魚而去其水
氣者。以供食饌。又略曰なまり。更乾燥之
成かつをぶし。以其尙半成故曰。

なまる一〔動ら四〕(訛)同よこなまる。謂言
語轉訛而失正。

なまる一〔動ら四〕謂刀之失鍛法而不利。又
引申謂人耽酒色蕩志望。又謂論鋒不銳利。

なまわか一い一〔形動〕なまわかし之音便。
―い一〔形〕なまわかき之音便。―う一〔副〕

なまわか一し一〔形動〕(生若)與わかし義
同而意稍強。謂年少不經事也。―さ一〔形名〕

―さ一〔形〕―く一〔副〕

なまよ一〔名〕(生餌)鳥之生餌也。すりよ之
對。一名いさよ。

なまよ一ひ一〔活名〕(生醉)●よ一ばらひ。
よたんば。醉漢也。●謂不醉而裝醉者。

なみ一〔活名〕(並)●なむと。ならび。並列
也。●通例也。尋常一様也。

●(同義)よ一つね。
なみ一〔名〕(波)●水動搖曰。―(浪。濤)●

老人皮膚之皺也。

なみ一ち一き一は一り一〔名〕(波打際)なぎさ。み
ぎは。水濱也。

なみ一かせ一〔名〕波及風也。

なみ一さ一〔名〕(並木)謂道路兩側所列植之
樹木。(列樹)

なみ一す一〔動さ變〕(無)ないがしろにす。あ
な一ど一ろ。蔑視也。輕侮也。―上一を一。

なみ一せん一〔名〕(浪錢)錢面有波浪模樣者。
寛永錢之一名。

なみだ一〔名〕(涙)涕淚也。

なみだくまじ(形動) 含涙之状也。一さ(形名) 一さ(形) 一く(副)
なみだくむ(動ま四)(涙含) 將泣而眼臉含淚也。

なみなみ(名)(並並) なみ之重言。よのつれ。通例也。尋常也。

なみなみ(名)(波波) 謂水酒等溢於器中。將生波之義也。一は(副)
なみまくら(名)(波枕) 航行涉日也。

なみよけ(活名)(波除) 海中所築防波之隄也。(防波隄)

なみある(動わ上一)(並居) 列坐也。

なむ(名)(南無) 那謨マ之轉音。歸命頂禮。又眞實之義。禱佛時之發語辭。「阿彌陀佛」。

なむ(動ま四)(並) つらなる。連也。並列也。與ならぶ同。
なむ(動ま下二)(並) ならぶ。つらなる。

なめし(名)(菜飯) 混雜菑葉於米飯而煮者。

なめし(形動)(無禮) 無禮也。

なめし(活名)(鞣) 謂去獸皮之毛而柔之。なめしがは(名)(革) 韋也。熟皮也。一名つくりがは。なしかは。

なめする(動ら四)(嘗) 謂舌頻嘗唇。なめらか(形名)(滑) すべくする。ぬるくする。つるくす。潤澤也。滑澤也。一は(副)

なめり(助) なるめり之略言。與なんめり。であらう同。想像之辭也。

なもみ(名) 草名。卷耳也。葉似茄而綠色。實小而兩頭銳。莖高三四尺。夏結實。

なや(名)(魚屋) さかなや。鱈魚舖也。なや(名)(納屋) 謂物おきこや。農家藏穀物及農具等處也。
なやす(動さ四)(萎) 使萎枯也。

連也。並列也。

なむ(助) 過去助辭の變爲な。與未來助辭む接合之辭也。「行き」とす。

なむ(助) 表示願望之意之助辭。「去ら」。なむ(助) 指示事物之助辭。似ぞ而意稍緩。「斯く」ありける。

なむさん(名) 南無三寶之略言。一ばり(名)(南無三寶) 祈佛時之語。先唱三寶以靜定心也。 三寶以靜定心也。 三寶以靜定心也。 三寶以靜定心也。 時。不思而發之辭。與しまつた同。嗚乎吾過矣之義。

なむち(代名)(汝) 對稱代名詞。指人之語。汝也。爾也。みまし。いまし。なれ。なんち。そ(もと)。皆同。

なめ(名)(白痢) 同びやくり。病名也。痢病之類。
なめ(名)(縷面) 謂錢背無文字處。

なめくぢ(名)(蛞蝓) 蛞蝓也。一名なめくぢり。なめくぢら。

なやまし(形動)(惱) 懊惱也。一さ(形名) 一さ(形) 一く(副)

なやます(動さ四)(惱) 使懊惱也。

なやむ(動ま四)(惱) 思ひわづらふ。いたみくるしむ。懊惱也。

なやむ(動ま下二)(惱) 與なやます同。
なやめる(動ま下二) なやむ之今言。
なやらひ(活名)(追儼) 儼也。一名まめまき。つゐな。おにやらひ。

なゆ(動や下二)(萎) 力なくなる。なよなよとなる。衰頹無力也。萎縮也。

なゆみ(名)(繩弓) 古。射鼠之器(桐斗)。
なよじ(名)(名吉) 魚也。いな之一名。

なよたけ(名)(弱竹) 竹之細幹者。又新竹也。同わかだけ。

なよなよ(形名) 無力兒。一と(副)
なよめかし(形動) なよびかなり。しなやかなり。柔弱也。嬌柔也。一さ(形名)

なま(形) ぬ(副)

なま(名)(檜) 木名也。葉長三寸許。實八九分。一名こばうそ。ながいし。

なまく(名)(奈落) 梵語也。譯曰地獄。

なまざらし(活名)(奈良晒) 大和州奈良所産之麻布也。

ならし(活名)(平) 平均也。平準也。

ならし(活名)(鐘) 謂鐘高就低。使無凹凸。

ならし(助) なるらし之約言。

ならしば(名)(檜柴鳥) 鷹之異名。

ならす(動さ四)(平) 謂平均高低大小多少使齊。

ならす(動さ四)(馴) 謂使親馴。

ならす(動さ四)(鳴) 謂使發聲而鳴。弘告也。聲言也。謂使人盡知。罪を。

ならすもの(名) 謂無恒業而徒食者。無頼漢也。破落戸也。

ならちやがゆ(名)(奈良茶粥) 一名ならちやめし。

ならび(形) ならびなし之音便。

ならびなし(形動) ならびなし之音便。

ならびなし(形) ならびなき之音便。一なり副也。

ならびなし(形動)(並無) 無雙也。無類也。

ならびに(接) 列舉事物時挿入之語。猶與字及字。人山。人及山也。

ならふ(動は四)(傲) まれず。摹倣也。

ならふ(動は四)(習) 學也。習也。

ならふ(動は四)(並) 一行並列也。

ならべる(動は下) ならぶ之今言。

なり(名)(形) すがた。みえ。よそほひ。容貌也。外觀也。粧飾也。

なり(名)(業) なりはひ之古言。生業也。

なり(活名)(鳴) 鳴也。又鳴聲也。

なり(名) 癩病也。同かたむ。

なり(助)(也) にあり之義。也也。決定之辭。今言である。不能得其所欲而擇其次之語。今言でも。

ならちやめし(名)(奈良茶飯) 茶飯加大豆小豆粟等者。奈良東大寺興福寺等僧始炊之云。

ならづけ(活名)(奈良漬) 糟藏之一種也。酒糟加火酒以藏漬瓜實者。大和州奈良多出之。故名。

ならにんぎやう(名)(奈良人形) 大和州奈良所作之木偶。

ならはかす(動さ四) ならはす之俚言。

ならはし(活名) しきたり。慣例也。習慣也。

ならはす(動さ四)(習) 使學習也。

ならはせる(動さ下) ならはす之今言。

ならひ(活名) 學習也。又與ならはし。しきたり同義。慣例也。風習也。習慣也。

ならび(活名)(並) なみ。一行並列也。

なり(助) 附動詞末尾之語辭。無意義。笛の音聞こゆ。謂笛聲聞。

なりあがる(動ら四)(成上) 謂出於寒微而爲貴富。なりさがる之對。

なりいづ(動た下)(成出) 得富貨也。官途上進也。謂業成而身立。

なりねさる(動ら四)(成劣) 謂漸次退下。

なりかはる(動ら四)(成代) 以身代人也。

なりかぶら(名)(鳴鑼) 鳴鑼也。嚙矢也。一名かぶらや。

なりさがる(動ら四)(成下) 謂元富貴而漸爲貧賤。なりあがる之對。

なりたつ(動た四)(成立) 成就也。又創事而就緒也。

なりなんどす(句)(垂) 將及也。同なんなんとす。

なりはひ(名)(生業) すぎはひ。よすぎ。生業也。家業也。

なりひさこ(名)(生瓢) 同ひさこ。瓠也。

なりふり〔活名〕(形振) ●容姿也。●世情也。

なりまさる〔動ら四〕(成優) 漸次優上也。同なりあがる。

なりもの〔名〕(鳴物) 樂器之汎稱。

なりゆき〔活名〕(成行) 事物變遷之謂。又事之結果也。

なりゆく〔動か四〕(成行) 漸次變遷也。

〔なりんばう〕〔名〕 嘲癩病者之語。

なる〔動ら四〕(生) ●生出於世也。●結實也。密柑か。謂密柑結實。

なる〔動ら四〕(成) ●成就也。落成也。●得耐忍之義。うね等に掻き廻されてものか。

なる〔動ら四〕(爲) 變化也。善く。

なる〔動ら四〕(鳴) 音之響也。

なる〔動ら下二〕(慣) ●習而成常也。爲習慣也。熟練也。成癖也。●なつきなじむ。親馴也。馴)

なれ〔代名〕(汝) なんぢ之古言。

なれあふひ〔活名〕(馴合) なれあふ也。

なれあふひ〔動は四〕(馴合) ●なれしたしむ。親馴也。謂相約而欺人。

なれなれし〔形動〕(馴馴) 謂爲親馴之狀。

なれなれし〔形名〕 一さ〔形〕 一く〔副〕 便。一い〔形〕 なれくしき之音便。一う〔副〕

なれのはて〔活名〕 落魄之極也。

なれる〔動ら下二〕 (慣馴) なる之今言。

なれる〔名〕(地震) 地震之古言。

なれをり〔活名〕(名折) なわれ。なよこれ。皆同。汚名聲也。

なれをり〔名〕 なをり之轉訛。

なれしよ〔名〕(納所) ●納田租之處。●佛寺掌寺務之所。又知事僧也。●學業未熟之僧也。

なれそり〔名〕(納蘇舞) 舞樂之名也。一名なそり。

なるかみ〔名〕(鳴神) 同かみなり。雷也。

―づき〔名〕(鳴神月) 陰曆六月之異名。

なるこ〔名〕(鳴子) 田畝逐禽之具也。連貫小竹管於板者。牽繩鳴之。

なるこゆり〔名〕(鳴子百合) 草名也。葉似ゆり。夏初著美花。實似南天。其根可以爲藥劑。一名いみぐさ。(黃精)

なるたきと〔名〕(鳴瀧砥) 山城州葛野郡鳴瀧村所産之砥石也。

〔なるたけ〕〔副〕(成丈) 謂盡心力之所及。(可及的)

なるはじかみ〔名〕 朝倉山椒之古名。

〔なるほど〕〔副〕(成程) ●猶言洵然。與まことに。げにも。もとも同。●謂盡心力所及。

なるみしぼり〔活名〕(鳴海絞) 綿布絞染之一種也。尾張州知多郡有松村所産。而鳴海地名。故有此名。一名ありまつしぼり。(有松絞)

なれ〔活名〕(慣) 習慣也。

なれどり〔名〕(納豆) 濱名納豆之古名。鹽鼓也。

なれどく〔名〕(納得) 承諾也。同うへなふ。

〔なん〕〔名〕(難) ●わざはひ。なやみ。禍難也。困難也。●同さず。瑕釁也。

〔なん〕〔名〕(男) ●同なとこ。男也。●せがれ。むすこ。所生之男兒也。

〔なん〕〔名〕(南) 同みなみ。南也。方位之名。

なん〔名〕(何) なに之音便。一時幾時也。

なん〔代名〕(何) 同いくら。幾何也。一回幾回也。

なんさやう〔名〕(難行) 謂僧侶之艱苦修行。一苦行。一す(動)

〔なんさよく〕〔名〕(南極) 地球之南極也。北極之對。

〔なんさん〕〔名〕(南京) ●清國地名。●引伸爲清人總稱。一うさぎ〔名〕(南京兔) 家兔也。一だま〔名〕(南京球) 極微小球。色青黃紅白不一。中央有孔。女兒以絲貫聯爲指環腕環等。一ぬずみ〔名〕(南京

鼠) 同はつかれずみ。鼠鼠也。一はせ
[名](南京糖) 支那種之糖。葉圓。秋末霜
紅殊美。實中有白粉。取以製蠟。一名たう
はせ。烏臼木) 一まめ[名](南京豆) 落花
生也。

なんこ[名] 幾箇之義也。兒戲之一種。猜
握裏之數。中者爲勝。藏鈎倩拳之類。

なんこつ[名](軟骨) 似骨非骨。軟而有
彈力。包蔽骨端以防其軋轢者。

なんこん[名](男根) 陰莖也。一名まら。

なんざん[名](難産) 難産也。

なんじ[名](男子) ひとこのこ。ひとこ。
だんじ。男兒也。又男也。

なんじふ[名](難澁) 困難也。艱難也。
一す[動]

なんじやう[名](難症) 疾之難治者。

なんじよ[名](難所) けはしき所。險阻
難行地也。

なんじよく[名](男色) 鷄姦也。

なんすれぞ[句](何爲) 何爲也。なにすれ

ぞ之音便。

なんせん[名](難船) 謂船遭風波而破損
若覆没。又謂遭風波而破損覆没之船。

なんせんふしり[名](南瞻部州) 佛經
謂現世爲一。

なんぞ[副] なにぞ之音便。同いかで。な
にとして。何也。何以也。

なんたい[名](難題) 謂詩歌題之難著
意者。難問也。

なんち[名](難治) 謂疾之難治者。
なんぢ[代名](汝) なむぢ之轉。對稱代名
詞也。

なんてり[名](南朝) 自後醍醐帝遷大
和州吉野。足利氏別擁立天子於京師。天下
兩分。吉野爲南朝。京師爲北朝。

なんてふ[副] 與なでふ同。猶言何以何
故何爲也。

なんてん[名](南殿) 紫宸殿之一名。讀爲
なでん。

なんてんじよく[名](南天燭) 灌木之名。

葉似あふち。梅雨に開五瓣白花。實圓。熟
則紅變爲穗狀而垂。

なんど[名](納戸) 藏衣服及日用器具之
室也。(套房)

なんど[添](杯) などの轉訛。何故也。

なんどなれば[句](何則) 何則也。同な
ぜといへ。

なんなんどす[句] なりなんどす之音便。
將及也。

なんば[名](難場) 危險之處。與なんじよ
同。

なんば[名](難破) 謂船之破壞覆没。一
す[動]

なんば[名](軟派) 硬派之對。謂持議不固
之黨派。多就政論而言。

なんばん[名](南蠻) 南方之夷也。一
足利時代所渡來西洋人之稱。多指西班牙
人葡萄牙人。一がらし[名](南蠻辛) 蕃
椒也。一名たうがらし。一さび[名](南蠻
黍) 玉蜀黍也。一名たうもろこし。

なんど

ずな[名](南蠻砂) 礪砂也。一てつ[名]
(南蠻鐵) 舶來之鐵也。其鐵精鍊。用製刀
鏢或甲冑。

なんびやう[名](難病) 疾之難治者。

なんぶ[名](南部) 南方之地也。

なんぶ[名](南部) 陸奥州南部地方所産
之帛。其品最優。

なんぶら[名](南風) 南風也。一名薰風。

なんぶら[名](難風) 舟船所苦之風也。

なんぶつ[名](難物) なんかんもの。手
にあまる物。謂事非己力所及者。又謂難
御之人。

なんば[名] なにほど之約言。同いくら。
幾何也。

なんば[謂](動ら變) いかに之義。猶言
設使。假設之辭也。

なんもん[名](難問) 謂質問之不易答者。
なんれり[名](南錄) 美銀也。銀
之異名也。古貨幣也。銀一兩之八分一。
即二朱銀。

〔なんち〕〔名〕〔南呂〕 ●十二律之一。 ●陰曆八月之異名。

に

〔子音〕 母韻い所胚胎。彈舌端於上顎而發之音也。

〔名〕〔土〕 土也。「赤」。白。赤土白土也。

〔名〕〔荷〕 任也。行李也。行旅所携也。貨物也。同にもつ。

〔助〕 ●屬名詞後而示歸着之意之助辭。「水」釣る。猶釣於水之於也。 ●挿於兩動詞之間。表示其動作之強之辭。「ふり」ふる。言雨雪降而不止也。 ●表動作之關係方向之辭。猶故。

〔助〕 ぬ之變化也。表過去之意之辭。「行

きけり」猶言既行矣也。

〔名〕〔丹〕 ●紅色也。 ●紅土也。古用以染物。「さ」り。

〔名〕〔貳〕 大宰府之次官也。有大貳小貳。

〔數〕〔二〕 ●數之二也。同ふたつ。 ●樂器之第二絃也。

〔名〕〔尼〕 比丘尼之略稱。

〔名〕〔活名〕〔二上〕 三味線音調之名。

〔活名〕〔荷揚〕 謂移舶載貨物於陸。

〔動〕

〔形名〕〔似合〕 ふさはし。につかはし。相適應也。相當。相似。一さ〔形名〕一さ〔形〕一く〔副〕

〔形動〕〔似合〕 にあはし之音便。一さ〔形〕 にあはしき之音便。一ち〔副〕

〔動〕〔四〕〔似合〕 謂能相適應。恰當也。

〔名〕〔丹石〕 ●黄土也。 ●大赭石也。

〔名〕〔乳〕 ちち。ちしろ。乳也。乳汁也。

〔名〕〔乳痛〕 乳房生腫之疾也。

〔名〕〔乳臭〕 ●乳汁之臭也。 ●朝年少者之語。「の少年」。

〔名〕〔乳汁〕 ちしろ。ちち。乳汁也。

〔名〕〔柔弱〕 謂人之氣力薄弱無進取氣象者。

〔名〕〔乳鉢〕 煉藥及製細末之盃也。以陶器若硝子製之。

〔名〕〔乳母〕 乳母也。一名うば。

〔名〕〔乳棒〕 煉藥及製細末之具也。與乳鉢相待而爲用者。

〔名〕〔乳木〕 木也。與ちぎ同。僧寺設在於護摩壇上者。

〔名〕〔荷馬〕 謂馬負載運搬貨物者。騾馬也。

〔名〕〔煮梅〕 梅實加砂糖而烹煮者。謂之。

〔名〕〔入麩〕 さうめん(素麩)之煮者也。

〔活名〕〔煮賣〕 謂煮食物而賣之。

〔名〕〔煮賣屋〕 賣食舖也。一さかや

〔名〕〔煮賣酒屋〕 飯館之極下等者也。凡にうり舖。皆爲挽夫徒役供飲饌。雖買客工匠。稍自重者決不食於此。

〔名〕〔柔和〕 謂氣質溫和不逆人意者。

〔動〕〔四〕〔煮騰〕 沸騰也。

〔動〕〔四〕〔煮返〕 沸騰也。與にえあがる同。

〔動〕〔四〕〔煮立〕 沸騰也。與にえあがる同。

〔名〕〔煮湯〕 滾開之水也。

〔動〕〔下〕〔煮〕 にゆ之今言。

にかい〔名〕(二階) 厨子之棚也。樓也。重屋也。

にがい〔形動〕(苦) にかし之音便。い〔形〕 にかき之音便。い〔副〕

にがし〔形動〕(苦) 苦味之感於舌也。不愉快也。可厭苦也。い〔形名〕

にがしほれ〔名〕(苦鹽) 謂鹽之收受大氣中濕潤。成液而滴下者。

にがす〔動〕(逃) 使逃去也。

にがたけ〔名〕(苦竹) 竹也。一名ただけ。

にがちや〔名〕(苦茶) 升麻之葉也。東北地方謂之。臯蘆。

にがて〔名〕(苦手) 謂人之資質不同。迭相嫌忌者。

にがな〔名〕(苦菜) 同りんだう。龍膽也。草名也。生路傍。葉長二三寸許。春茁芽。花似蒲公英。

にがにがし〔形名〕(苦苦) 不嫌於心也。

にかにし〔名〕(苦螺) 螺之大者也。其色黃而帶紅。其腸甚苦。

にかはり〔名〕(膠) 膠也。煮牛皮而製之。用粘着兩物。

にかふり〔名〕(二合) 量目。一合之倍也。昔人二字名者。畧之。書上一字。以下字爲花押。謂之二合判。

にかほれ〔名〕(似顔) 畫人之面首。丰彩風神與眞酷似者。謂之。

にかみ〔名〕(苦味) 苦味也。又猶言其苦。

にかみばしる〔動〕(動ら四) 謂容貌凜乎有風采。與しふし同。

にかむ〔動〕(動ま四) (苦) 不嫌於中也。願登也。

にかよふり〔動〕(動は四) (似通) 謂彼此相酷似。

にがり〔活名〕(鹵汁) 與にかしほ同。鹽膽。鹵汁。膽水。皆同。

にがりさる〔動ら四〕(苦切) にかくし

之甚也。謂大不快。

にがる〔動ら四〕(苦) 與にかむ同。不快也。にがわらひり〔活名〕(苦笑) 謂不快於中而笑於面。

にき〔名〕(二氣) 陰陽也。兩儀。

にき〔名〕(二季) 謂春秋。又謂夏冬。

にき〔助〕 表過去之意之辭也。行き「既行矣也。

にきどり〔名〕(二季鳥) 雁之異名。

にきにし〔形動〕(賑賑) 股賑也。盛大也。繁華也。與にぎはし同。い〔形名〕

にきにしし〔形〕(賑賑) 與にぎはし同。にぎしし之音便。い〔形名〕

にきにしと〔副〕(賑賑) 與にぎはし同。

にきはし〔形動〕(賑) 同にぎやかなり。股賑也。盛大也。繁華也。い〔形名〕

にきはす〔動〕(動さ四) (賑) 股賑之。盛大之。

繁華之也。

にきはひり〔活名〕 股賑也。盛大也。繁華也。

にきはふり〔動〕(動は四) (賑) 豐富也。さかゆ。にぎやかになる。榮昌也。繁華也。

にきび〔名〕(面炮) 發於人面之小瘡。

にきやか〔名〕(賑) 繁昌也。盛大也。に〔副〕

にぎり〔活名〕(握) にとぎると。掌握也。

にぎりか〔副〕(即弓之可握處也。にとぎりずし) 握縮之畧也。にとぎりめし(團飯) 亦略曰。にかはり〔名〕(握革) ゆづか。

にぎりし〔名〕(握拳) 拳也。いとふし〔名〕(握掌) 拳也。いとふし〔名〕(握握) 一種也。握而作之。故名。いとふし〔活名〕(握缺) 缺之一種。いとふし〔名〕(握飯) 團飯也。握而固之。故名。一名むすび。

にぎる〔動ら四〕(握) 掌握也。謂盡爲己有也。政權を「謂收政權於一手

也。

(にく) [名] (肉) ①動物之肉也。②謂物之厚薄爲一。紙の—紙之厚薄也。③印肉也。

◎(同義) しん(肉)。あつ(厚)。

(にく) [名] (羚羊) 羚羊也。一名かもしか。

(にく) [名] (褥) 褥也。菌也。一名しとれ。

◎(同義) しき(褥)。

(にく) [動] 逃(逃) 同のがれさる。逃去也。

(にく) あひ(活名) (肉合) 同にくつき。謂身體肥腴之度。

(にく) い(形動) (憎) にくし之音便。—い [形] にくき之音便。—う [副]

(にく) いれ(活名) (肉入) 肉池也。畜印肉之器。

(にく) いろ(名) (肉色) 染色之一種。淡紅色帶黃者。

(にく) ろ(名) (二宮) 東宮及中宮也。にくがる(動) 四(憎) 憎惡也。

(にく) がん(名) (肉眼) 眼也。對假眼鏡補視力而言。

(にく) きり(活名) (肉切) 用截肉之鋏刀。外科醫用之。又宰割禽獸肉之刀也。一名庖丁。

(にく) けい(名) (肉桂) 肉桂也。南方熱地所產桂之皮也。可爲藥劑。

(にく) さ(名) (憎氣) にくらしきさま。可憎之氣態也。

(にく) し(形動) (憎) ①可憎也。②難爲之意。讀み—難讀也。—さ [形名] —さ [形] —く [副]

(にく) じき(名) (肉食) 以肉爲食也。

◎(同義) にくしよく(肉食)。

(にく) しみ(活名) (憎) 憎惡也。

(にく) しよく(名) (肉食) ①以肉爲食也。②美食也。

(にく) しん(名) (肉親) 氣血相連之親族曰—。

(にく) たい(名) (肉體) 身體也。對靈魂而言。

(にく) ろめ(名) (煮黑) 白鐵。三十匁與銅百匁之合金也。其色黑。一名烏銅。

◎(同義) にくるみ。

(にく) わつ(名) (二月) 年之第二月也。ゆききえづき。このめづき。なぐさおひづき。うめみづき。ささらぎ。皆其異名。

(にく) あし(名) (逃足) 逃走之足力也。

(にく) とうじやう(名) (逃口上) 遁辭也。こまかし言葉。あいまい言葉。皆同。

(にく) ことば(名) (逃辭) 遁辭也。與にげこ(うじやう)同。

(にく) なし(形動) (無似氣) 同につかはしからず。不相似也。不相應也。不似平生所爲也。—さ [形名] —さ [形] —く [副]

◎(同義) よさ(し)からず。つりあはず(不約合)。

(にく) のく(動) 四(逃退) 同にげさる。逃去也。

(にく) のぶ(動) 上(逃延) 逃而脫危難也。

◎(同義) からた。

(にく) ち(名) (肉池) 畜印肉之器也。

(にく) づき(名) (肉月) 从肉之字。肉楷書似月。故呼其偏爲—。

(にく) づく(動) 四(肉付) 謂身體爲肥豐。

(にく) づく(名) (肉豆蔻) 熱帶地方之木實。形似梨子。大如杏子。色黃而有香氣。

(にく) てい(名) (憎體) 可憎之姿體也。

(にく) にくし(形動) (憎憎) 謂其狀可憎。—さ [形名] —さ [形] —く [副]

(にく) べい(名) (肉餅) かまぼ(蒲鉾)之一種也。以魚肉製之。

(にく) む(動) 四(憎) いみきらふ。れたみそれむ。憎惡也。

(にく) ら(名) (荷鞍) 鞍加於馬騾背者也。

(にく) ち(名) (憎) 可憎貌。—に [副] (にく) らし(形動) (憎) 可憎也。—さ [形名] —さ [形] —く [副] (にく) るま(名) (荷車) 貨車也。謂運搬貨物之車。

にびみち[名](逃路) ●逃去之路。即血路也。◎通逃之手段也。

にびんさん[名](二絃琴) 二絃琴也。一名やくもこと。(八雲琴)

にびさき[名](和草) 草名也。

にびげ[名](和毛) 鳥獸之柔毛。即毳也。一名むくげ。

にびこり[活名](煮凝) 魚羹之湯凍凝者謂之。

にびしらへび[活名] 包裝貨物使可運搬也。一す[動]

にびす[動さ四](濁) 同にびらす。使濁也。

にびこ[名] 謂喜悅溢於顔面。一と[副]

にびこみ[活名](煮込) 雜各種物而烹煮者也。

にびこむ[動ま四](煮込) ●雜各種物而烹煮也。◎熟烹也。

にびこやか[形名](和) 溫情接人貌。又欣然含笑貌。

にび[名](西) ●西也。四方之一。◎西風也。

にび[名](螺) 介有左旋條紋者之總稱。(蓼螺。辛螺)

にび[助] 表過去之意之辭。去り一人既逝之人也。

にび[名](虹) 虹也。太陽光線爲大氣中之水所分析。成七色弓形而懸於天空者。

にび[名](二時) 二點鐘也。

にびかせ[名](西風) 西風也。

にびさき[名](錦) ●錦繡也。以色絲織成各種模樣。五彩燦然者。◎凡觀之美麗者皆以一名之。春のー謂春光佳麗也。一が

はび[名](錦草) 紫色草染著白文者也。

はび[名](錦木) ●取木之高尺餘者。施之色彩者。古者與州地方男女相遭。以此爲信。◎木名也。東國方言。謂まゆみ爲

色五瓣之小花。一だひひ[名](錦鯛) 魚名也。形似鯛而有錦鱗。一づた[名](錦

◎同義) にびやか。にびこ。

にびらす[動さ四](濁) ●使溷濁也。◎同まざらす。使紛然淆亂也。

◎同義) にびす。

にびこり[活名](濁) ●濁也。澄清之反。◎にびこり酒之略稱。濁酒也。一ざけ[名](濁酒) 濁膠也。一名どぶろく。一みづ

[名](濁水) 濁水也。一る[名](濁井) 濁井也。

にびこりぐち[名] 謂船中所置貨物之口。即船口也。

にびこる[動ら四](濁) ●溷濁也。◎音聲若物色之不澄明者。亦曰一。◎所言之意義不了了者。亦曰一。

にびころ[名] 魚名也。近江州琵琶湖所產之鯽。其大次於源五郎鯽。

にびさい[名](二歲) ●謂生而經二年者。◎罵少年之語。青一。

にびかぬ[名](煮肴) 魚肉之烹者。一名いりつけ。

萬) きづた之葉端成紅白色者也。一へ[名](錦手) 磁器描五彩樣文者也。一へ

び[名](錦蛇) ●蛇之有錦文者。◎蛇之一種。產於熱帶地方。長二三丈。能吞牛羊。全身有錦色斑文。其膽可以爲藥。一名蚺蛇。又南蛇。一ゑ[名](錦繪) 繪畫之施美麗色彩者。東京名產。一名えどゑ。(江戸繪)

にびさき[名](二食) 一日二回取食之謂。

にびさた[名](西北) 西北間之方位也。

にびぢんねり[活名](西陣織) 京都西陣所產之絹織。其品最上。

にびさち[名](復蛸) 地蟲化爲蛹者。

にびのちあるじ[名](西主) 佛教所謂西方淨土之主。阿彌陀佛也。

にびのち[名](西内) 紙之一種也。厚於美濃紙。其質最固。

にびのひかり[活名](西光) 佛教所謂淨土也。

にびひ[名](西日) 夕陽也。

(にじふ) [數] (二十) 數之名。二十也。又曰はたち。

(にじふいち) [名] (二十一) 代集) 和歌全集也。合八代集與十三代集而稱之。

(にじふい) [名] (二十一) 史) 漢土歷代之正史也。

(にじふ) [名] (二十五) 菩薩) 二十五菩薩。即觀音。勢至。藥王。普賢。文殊。獅子吼。陀羅尼。虛空藏。德藏。寶藏。山海慧金剛。金藏。光明王。山海慧。華嚴王。珠寶王。日照王。月光王。三昧王。誠自在王。大自在王。白象王。大威德王。無邊身。

(にじふ) [名] (二十四) 孝) 擇漢土孝行者二十四人曰。舜。漢文帝。曾參。閔損。仲由。董永。劊子。江革。陸績。唐夫人。吳猛。王祥。郭巨。揚香。朱壽昌。庾黔婁。老萊子。蔡順。黃香。姜詩。王褒。丁蘭。孟宗。黃山谷。

(にじふ) [名] (二十四) 氣) 曆法。分

一年於二十四氣。以五日爲一候。三候爲一氣。二氣爲一月。十二月爲一年。

(にじふ) [名] (二十四) 節) 同二十四氣。

(にじふ) [名] (二十二) 社) 以京都近地神祠二十二。定爲宮城守護神。圓融帝以後。以時奉幣帛。稱曰。即伊勢。石清水。加茂。松尾。平野。稻荷。大原野。春日。石上。大和。廣瀨。龍田。住吉。日吉。梅宮。吉田。廣田。祇園。北野。丹生。貴船。三輪。是也。

(にじふ) [名] (二十八) 將) 德川氏創業功臣二十八人。即松平康忠。酒井忠次。井伊直政。榊原康政。大須賀康高。大久保忠教。伊奈忠俊。伊奈忠政。大久保忠世。內藤信成。酒井正親。內藤家長。大久保忠佐。米津淨心。平岩親吉。與平信昌。本多忠勝。鳥居元忠。菅沼定盈。渡邊守綱。岡部長成。高木性順。蜂谷貞次。服部正綱。安藤直次。本多康高。松平伊忠。

水野勝成。是也。

(にじふ) [名] (二十八) 宿) 二十八之星宿也。漢土星學之語。其目如左。

すばし(角)。あみほし(亢)。とも氏(氏)。そひ(房)。なかご(心)。あしたれ(尾)。み(箕)。ひつき(斗)。いなみ(牛)。うるき(女)。とみて(虚)。うみやめ(危)。はつゐ(室)。なまめ(壁)。とかき(奎)。たたみ(婁)。こさへ(胃)。すばる(昂)。あめふり(畢)。とろき(觜)。からすき(參)。ちちり(井)。たまほめ(鬼)。ぬり(柳)。ほとほり(星)。ちり(張)。たすき(翼)。みつうち(軫)。

(にじふ) [名] (二十) 寮) 昔時官制。八省下有二十寮。其目如左。大舍人。圖書。內藏。縫殿。內匠。大學。玄蕃。諸陵。主計。主税。木工。左右馬。兵庫。陰陽。主殿。大炊。掃部。齋宮。雅樂。

(にじふ) [名] (二十六) 夜待) 陰曆正月及七月二十六日夜半。待月出而拜之。謂之。

(にじむ) [動] (四) (糞) 熟糞也。

(にじむ) [動] (四) 謂色彩之汚暈。

(にじめ) [名] (糞染) 魚肉蔬菜等。加醬油而熟煮者也。一もの(名) (糞染物) 同上。

(にじや) [名] (復蜻) 蟲名也。同にしどち。

(にじゆ) [名] (二朱金) 古通貨之一。以金造之。當金一兩之八分一。

(にじゆ) [名] (二朱銀) 古通貨之一。以銀造之。當銀一分之二分一。

(にじり) [名] (活名) (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

(にじり) [名] (躑書) 謂不學書者強而作書。

鱒。鱒白。

にす(動さ下二) (似) ●使相肖也。●擬作也。質造也。

にす(名) (二水) 漢字之偏ノ也。謂水偏シ稱三水之對。

にせ(名) (二世) 佛教謂現世與來世爲一。

「二世の夫婦。謂不獨現世。於來世亦可爲夫婦也。

にせがね(名) (贗金) 偽造之金銀貨幣也。

にせきちがひ(活名) (偽狂) 陽狂也。

にせもの(名) (似物) 擬作物也。偽造物也。贗物也。

にせる(動さ下二) (似) 與にす同。

にせ系(名) (似繪) 謂寫人之容貌。與眞酷似者。一名肖像畫。

にせんきやう(名) (二漸經) なまづ之名。安房州方言。

にそくさんもん(名) (二束三文) 謂賤物無價直之語。

にたうりう(名) (二刀流) 劍術之一流派也。

派也。左右手揮大小二刀而闘。宮本無三四者。此派。

にた(名) 騾馬所運搬之貨物也。

にたき(活名) (煮焚) 謂炊爨而調理食饌。

にたじむ(名) (煮出汁) 煎鱒節所取之湯也。

にたす(動さ四) (煮出) 謂煎而出其味。

にたやまねり(活名) (仁田山織) 上野州仁田山所産之織布也。

にたやまもん(名) (仁田山木綿) 上野州仁田山所産之綿布也。

にたり(活名) (荷足) 小舟航于河者之稱。

にち(添) (日) 舉數日數之語也。一えり

ち(名) (日曜) 七曜之一也。一げん(名)

(日限) 期日也。一にち(副) (日日) 日日也。一にちくわ(名) (日日花) 草名也。はけいとう之異名。一ぼつ(名) (日没) 同いりあひ。黄昏也。一や(名) (日夜) 晝夜也。

にぢゆ(名) (二重) 同ふたへ。重複也。

にちよう(名) (日用) 謂日日用之。又謂日

日所用之物。一ひん(名) (日用品) 日

日所用之物件也。

にちりん(名) (日輪) 天日也。一さうり

(名) (日輪草) 向日葵之一名。

にちれんじゆ(名) (日蓮宗) 佛教之一

派也。僧日蓮所創。故名。一名法華宗。

にちろく(名) (日録) 日録也。與日記同。

にちるま(名) (日域) 漢土人稱日本爲一

につかはし(形動) (似付) 相似也。相

適應也。一さ(形名) 一さ(形) 一く

(副)

につく(動か四) (似付) 同にあふ。

につくり(活名) (荷作) 包裝貨物也。又曰

にこしらへ。(荷造)

につけ(活名) (煮著) 與にしめ同。魚肉蔬

菜等。加醬油而熟煮者。

につける(動か下二) 謂熟煮至無餘歷。

にづつらじ(形動) につかはし之古言。

一さ(形名) 一さ(形) 一く(副)

につむ(動ま下二) 煎而至無水漿也。

にて(助) 屬に以て者。有によりて。におい

て。にして之諸義。猶何以利吾國之。於

薛餽五十鎰之於。五十步而後止之而。

にど(形名) (二度) 同ふたたび。再也。重

也。復也。一さ(名) (二度咲) 謂樹木

非時著花。與かへりさき同。一なり(活

名) (二度生) いんげんささげ之異名。伊

勢駿河伊豆諸州方言。

にどころかす(動さ四) (煮蕩) 煮物而使失

原形也。

にな(名) (蜷) 介類之一種。産於河水溝渠

等。形似たにし。賤民以爲食。(河貝子)

になし(形動) (二無) 無比。無二。無雙。絶

倫也。

になひ(活名) (擔) ●擔也。懸物於棍之

兩端而肩之。●同になひかけ。一ぼり

(名) (擔棒) 所懸物而擔之棍也。一名て

んびんぼう。一をけ(名) (擔桶) 所盛

水而擔之桶也。

にはふ^ニ (動) ば四 (擔) 肩擔物之謂。

◎ (同義) かたぐ。

にはぬ^ニ (名) (布) 麻布也。ぬの之古言。

にはぬき^ニ (活名) (糞拔) 謂多加水而炊米。取其粘液爲糊。

◎ (同義) おねば。

にはぬし^ニ (名) (荷主) 貨物之所有者也。

にはのあし^ニ (名) (二足) 躊躇也。猶豫也。

にはのうで^ニ (名) (二腕) 謂手之上半接於肩者。即自肩至肘之間也。

にはのほ^ニ (名) (丹穗) 稻穗成熟帶紅者也。

にはのまひ^ニ (活名) (二舞) 舞曲之名也。舞安摩曲之後所舞。戲謔之曲也。

◎ 引申 謂凡人一爲之。而他人復爲之曰。

にはのまる^ニ (名) (二丸) 外城也。牙城外圍曰。又其外圍曰三の丸。

にはのみや^ニ (名) (二宮) 各州第一位之神祠爲一宮。其次位者爲一。

には^ニ (名) (庭) 庭也。在家之前若後。多栽花木。裝泉石。

には^ニ (名) (場) 凡行事之地曰。合戦の「戦闘之地也。

には^ニ (名) (海上) 海面也。

にはらめ^ニ (名) (庭梅) 郁李也。一名こうめ。似李而小。春著小白花。

にはか^ニ (形名) (俄) 急遽也。◎ 一種之舞伎。多寓戲謔意者。祭神。又有慶賀時奏之。

には^ニ (副) 一あめ (名) (俄雨) 驟雨也。一だうしん (名) (俄道心) 謂有感於事。一旦削髮爲僧。又指其人爲。

一びより (名) (俄日和) 乍晴也。一ぶ

びん (名) (俄分限) 暴富者也。

には^ニ (名) (庭木) 謂庭園所栽之木。庭樹也。

には^ニ (名) (庭草) 同まきくさ。又庭園自生之草也。

には^ニ (名) (庭子) 農家奴婢相借爲夫婦其所生之子。又繼事其家者曰。

には^ニ (名) (庭櫻) 庭園所栽之

櫻樹也。◎ 木名。にはうめ之一種。開重

辦白花。

には^ニ (名) (甘遂) 草名也。形似燈臺草。

には^ニ (名) (行潦) 行潦也。

には^ニ (名) (庭帳) 記録地租之簿書也。

には^ニ (名) (庭作) 園丁也。農

駝師也。◎ 庭園造築之法也。

には^ニ (名) (接骨木) 灌木之名也。高

丈餘。葉繁茂。夏日開小白花。其實似赤豆。

には^ニ (名) (鷄) 鷄也。

には^ニ (名) (糞花) 謂煎茶之初椀。香味殊

饒者。

には^ニ (名) (新嘗) にひなめ之古言。

には^ニ (名) (庭騎) 試乘訓練馬曰

には^ニ (名) (庭訓) 庭訓也。

には^ニ (名) (庭火) 焚於庭上之火也。

には^ニ (名) (庭藤) 胡豆也。一名いは

ふち。

には^ニ (名) (庭見草) はぎ之異名。

には^ニ (名) (庭狹) 庭爲將狹之義。

◎ 誤用爲庭上之義。

には^ニ (名) (庭柳) 草名也。生路傍。

莖長六七寸許。夏開花。其色白而似蓼。一

名いはやなぎ。

には^ニ (名) (新絲) 今年所製之絲也。

には^ニ (名) (新鴻雁) 鳥名也。

一名うがん。

には^ニ (名) (新搾) 新釀之酒也。

には^ニ (名) (糞浸) 卿香魚等加醬油

味醂。かつをぶし。而熟煮。并其骨皆可食

者。

には^ニ (名) (新嘗) 謂享新穀於神而

祭之。齋戒而終夜坐祠內。此禮上代通上下

而行之。

には^ニ (名) (新嘗) 昔時。陰曆十一

月卯日。今時十一月二十三日所行之祭事。天子享新穀於諸神。又自食之。一まつり

にふばりニ活名(新治) 新墾之田也。

◎同義) しんてん(新田)。

にひやニ名(新屋) 新築之家也。

にひやくニ名(新屋) 二百十日) 立春

後第二十日後也。此時稻花方發。故農家

尤忌此日有風雨。以其有無決一年豐凶。

にひやくニ名(新屋) 二百二十日) 二百

十日後又十日也。此時晚稻花方發。故農

家忌此日之風雨。同二百十日。

にひわかニ名(新若草) 同わか

さ。新草也。

にふニ名(二府) 謂左近衛府。右近衛府。

古任禁中守護之官。今廢。

にふニ形動(鈍) にぶし之音便。一い

にふニ形動(鈍) にぶし之音便。一い

にふニ名(入校) 入學也。一す(動)

にふニ名(入學) 始就師也。始入學

堂受業也。一す(動)

◎同義) にふもん(入門)。

にふニ名(入金) 謂所借之金返

還其幾分。◎凡收納金錢。皆稱一。一す

にふニ名(入銀) 同にふきん。徳川

時代多用此語。一す(動)

にふニ名(貳分金) 古金貨幣名。抵

金一兩之半。

にふニ名(入花) はいかい刪潤之

謝儀也。

にふニ名(入貢) 謂外國入朝獻貢

物。一す(動)

にふニ名(入國) 謂諸侯始往其封

地。

にふニ名(入札) 同いれふだ。投

票也。

にふニ形動(鈍) 謂刀劍不銳利。◎

謂人之鈍而不敏慧。一さ(形名) 一さ

にふニ形動(鈍) 謂收受爲已有。

にふニ名(入塾) 謂寄寓於塾舍。

にふニ名(荷札) 本票記所有者姓名。以

附離貨物者。

にふニ名(入湯) 澡浴也。

にふニ名(入道) 謂削髮入佛道。

◎謂入佛道之人。古三位以上入佛道者稱

入道。其以下者稱新發意。一しんニ名(入道親王) 古親王入佛道者之稱

又稱法親王。一むニ名(入道蟲) 蟲

名。

にふニ名(入定) 佛教謂死爲

一。一す(動)

にふニ名(入津) 謂船入海口。

にふニ名(入朝) 入朝也。一す

にふニ名(入内) 古。自外位入内

位曰一。一すニ名(入内雀) 雀之一

種。

にふニ形動(鈍鈍) 謂遲鈍之甚。一

にふニ形動(鈍鈍) 謂遲鈍之甚。一

にふニ名(荷船) 謂運搬貨物之船。

にふニ名(入梅) 謂入梅雨之節。

にふニ名(入梅) 謂入梅雨之節。

◎梅雨中亦曰一。一曰つゆ。

にふニ名(入府) 入都也。

にふニ名(入夫) 與寡婦婚而冒其姓

曰一。

にふニ名(入部) 諸侯始往其封地也。

與にふニ同。

にふニ名(入木) 書法之一也。音

便稱じゆぼく。

にふニ名(入滅) 死也。佛家者流

之語。又曰入寂。

にふニ名(入門) 謂始入學堂若師

門。

◎同義) てしり(弟子入)。

にふニ名(入用) 同いりよう。資

金也。◎同いりめ。費目也。

にふニ名(入牢) 下獄也。一す(動)

◎同義) じゆら(入牢)。にふニ名(入獄)。

にふニ名(入院) 謂寄寓病院治療

疾患。

にふるニ動(四) 鈍也。

にへに(名)(寶) 同にひなへ。寶也。謂所獻

天子及神之物。又轉爲贈遺之義。

にべ(名)(鮓) 魚名也。自其腹中取鯨膠也。

にべ(名)(鯨膠) 取於鯨魚腹中而製之。用

接合物。緊著不離。

にへとの(名)(寶殿) 古。禁中調理諸州

所獻之魚鳥之處也。

にへの(はつ)がり(活名)(寶初刈) 謂將

獻新穀於朝廷神祇而獲稻。

にべん(名)(二便) 大小便。即尿溺也。

にほ(名)(鳩) 水禽名也。形似

鴨較小。頭背及翅有著黑斑紋。

嘴尾共短。脚紅。常游泳水

中。一名かいつむり。む

くつうて。(鵞。鴝)

にほはし(形動)(句)

同にほやか。有光澤也。

にさ(形名) 一さ(形) 一く(副)

にほはす(動三四)(句) 使有光澤也。

使芳香蒸然也。微示其意也。與ほの



[ほ に]

めかす同義。

にほはせる(動さ下二)(句) にほはす

之今言。

にほひ(活名)(句) 同つや。光澤也。

同かをり。薰香也。が(名)(句香) 芳

香也。どり(名)(句鳥) 鶯之異名。

ふくろ(名)(句袋) 携香料之袋也。

にほふ(動は四)(句) 美觀也。有

風韻也。薰香也。

同義。うるはしくはのめく。つやめく。はえ

なり。ひかる。

にほん(名)(二品) 親王位階之第二位

也。二位也。

にほんざし(活名)(二本差) 武士也。以

常佩大小刀。故呼爲。やきどうふ之

異名。

にまめ(名)(煮豆) 大豆黑豆等。加砂糖與

醬油而熟煮者。

にもつ(名)(荷物) 行貨也。一日に。又曰

かもつ。

にもの(名)(煮物) 所熟煮之食也。

にやく(名)(荷役) 謂船之積載貨物。或移

之於他。

にやける(動か下二) 纖弱也。輕佻也。今言

にやけを(名) 輕薄兒也。謂男脩飾

面貌。求婦女之悅者。

にゆ(動や下二)(煮) 煮而熱也。水

熱而沸騰也。

によい(名)(如意) 事獲如意所欲也。

佛者之具。以玉鐵

竹等製之。長一尺許。

形似薇者。はり

しゆ(名)(如意寶珠) 佛說所謂靈妙

之珠。神功皇后征韓時。海中所得之寶

珠也。りん(名)(如意輪) 觀世音中

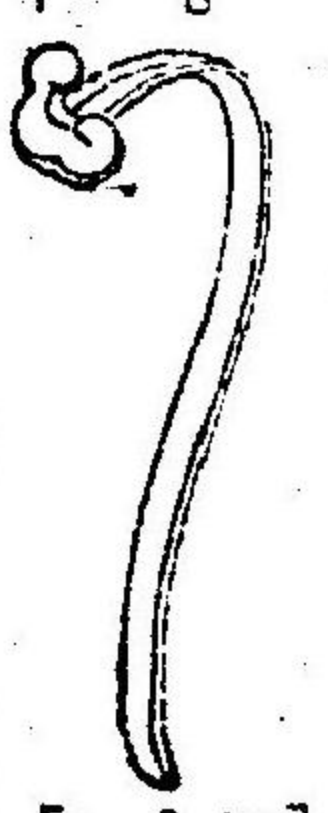
之一也。有六臂。持如意寶珠。

により(名)(女官) 婦女奉仕宮中

者之總稱。

により(名)(女御) 入內而未立爲皇后

間之稱號。だい(名)(女御代) 謂代女



[に よ]

御而奉仕之女官。にや(名)(女御屋) 女

御之私室也。

によう(名)(女房) 古。禁中女官

之稱也。古。貴族侍女之稱也。今謂

凡人之妻皆爲。ことば(名)(女房詞)

謂古。禁中女官。及諸侯侍女之言辭。一種

異於常語者。

によう(名)(女房) にようげう之略言。

によう(名)(女院) 謂皇太后得門院

號者爲。始于一條帝母后藤原氏號東三

條院。

によ(名)(女系) 謂以女子繼續血統

によ(名)(女護島) 海島之

名。俗傳。全島有女無男。八丈島異名。

在伊豆州海中。

によ(名)(女相) 女之形相。同女

體。

によ(名)(女子) 女也。女兒也。

によ(名)(女姓) 女也。

(にょじゆ) [名] (女嬌) 古、内侍司所屬之
女官也。

(にょせ) [句] (如是) 如此也。佛經。釋迦
說之。而其徒記之。故開卷皆冠「我聞四
字。」◎正宗所說之法門。

(にょたい) [名] (女體) 女之身體。同にょ
さう。

(にょてい) [名] (女帝) 皇女即位爲天子者。
(にょとうり) [名] (女東宮) 皇女立爲東
宮者。

(にょにん) [名] (女人) 佛家稱婦女之語。
(にらほふ) [名] (如法) 同かたのごとく。
如是也。出於佛語。

(によぶ) [動] (呻) うなる、呻吟也。
(によべたり) [名] (女別當) 齋宮奉仕之
女官。

(によほり) [名] (女奉書) 勾當内侍受
勅所之文書也。
(によぼん) [名] (女犯) 謂犯邪淫戒。佛語
也。

(にょらい) [名] (如來) 佛之美稱。◎日
之異名。

(にょら四) [似寄] 酷似也。
◎(同義) よくにる。

(にょろり) [名] (霸王樹) 木名也。伊豫州近
地方言。謂さぼてん(霸王樹)。又仙人掌爲
一。

(にょわり) [名] (女王) 女王也。
(によるん) [名] (女院) 女院也。同にょ
ん。

(にら) [名] (韭) 草名。韭也。一名ふたもじ、
こみち。

(にらき) [名] (道) 蔬菜醃於鹽若醋者。
(にらぎ) [名] 魚名也。長二寸許。形似いぼだ
ひ。

(にらまふ) [動] (下) (二) にらむ之長言。
◎(同義) にらみつく(駭付)。
(にらまへる) [動] (下) (二) (駭) にらまふ
之今言。
(にらみあひ) [活名] (駭合) ◎兩者相嫉

視也。◎相怨也。

(にらみくら) [活名] (駭) 兒戲之一種。兩
人怒目相睨。以先笑者爲敗。

◎(同義) めくらん。
(にらむ) [動] (四) (駭) 怒目而視也。
(にら) [動] (上) (似) 似也。相類也。
(にる) [動] (上) (養) 養也。熬也。

◎(同義) たく。
(にれ) [名] (榆) 木名。榆也。生於寒地。春開
花。實大三分許。葉似櫻。取其外皮爲藥材。
(にれがむ) [動] (四) (齧) 謂獸嚼草。吐而
復食。

◎(同義) にけがむ。ねりがむ。
(にれもみ) [名] (榆樅) 形似樺之樹。生於大
和下野諸州山中。

(にろくじちゆり) [名] (二六時中) 一晝
夜也。往時。晝夜各分爲六時。故云。
(にわりの) [名] (仁王) 佛法守護之二神。右
曰那羅延金剛。左曰密迹金剛。共現勇猛
之相。故一名金剛力士。一もん[名] (仁

王門) 寺門安仁王者。

(にら) [名] (日記) 日記也。與日録同。

◎(同義) にっし(日誌)。
(にら) [名] (日給) 雇直以日所定者
也。日當。

(にら) [名] (日勤) 謂每日出而勤務。
す(動)。

(にら) [名] (日課) 日日一定之課業也。
(にら) [名] (日光) 大陽之光也。一
たりがらし(活名) (日光唐辛) 以紫
蘇所包裹之蕃椒也。下野州日光町始製之
故名。一らふせき(名) (日光蠟石) 下
野州日光足尾近地所出。蠟石之一種也。

(にら) [名] (日參) 謂日日參詣神祠若佛
寺。

(にら) [名] (日誌) 日誌也。與日記日録同。
(にら) [名] (入聲) 入聲也。四聲之
一。
(にら) [名] (日章) 日章也。日本國
旗。

(にんしゆつ) [名] (日出) 日出也。

(にんじよく) [名] (日蝕) 日蝕也。同にんそく。

(にんすう) [名] (日數) 日數也。

(にんしん) [名] (日新) 日新也。

(にんそく) [名] (日蝕) 月挾於日與地球之間而蔽日也。

(にんたいそく) [名] (日帶蝕) 日蝕也。

(にんたりつ) [名] (日當) 雇直以日所定者也。同にんきう。

(にんたりつ) [名] (入唐) 往時。謂佛僧遊學於唐。爲一。

(にんちゆう) [名] (日中) 晝也。謂日出至日沒之間。

(にん) [名] (仁) 木實核中之肉也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (任) 任務也。責任也。職分也。

(にん) [名] (人) ひと。ひとがら。人也。人品也。

(にん) [名] (任意) 從心所欲也。

(にん) [名] (認可) 識認其可而許之也。與許可同。一す(動)。

(にん) [名] (人界) 佛教。謂人世爲一。

(にん) [名] (人氣) 謂世人之感情。輿情也。與じんき同。

(にん) [名] (人形) 偶人也。一し

(にん) [名] (人形芝居) 演劇之一種。操偶

人使舞蹈者。一つかひり(活名) (人形遣)

操偶人使舞蹈者。一まはしり(活名) (人

形廻) 同あやつり。

(にん) [名] (人魚) さんせううを(山

椒魚) 一名。俗傳。有人魚者。上半身

人而下半身魚。其面似婦女。妄已。

(にん) [名] (人外) 謂蕩於道義之外

者。

(にん) [名] (任官) 任官也。一す(動)

(にん) [名] (忍術) 匿己身。使人不得

見之秘術也。古。間諜潛入敵陣伺其動靜。

用此術。一名しのびの術。

(にん) [名] (任所) 受任之地也。

(にん) [名] (妊娠) ばらむ。みこもり。

懷妊也。一す(動)

(にん) [名] (人參) 藥草之名。一莖直

立。枝莖開細花。後結實。取其根爲藥劑。

有特效。一ざ(名) (人參座) 昔。掌培養

人參之官司也。一ぼく(名) (人參木) 其

葉似人參。幹中有心。方形。夏開花。其實似

胡麻而黑色。

(にん) [名] (胡蘿蔔) 胡蘿蔔也。本名せ

りにんじん。芹屬也。夏播種。春末開五瓣

白花。

(にん) [名] (人數) 人數也。多數也。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

(にん) [名] (任) 謂擔任其事。

補。任將軍請拜。

(にんそく) [名] (人足) 負擔行李貨物等。服

勞役者也。猶苦力者。

(にんたい) [名] (人體) 同にんてい。人之

身體也。又人品也。

(にんたい) [名] (忍耐) 同しんげう。忍耐

也。

(にんたいらし) [形動] (人體) 同ひとが

らし。謂其人品位自備。

(にんぢやう) [名] (人長) 神樂奏舞者之

長也。

(にんぢやう) [名] (人定) 謂就寢之時。即

下午十點鐘也。

(にんぢゆう) [名] (人中) ①人群之中也。

②同はなみぞ。鼻上兩目之間也。——はく

[名] (人中白) 小便のなり。溺塗也。——

あちの [名] (人中黃) 大便之液也。

(にんてい) [名] (認定) 謂認其可而決定之。

(にんてい) [名] (人體) 同ひとがら。人品也。

◎同義) にんたい(人體)。じんべん(人品)。

(にんざう) [名] (人頭) 人口也。

◎同義) ひとかず(人數)。

(にんざう) [名] (忍冬) 蔓草也。生山野。夏

初開白花。金銀花。老翁鬚。

(にんじく) [名] (忍辱) 佛教之語。謂忍耻

辱不報怨。

(にんじく) [名] (大蒜) 草名也。扁葉多臭。

花似葱。根皮赤。用爲藥劑。

(にんび) [名] (人非人) ①人而非人之

義。罵不義者之語。②同ふた。屠者也。

(にんぶ) [名] (人夫) ①昔。謂出而服公役者。

其數以地之大小有差。②與人足行同。一

名かる。

(にんぶ) [名] (妊婦) 孕婦也。

◎同義) はらみをんな(孕女)。みもちをんな(身

持女)。

(にんべつ) [名] (人別) ①各人之義。②名

簿也。

(にんべん) [名] (人偏) 漢字从人字之イ也。

如仙供等。

(にんめん) [名] (任免) 任官及免官也。

(にんめん) [名] (人面瘡) 謂癰生膝

頭者。其形似人面。故名。

(にんめん) [名] (人面獸心) 人面

獸心也。指斥沒道義者之語。

(にんよう) [名] (任用) 任用也。——す(動)

(にんわり) [名] (人皇) 與神代別。稱神

武天皇以後諸帝爲一。

(にんわり) [名] (仁王會) 上古。於大

極殿紫宸殿清涼殿等。每年三月七月兩度

修此會。講釋仁王護國般若經。以祈皇家

隆運。

ぬ

(ぬ) [子音] 此音母音より所胚胎。彈舌端於上

頸之底而發之。

ぬぬ [名] (瓊) 瓊也。たま之古言。

ぬぬ [名] (野) 野也。の之古言。

ぬぬ [名] (沼) 沼也。ぬま之古言。

ぬぬ [助] 表示自然過去之助辭。「春行き」。

春逝也。

ぬぬ [助] 表拒否之意之助辭。「思は—夢」心

不思而夢也。

ぬぬ [名] (鴟) 鳥名。鳥類也。其大如鳩而

嘴黃。晝伏夜出。一名どらつぐみ。おにつ

ぐみ。◎俗説。近衛帝時。怪禽夜鳴。帝有疾。

源賴政奉詔射之。猴首虎身。其尾如蛇。而

聲類ぬぬ。(鴟) ◎轉用前説。凡怪奇異樣

者。皆稱爲一。「文章支離滅裂之文也。

ぬぬ [名] (糠) 糠也。糠麴。米皮糠。米枇。

ぬぬ [名] (額) 額也。一名ひたひ。「づく

投擲於地也。

ぬぬ [名] (額鳥) ぬかどりの略稱。

ぬぬ [名] (糠蚊) 蚊類也。大一分許。色

白。首有架。一名ぬかこ。かつをむし。浮

塵子。納子。

ぬかがき [名] (糠額) 馬具也。裝飾馬額者。

ぬかがみ [名] (額髮) 額髮也。一名まへがみ。ひたひがみ。

ぬかくき [名] (糠釘) 釘之極小者。

ぬかす [動] (四) (拔) 使脫漏也。言也。用於罵人時之語。何言乎也。

ぬかづき [名] (酸漿) 酸漿也。ほぼづき之古言。

ぬかづきむし [名] (叩頭蟲) 叩頭蟲也。一名こめつきむし。

ぬかづく [動] (四) (叩頭) 投頭於地而拜禮也。頓首。稽首。拜首。皆同。

ぬかづけ [活名] (糠漬) 謂和鹽於糠。以醃蔬菜。

ぬかどり [名] (額鳥) 小鳥之名也。其色淺青。善鳴。

ぬかぶろ [名] (糠袋) 小袋盛糠。浴時以去腐垢者。

ぬかぼし [名] (糠星) 衆星之總稱。

ぬきさし [活名] (拔差) 拔去及挿入也。加減也。す [動]

ぬきすつ [動] (下) (拔棄) 脫衣而放置也。

ぬきつる [動] (下) (拔連) 數人同時拔刀也。

ぬきつれる [動] (下) (拔連) ぬきつる之今言。

ぬきで [名] (拔手) 角觚四十八手之一。

ぬきでわた [名] (拔出綿) 解放衣布團等所出之綿絮也。一名ぬきわた。

ぬきとほす [動] (四) (貫通) 貫通也。

ぬきとほ [名] (拔穗) 稻之去穗者。

ぬきみ [名] (拔刃) 白刃也。露刃。一の槍。

ぬきれ [名] (貫入) 念珠也。佛家之具。

ぬかみち [名] 糠之和鹽者也。用於ぬかづき。

ぬかり [活名] (泥灣) 地上泥深也。

ぬかる [動] (四) (泥灣) 深泥難行也。

ぬかる [動] (四) (窪) 不注意也。闕意致誤也。

ぬき [活名] (拔) 拔去也。盜之竊刀身者也。謂拔取而空存其位。

ぬきとちやう [泥繪去骨作業者] 之略稱。

ぬき [名] (緯) 布帛之橫絲也。

ぬきあし [名] (拔足) 企足而行。步而不成聲也。差し足猶踏地。

ぬきいと [名] (拔絲) 解放衣所抽取之絲也。

ぬきうち [活名] (拔擊) 拔刀即擊也。

ぬきえもん [名] (拔衣紋) 謂不緊著衣領於頸。少露出肩背。一名のけくび。

ぬきかき [活名] (拔書) 摘取於全文中而書也。

ぬきかぶり [名] (糶車) 同いといぐるま。糶之綿絮也。

ぬきわた [名] (拔綿) 解放衣布團等所出之綿絮也。

ぬきんづ [動] (下) (抽) 謂優於衆出群也。才學衆に才學優於衆也。

ぬきんづ [動] (下) (擢) 選於衆而拔擢也。

ぬきんでる [動] (下) (抽) ぬきんづ之今言。

ぬき [動] (四) (拔) 抽出也。露出。刀を引抜也。選於衆而拔擢也。除去也。省略也。攻城寨而取之曰。

ぬき [動] (四) (貫) 貫通物之竅孔也。同はたす。遂行也。

ぬき [動] (下) (貫) 貫通也。つぎぬく (突破)。

ぬき [動] (下) (拔) 脫出也。同ぬきぬす。拔群也。省略也。

ぬき [動] (四) (脫) 脫衣脫履之脫也。

ぬき [動] (下) (脫) 衣自脫。履自脫之脫也。

也。

ぬくーい〔形動〕(温) ぬくし之音便。ーい〔形〕 ぬくき之音便。ーう〔副〕

ぬくーし〔形動〕(温) 同ちたか。温暖也。

ぬくーさ〔形名〕 ぬくーさ〔形〕 ぬくーく〔副〕

ぬくーとーい〔形動〕(温) ぬくとし之音便。

ぬくーい〔形〕 ぬくととき之音便。ーう〔副〕

ぬくーとーし〔形動〕(温) あたたかし。ぬく

し。暖氣感身也。ーさ〔形名〕 ぬくーさ〔形〕

ぬくーとーまる〔動ら四〕(温) 初冷者。今成温

暖也。

ぬくーぼひび〔名〕(温灰) 同あつばひ。灰猶

保火氣者。

ぬくーひびいたは〔名〕(拭板) 同わりいた。漆

板也。以白黒書。拂拭而復書。凡學堂資此

濟口講不及。其小者供官衙告示及人家暫

ぬくーむ〔動ま下二〕(温) 同前條。

ぬくーもる〔動ら下二〕(温) ぬくむ之今言。

ぬくーまる〔動ら四〕(温) 爲温暖也。同ぬ

くまる。

ぬけがら〔名〕(抜殻) 謂蛇蟬等成體時。所

記。其用極博。

ぬくふび〔動は四〕(拭) 拂拭也。

ぬくまり〔活名〕(温) ぬくまると。あたた

まりたる氣。温暖也。暖氣也。

ぬくまる〔動ら四〕(温) 爲温暖也。

ぬくみ〔名〕(温) 温度也。

ぬくむ〔動ま四〕(温) 同あたたむ。加之温

熱也。

ぬくむ〔動ま下二〕(温) 同前條。

ぬくもる〔動ま下二〕(温) ぬくむ之今言。

ぬくまる〔動ら下二〕(温) 爲温暖也。同ぬ

くまる。

ぬけがら〔名〕(抜穴) 地孔穴可通行者

也。漏出之處也。

ぬけいづ〔動た下二〕(拔出) 同ぬきん

づ。超出也。潜逃也。

ぬけがけ〔活名〕(拔駈) 攻城。先期獨進而

先登也。一の功名。

ぬけがら〔名〕(抜殻) 謂蛇蟬等成體時。所

主也。猶言某君。主人之尊稱。所有

ぬし〔代名〕(主) 對稱代名詞。敬語。

後世。爲婦女呼男之代名詞。

ぬし〔名〕(塗師) 漆工也。わりし之略。

ぬすびと〔名〕(塗師屋) 以漆工爲業者。

ぬすびと〔名〕(盜人) 盜也。竊人有者。

ぬすみ〔名〕(盜人宿) 隱匿盜賊之家也。

ぬすみ〔名〕(盜) 竊取也。ぬすむ〔活名〕

(盜食) 盜食而食也。ぬすもの〔名〕(盜物)

贓物也。

ぬすむ〔動ま四〕(盜) 竊取人有也。謂偷人

之瞻視而爲事。

ぬた〔名〕 以醋及大醬。和於魚肉蔬菜者。

ぬたうづ〔動た四〕 猪之横臥於草上謂

ぬたくる〔動ら四〕(轉頭) 轉頭也。蛇涎也。

ぬたくる〔動ら四〕(轉頭) 轉頭也。蛇涎也。

ぬたくる〔動ら四〕(轉頭) 轉頭也。蛇涎也。

ぬたくる〔動ら四〕(轉頭) 轉頭也。蛇涎也。

脱棄之殼。即蛻也。

ぬけくび〔名〕(拔首) 飛頭變也。一名ろく

ろくび。

ぬけさく〔名〕 癡呆也。鈍漢也。同のろま。

ぬけじ〔名〕(拔字) 脱文也。

ぬけは〔名〕(拔荷) 謂犯禁密出口之貨物。

ぬけは〔名〕(拔齒) 脱齒也。

ぬけまわり〔活名〕(拔參) 謂少年不請父

兄。竊往拜伊勢大廟。

ぬけみち〔名〕(拔路) 間道也。可逃

之術也。

ぬけめ〔名〕(拔目) 脱漏也。過失也。

ぬける〔動か下二〕(拔) ぬく之今言。(貫)

ぬびる〔動か下二〕(脱) ぬぐ之今言。

ぬさ〔名〕(幣) 禱神時所獻物。多以麻布綿

布或紙製之。ぬさる〔名〕(幣袋) 直

遠行者盛獻道祖神之幣以携帶之囊也。

ぬし〔名〕(主) 尊稱人而所加之敬語。某

ぬの〔名〕(布) 織麻及葛所作之總稱。――

〔名〕(布子) 綿布挾絮之衣。即縕衣也。――

ざらし〔活名〕(布引) 濯麻布而曝於日也。――

びき〔活名〕(布引) 曝布而緊張之也。――

●謂葦菌等並列而生之狀。――ひたたれ

〔名〕(布直垂) 大紋オビ之一名。――

ぬばかま〔名〕(奴袴) 縛袴也。さしぬき之

一名。――

ぬひひ〔名〕(奴婢) 奴婢也。――

ぬひひ〔名〕(縫) 縫紉也。所縫之衣也。●

刺繡也。――しし〔名〕(縫師) 縫工也。――

しろしろ〔名〕(縫代) 謂可縫合之處。――ど

ののつかさつかさ〔名〕(縫殿寮) 古官名。與ぬ

ひれひれ同。――どりどり〔名〕(縫取) 以五彩絲

刺繡爲文者。――とるとる〔動ら四〕(縫取) 爲

刺繡也。――ははくく〔名〕(縫箔) 以金銀絲刺

繡也。――はりはり〔名〕(縫針) 縫紉之務。同

はりはりじじとと。――はりはり〔縫針〕 縫紉所用之

鍼也。――めめ〔名〕(縫目) 縫合之痕也。――

ものもの〔名〕(縫物) 與ぬぬひひ同。●縫紉也。

縫衣也。●刺繡也。――もんもん〔名〕(縫紋)

所繡出之紋章也。――れれりり〔名〕(縫殿

寮) 古官名。屬中務省。司衣服裁縫之事。

與ぬぬひひどのどのののつかつか同。

ぬぬふふ〔動は四〕(縫) ●爲縫紉也。●爲刺

縫也。――ぬぬほほくく〔名〕(奴僕) 奴僕也。

●同義。ヤツヤツ(奴)。しもしも(僕)。げげなんなん(下男)。

どどほほくく(奴婢)。

ぬぬぼぼとと〔名〕(瓊茅) 茅以瓊裝飾者也。

ぬぬまま〔名〕(沼) 沼也。――たた〔名〕(沼田) 深

泥之田也。――ぬぬみみぐぐすりすり〔名〕 ●枸杞之一名。●芍藥

之一名。――ぬぬめめ〔名〕(統) 統也。光絹也。

ぬぬめめととまま〔名〕(滑胡麻) 亞麻也。

ぬぬめめららかか〔名〕(滑) 滑澤也。與ななめめららかか同。

ぬぬめめりり〔活名〕 ●滑也。●粘液也。

ぬぬめめるる〔動ら四〕(滑) 滑澤而難主持也。

●同義。ぬぬめめららかかなりなり(滑)。すすめめるる(滑)。

ぬぬららくくらら〔名〕 潤滑而難把持也。――ど

ぬぬららぬぬらら〔名〕(滑滑) 與ぬぬららくくらら同。――

どど〔副〕

ぬぬりり〔活名〕(塗) 塗也。塗様也。――いた

ががささ〔名〕(塗笠) 笠

之黒塗者。古婦女被

之。――ぐぐすりすり〔名〕

(塗藥) 藥劑塗抹皮膚者也。――しし〔名〕

(塗師) 漆工也。――ははしし〔名〕(塗箸) 漆

箸也。――ものもの〔名〕(漆物) 漆器也。――ゆ

やや(塗屋) 四面皆有土壁之家也。――ゆ

みみ〔名〕(塗弓) 漆弓也。

ぬぬりりつつくく〔動か下二〕(塗付) ●同ななすり

つつくく。塗抹也。●委罪於人之委也。

ぬぬりりつつげげるる〔動か下二〕(塗着) ぬぬりりつつく

之今言。



ぬぬりりてて〔名〕(鐸) 大鈴也。

ぬぬるる〔動ら四〕(塗) 與ぬぬりりつつくく同。

●同義。ぬぬすするるかかつつくく。

ぬぬるる〔動ら下二〕(濡) 濡染也。

●同義。ぬぬるるししめるめる。(濡)

ぬぬるるいい〔形動〕 ぬぬるるしし之音便。――いい〔形

ぬぬるるきき之音便。――ちち〔副〕

ぬぬるるしし〔形動〕(微温) ●微温也。●同

ぬぬるるしし。不敏也。遲鈍也。――ささ〔形名〕――

ささ〔形〕――くく〔副〕

ぬぬるるたまたま〔名〕(臍魂) 夢之異名。

ぬぬるるでで〔名〕(白膠木) 木名也。生於山野。

夏抽尺餘之長穗。開小花。其仁爲藥劑。名

五倍子。

ぬぬるるままここいい〔形動〕(微温) ぬぬるるままここし

之音便。

ぬぬるるままここしし〔形動〕(微温) 微温也。――

ささ〔形名〕――きき〔形〕――くく〔副〕

ぬぬるるままゆゆ〔名〕(温湯) 温開水也。

ぬぬるるみみ〔活名〕(微温) 謂微温之程度之語。

ぬるむ(動) ぬるむ(微温) 温度漸下也。
ぬれえん(名) (濡椽) 堂外板椽也。猶出
麻。

ぬれがみ(名) (濡紙) 濡紙也。

ぬれがみ(名) (濡髮) 頭髮洗而未乾者。

ぬれ室ぬ(名) (濡衣) 濡衣也。 冤罪
也。「なさせらる。負無實之罪也。

ぬれこと(名) (濡事) 謂演劇演男女間情
事。

ぬれころも(名) (濡衣) 濡衣也。

ぬれて(名) (濡手) 濡于水之手也。

ぬれぬずみ(名) (濡鼠) 狀途中遇雨衣袂
皆濡之語。

ぬればむ(動) ぬればむ(濡) 濕濡也。

ぬればとけ(名) (濡佛) 佛像無屋庇者。

ぬれみ(名) (濡身) 所濕濡之身也。

ぬれる(動) ぬれる(濡) ぬる之今言。

ぬ

ぬ(子音) 此音母韻之所胚胎。彈舌端於上
顎而發之。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (根) 草木之根也。 ぬれもと。な
こり。はじめり。事物之根源也。源始也。

ぬ(名) (子) 十二支之一。居其首位。 ぬ
下午十二點鐘也。夜半也。 ぬ正北位也。

ぬ(名) (寐) 同れむり。睡眠也。「が足ら
ぬ。謂睡眠不足。

ぬ(助) 表不然之意之助辭。「見えども」
雖不見也。

ぬ(助) 表命令之意之助辭。「行き」。見
「。可行。可見也。

ぬ(感) 表感動之意之語詞。

ぬあがりまつ(名) (根上松) 露根松也。(根
顯松。黃山松)

ぬあび(活名) (直上) 昂騰價格也。

ぬあざみ(名) (根薊) 草名也。生水邊。莖
二三尺許。春末開花。四瓣而淡紫色。一名
にひまぐさ。(蘭茹)

ぬあせ(名) (寐汗) 謂身體衰弱時。睡中自
發之汗。盜汗也。

ぬい(助) ぬ之轉訛。表不然之意之助詞。
「見え」。不見也。

ぬいかん(名) (佞奸) 佞奸也。

ぬいき(名) (寐息) 睡中之呼吸。

ぬいしん(名) (佞臣) 佞奸之臣也。

ぬいじん(名) (佞人) 佞奸之人也。

ぬいべん(名) (佞辯) 佞奸之言也。能顛
倒是非。蠱惑人。

ぬいり(活名) (根入) 謂根深入地。

ぬいりこむ(動) ぬいりこむ(寢入込) 熟睡也。

ぬいりばな(名) (寐入端) 謂就睡未久之
時。

ぬいる(動) ぬいる(寐入) 熟睡也。 ぬ謂
事之中廢。

ぬいろ(名) (音色) ひびきのこゑ。れざし。
音聲也。音調也。

ぬらす(動) ぬらす(念) 同ころへしのぶ。耐
忍也。

ぬらせつ(名) (饒舌) 饒舌也。多辯也。

ぬらだら(名) (尿道) 尿自膀胱出於

體外之管也。

ねうち〔名〕〔直打〕●物之估値也。●人

之品格也。〔十の無い人〕。乏品格之人也。

◎〔同義〕あたい(價)ね(直)たうとさ。ひん。

〔品〕

ねうはち〔名〕〔鏡鉞〕佛

家所用之樂器也。以響銅銅の

製之。圓形中凹。

ねえさん〔名〕●姉之敬稱。

●年長婦女之敬稱。●呼酒樓酌婦之稱。

ねねさ〔名〕〔寢起〕●睡覺而起也。●就

眠及覺起也。

ねねく〔動〕か上二二〔寢起〕睡覺而起也。

ねかけ〔名〕〔根掛〕婦女首飾之一。著於鬢

者〔綵絹〕

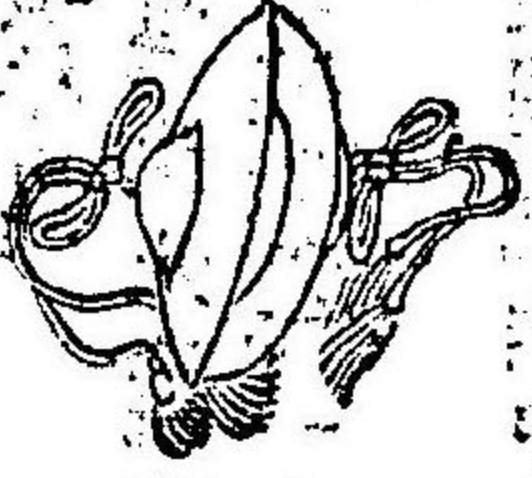
ねかしもの〔名〕〔廢物〕居貨久不售者。

ねかす〔動〕さ四●使之寢臥也。●倒而

置之也。●貨物不售。金錢不利用。而徒

滯。皆曰「品を」。謂徒居貨物久不售

也。



〔ちはうね〕

ねかす〔動〕さ四〔殍〕謂造麴。置之暖室使

發黴。

ねがはくはつ〔副〕〔願〕猶言所願。

ねがはしつ〔形動〕〔願〕同のぞまし。所希。

願之意也。―さ〔形名〕―さ〔形〕

〔副〕

ねがはししいつ〔形動〕ねがはし之音便。

―い〔形〕ねがはしき之音便。―り〔副〕

ねがひことば〔名〕〔願事〕所祈願事也。

ねがひさびば〔活名〕〔願下〕謂既上請而

又請止之。―す〔動〕

ねがひてば〔名〕〔願手〕上願之人。

ねがひのいさつ〔名〕〔願絲〕陰曆七月七

日夜。祭織女星所供之絲也。

ねがふつ〔動〕は四〔願〕●求欲也。願望也。

●祈請神佛也。

ねから〔副〕●同もとより。元來也。●

一切也。絕無之絕也。

◎〔同義〕さう(は)。(更思)ねつから。

ねぎ〔名〕〔葱〕蔬菜之名也。葉圓長而未銳。

有臭氣。夏開小白花。根深入土中。可食

〔青葱〕

ねぎ〔名〕〔禰宜〕廟祝也。神職之下僚。

ねぎごと〔名〕〔祈事〕所祈願之事也。與

ねがひこと同。

ねさし〔名〕〔根岸〕●山麓之地也。●砂

質精良之壁土也。

ねさはり〔名〕〔寢際〕就眠之際也。

◎〔同義〕ねしや。ねしな。

ねざらふり〔動〕は四〔慰勞〕慰勞也。

ねざりはさり〔副〕猶言悉皆。

ねざりむし〔名〕〔根切蟲〕蟲名。一名ぢむ

し。蠹賊也。

ねざる〔動〕ら四〔直切〕迫折價也。

ねぐ〔動〕か四〔祈〕●祈願也。●同ねぎ

らふ。慰勞也。

ねぐさしい〔形動〕〔寢臭〕ねぐさし之音

便。

ねぐさしし〔形動〕〔寢臭〕似既寢者之義。

又寢而發臭氣也。―さ〔形名〕―さ〔形〕

ねく〔副〕

ねくさる〔動〕ら四 罵貪睡之語。

ねくたれがみ〔名〕〔寢腐髮〕寢而亂之髮

也。

ねくび〔名〕〔寢首〕睡中所斬之首也。―

を掻く。斬睡者之頭也。

ねぐら〔名〕〔壻〕鳥栖也。―どり〔名〕〔壻

鳥〕栖鳥也。一名れどり。

ねぐらす〔動〕さ四〔寐暮〕睡過一日也。

ねぐるし〔形動〕〔寐苦〕謂睡難成。―さ

〔形名〕―く〔副〕

ねぐわん〔名〕〔寢棺〕臥棺也。臥死者所納

之棺。

ねこ〔名〕〔猫〕●家猫也。捕鼠之獸。●德

川幕府末年以後以爲歌妓之異名。

ねこあし〔名〕〔猫脚〕食盤之脚。上豐中

窄。而下圓者謂―。

ねこぎ〔活名〕〔根拔〕謂并其根而拔樹。

ねここ〔名〕〔猫兒〕猫兒也。

ねここち〔名〕〔寢心地〕同ねこころ。

ねこころ [名] (寢心) 睡中氣味也。
ねこぎ [名] (寢蓆) 藺蓆也。展而橫臥其上者。

ねこざめ [名] (猫鮫) 鮫之一種。其面似猫。故名。一名さざえわり。

ねこせ [名] (猫脊) 背彎曲不能仰。所謂感施也。

ねこだ [名] (蓆) 以蓆製之。

◎(同義) つかのみ。

ねこど [名] (寢言) 嘔語也。睡中所發之言。◎(同義) 寢言也。

ねこなで [名] (猫撫聲) 柔媚之聲也。
ねこのめ [名] (猫目) 謂事物數變。猫睛時時大小不一。故云。

ねこま [名] (猫) 猫之古名。
ねこまた [名] (猫股) 謂老猫其尾岐分者。俗云。能化身魅人。一名猫魔。金花猫。

ねこみ [名] (寢込) 熟睡中也。一におし入る。謂熟睡中侵入人家。

ねこむ [名] (動ま四) (寢込) 謂爲熟睡。

ねころ [名] (直頤) 謂估價與物相當。
ねころぬり [名] (活名) (根來塗) 鎌倉時代。紀伊州根來寺所製之漆器也。其色。朱漆帶黃。

ねころふ [名] (動ま四) (寢轉) 橫臥也。

ねこる [名] (寢聲) 聲帶睡氣者。同れげい。

ねざり [名] (寢相) 臥容也。

◎(同義) ねざまひ。ねざま。寐。

ねさげ [名] (活名) (直下) 折價也。

◎(同義) ねびき。直下。

ねざけ [名] (寢酒) 就寢前所飲酒也。

ねざさ [名] (根笹) 千里竹也。其根遠施而繁茂於他處。◎紋章描千里竹者。

ねざし [名] (活名) (根差) 謂樹根入地。◎謂人之種姓。

ねざす [名] (動ま四) (根差) 謂樹根伸張。◎謂爲事之原因。

ねざむ [名] (動ま下二) (寢覺) 謂睡眠忽覺。

ねざめ [名] (寢覺) 睡起也。一ぐさ [名]

(寢覺草) ◎萩之異名。◎心之異名。一づき [名] (寢覺月) 陰曆九月之異名。

ねしな [名] 就寢之際也。與れぎは同。

ねしま [名] 就寢之際也。與れぎは。れしな同。

ねじめ [名] (活名) (音締) 謂緊張琴絃。

ねむろ [名] (根城) 牙城也。一名本丸。

ねしろ [名] (根白草) 芹之異名。

ねず [名] (不寢) 謂終夜不寢。一の番。警夜者也。

ねず [名] (鼠) れずみ之略稱。

ねずばん [名] (不寢番) 警夜者也。

ねずまひ [名] (活名) (寢住) 臥容也。與れさう同。

◎(同義) れさま。(寐)

ねずみ [名] (鼠) 獸名。鼠也。一いらづ [名] (鼠不入) 厨子畜食物。嚴防鼠害者也。

一いろ [名] (鼠色) ◎青色帶淡黑者。◎灰色。即黝色也。一ねとし [活名] (鼠奔) 鼠奔。捕鼠器也。一名れずみとり。一か

べ [名] (鼠壁) 壁似鼠色者。一がみ [名] (鼠紙) 反魂紙呈鼠色者。一ころし [活名] (鼠殺) 殺鼠毒也。用礬石製之。一と

り [活名] (鼠捕) 捕鼠器也。

ねせり [名] (鼠小便) 睡中遺尿也。一名いびたれ。

◎(同義) よつぱり。

ねせる [名] (動ま下二) (寢) 使睡臥也。

ねそびれる [名] (動ち下二) 謂寢而不成睡。

ねだ [名] (根板) 支持堂室之橫木也。

ねだい [名] (寢臺) 臥榻也。

ねだら [名] (寢道具) 臥寢所用之具。謂衾枕之屬。

ねたけ [名] (形動) (妬) 同れたまし。妬也。一さ [形名] 一さ [形] 一く [副]

ねたし [名] (形動) (妬) ◎可妬也。◎可嫉也。一さ [形名] 一さ [形] 一く [副]

ねたば [名] (妬刃) ◎鈍刃也。◎誤爲利刀而用。

◎(同義) ねたまし。ねたけし。ねくらし。(可嫉)

ねたまし〔形動〕〔妬〕可妬也。一さ〔形名〕

一さ〔形〕一く〔副〕

◎〔同義〕ねなし〔妬〕ねたまし〔妬〕

ねたまし一い〔形動〕〔妬〕ねたましき之音

便。一う〔副〕

ねたむ〔動ま四〕〔妬〕●妬忌也。●嫉忌也。

◎〔同義〕そねむ。〔嫉〕

ねたゆし〔活名〕〔根斷〕謂除去而盡之。覆

其根底。痛斷也。

ねだる〔動ら四〕〔狎而強請也〕

ねだん〔名〕〔直段〕估價也。價值也。價格也。

ねぢ〔名〕〔螺旋〕旋螺也。螺金也。

ねぢき〔名〕〔振木〕木名也。生山中。幹枝屈

曲。不可以爲材。燒而作炭。

ねぢく〔動か下二〕〔拗〕●屈曲也。●猜忌也。

ねぢくび〔名〕〔振首〕手終而獲人首也。

ねぢくる〔動ら四〕〔終振也〕

ねぢくれる〔動ら下二〕〔屈曲也。終振也〕

ねぢけびと〔名〕〔佞人〕奸邪之人也。

ねぢける〔動か下二〕〔拗〕ねぢく之今言。

ねぢる〔動ら四〕〔振〕ねづ之今言。

ねぢれる〔動ら下二〕〔拗〕拗曲也。

ねづ〔名〕〔熱〕●熱也。●有疾而體溫加於常之謂。

ねづ〔動た上二〕〔振〕終振也。使屈曲也。

◎〔同義〕ゆがめまはる。〔歪〕ねざる。〔振〕

ねづ一い〔形動〕ねつし之音便。一い

〔形〕ねつき之音便。一う〔副〕

ねづき〔活名〕〔根續〕謂去柱根之朽而新

補之。一す〔動〕

ねづく〔動か四〕〔寐付〕就眠也。

ねづく〔動か四〕〔根付〕謂移樹生新根。

ねつけ〔活名〕〔根付〕著きんちやく之經

端。以挾持於腰帶者。其製不一。

ねつし〔形動〕過於濃厚也。清楚之反。與

ねだくし同。一さ〔形名〕一さ〔形〕

一く〔副〕

ねどる〔動ら四〕〔寢取〕謂與人之夫婦密

通。與人之情人密通。亦謂一。

ねながらむさ〔名〕〔佛甲草〕荻之異名。

ねなしかつら〔名〕〔根無葛〕蔓草之名。其

實爲藥劑。

ねなしこと〔名〕〔根無言〕謂無根之言。

虚言也。妄語也。訛言也。

ねのくに〔名〕〔根國〕人死後所往之國。

與よみのくに同。黃泉也。

◎〔同義〕よもつくに。

ねのひつき〔名〕〔子日月〕陰曆正月之

異名。

ねのひのあそび〔活名〕〔子日遊〕古。正

月。子日。人人出遊郊野。擣取小松。以祝壽

福。

ねのほし〔名〕〔子星〕北極星之異名。

ねばい〔形名〕ねべし之音便。一い〔形〕

ねばき之音便。一う〔副〕

ねばりや〔名〕〔寢坊〕貪睡人也。

◎〔同義〕いぎたなきひと〔寝坊人〕。

◎〔同義〕しつこし。〔濃厚〕

ねつばらけ〔名〕〔熱望〕謂熱心希望。

ねつびやりや〔名〕〔熱病〕體熱如火之疾。

牽扶斯之類。

ねつよ一い〔形動〕〔根強〕ねつよし之音

便。一い〔形〕ねつよき之音便。一う

〔副〕

ねつよし〔形動〕〔根強〕謂根本固定難

動。

ねどこ〔名〕〔寢床〕●臥褥也。臥床也。●

同ねま。寢室也。

◎〔同義〕ねや。〔寢〕。しんじつ。〔寢室〕。しんじよ

〔寢所〕。

ねどころ〔名〕〔寢所〕與れど同。

ねどひはどひや〔名〕〔根問葉問〕問自

根至於葉之意。謂窮問無遺。

ねどり〔名〕〔寢鳥〕宿鳥也。〔鷄〕

◎〔同義〕ねぐもどり。〔栖鳥〕。

ねどり〔活名〕〔音取〕謂將奏樂前。先整音

調。一す〔動〕

〔ねばし〕(形名)〔粘〕 粘也。 一さ〔形名〕

一さ〔形〕 一く〔副〕

ねばす〔動さ四〕〔粘〕 使粘也。

ねばうち〔名〕〔粘土〕 土有粘質者。宜用塗

屋壁。

ねばり〔活名〕〔根張〕 樹根伸張也。

ねばる〔動ら四〕〔粘〕 粘也。

〔ねはん〕(名)〔涅槃〕 梵語不生不滅之義也。

謂釋迦之死爲一。 一にしかせ〔名〕〔涅槃西風〕 稱陰曆二月十五日前後七日所

吹之軟風爲一。 伊豆伊勢地方舟人之語

也。

ねびえ〔名〕〔寢冷〕 謂睡中爲冷氣所犯。 一

す〔動〕

ねびき〔活名〕〔直引〕 同れさげ。折價也。

ねびき〔名〕〔根引〕 引幹而拔根也。 一

落耕妓女也。

ねびる〔名〕〔澤蒜〕 草名。澤蒜也。

ねぶ〔名〕〔合歡木〕 灌木名。合歡木也。同れ

ぶのき。

ねぶ〔動は上二〕〔老成〕 一老成也。 一謂老

成踰於年齒。

ねぶか〔名〕〔根深〕 草名。同れぎ。葱也。

ねぶかは〔名〕〔根府川石〕 相摸州

根府川村及伊豫州所出之石。多用於石碑。

〔ねぶたし〕(形動) ねぶたし之音便。 一

い〔形〕 ねぶたし之音便。 一さ〔形名〕

〔ねぶたし〕(形動) 欲睡也。 一さ〔形名〕

一さ〔形〕 一く〔副〕

ねぶち〔名〕〔根鞭〕 取細竹根多節者爲鞭

者。

ねぶつ〔名〕〔念佛〕 念佛也。ねんぶつ之約

言。

ねぶと〔名〕〔根太〕 腫物之一種。似癆而輕。

ねぶのき〔名〕 合歡木。木名也。繁枝細葉。

夜則葉之兩邊相合。花或紅或白。

ねぶみ〔活名〕〔直踏〕 評價也。

ねぶり〔活名〕〔眠〕 睡眠也。與れむり同。

〔ねぶる〕(動ら四)〔紙〕 紙也。

ねみだれがみ〔名〕〔寢亂髮〕 寢而亂之髮

與れくたれがみ同義。

ねみみ〔名〕〔寢耳〕 謂睡中恍乎聞。 一に

みづ〔句〕〔寢耳水〕 謂聞意外之事而驚。

ねむ〔名〕〔合歡木〕 合歡木也。與れぶのき

同。

ねむ〔動ま下二〕〔睨〕 睨視也。にらむ之古

言。

ねむい〔形動〕 ねむし之音便。

ねむけ〔名〕〔睡氣〕 睡意也。

ねむし〔形動〕(睡) 催睡意也。欲睡也。 一

さ〔形名〕 一さ〔形〕 一く〔副〕

〔ねむたい〕(形動)(睡) ねむたし之今言。

ねむたし〔形動)(睡) 睡意催也。欲睡也。

一さ〔形名〕 一さ〔形〕 一く〔副〕

ねむのき〔名〕〔合歡木〕 合歡木也。與れ

ぶのき同。

ねむり〔名〕〔睡〕 睡眠也。

ねむる〔動ら四〕〔睡〕 睡眠也。

〔ねめつく〕(動か下二)〔睨付〕 怒睨也。疾

◎(同義) しやぶる。

ねぼく〔動か下二〕(寢惚) 謂睡俄覺。忽

失心而迷惑。

〔ねぼける〕(動か下二)〔寢惚) ねぼく之今

言。

ねほりほほり〔名〕 與れどいぼどひ同義。

謂窮問無遺也。

ねほる〔動か下二〕(寢惚) 與れぼく同。

ねま〔名〕(寢間) 臥室也。與れどころ同。

ねまさ〔名〕(寢間着) 寢衣也。

ねまぢのつき〔名〕(寢待月) 陰曆十九夜

之月也。其出稍遲。故取寢而待出之義。一

名ふしまぢのつき。

ねまつり〔名〕(子祭) 陰曆十月甲子祭大

黒天。謂之一。

ねまどひ〔名〕 遽爾覺起。迷惑失方也。

同れぼく。

ねまはり〔名〕(根周) 謂樹根之周圍。

〔ねまる〕(動ら四)〔寢) 一奥羽地方方言。

同れる。 一加賀越前地方。危坐也。

視也。

〔ねめつける〕〔動か下二〕〔睨付〕 ねめつくる今言。

〔ねめる〕〔動ま下二〕〔睨〕 ねむ之今言。

〔ねもころ〕〔名〕〔懇〕 懇切也。懇懇也。與れんころ同。一は副。

ねものがり〔活名〕〔寢物語〕 就寢相語也。

ねや〔名〕〔圍〕 寢室也。圍房也。一名ねま。又よどの。

ねやす〔名〕〔直安〕 廉價也。

〔ねやす〕〔動さ四〕〔黏〕 謂煉而使有粘氣。

〔ねやま〕〔名〕〔根山〕 近山也。

ねらひ〔活名〕〔狙〕 狙伺也。一うち〔名〕〔狙撃〕 狙伺一人而撃也。狙而放火槍亦曰。

ねらひますます〔活名〕〔動さ四〕〔狙澄〕 精密狙伺也。

ねらふ〔活名〕〔練〕 練也。練絹也。練絹也。

ねらふ〔動は四〕〔狙〕 諦視而狙伺之也。

ねりもの〔名〕〔遼物〕 神祠賽禮。著古代服裝。成列而奉事於神者也。

ねりやうかん〔名〕〔煉羊羹〕 やうかん之精良者。

ねりやく〔名〕〔煉藥〕 煉製之藥劑也。

ねる〔名〕〔小絨〕 ふうらんれる之略稱。れるちぢみ之略稱。

ねる〔動ら四〕〔遼〕 同そろくゆく。徐行也。緩歩也。

ねる〔動ら四〕〔練〕 謂綢緞。加灰汁而柔之。謂鞣皮革。謂精勵學業技術。蓋取於練磨之義。

ねる〔動ら四〕〔埏〕 埏土而使有粘力之謂。

ねる〔動ら四〕〔煉〕 鍛練也。

ねる〔動な下二〕〔寢〕 ね之今言。寢也。横臥也。謂窖藏而造麴。世好變遷而不行。曰。

〔ねろ〕〔名〕〔嶺〕 山頂也。

ねわけ〔活名〕〔根分〕 謂草木分根而移植。ねわする〔動ら下二〕〔寢忘〕 酣睡失期也。

ねりも

古語 俚語方言 字音

ねりも

一四五九

鍛鐵也。

〔ねり〕〔名〕〔耒耜〕 農具之名。一名とりくび。

〔ねり〕〔名〕〔遼〕 徐行也。緩歩也。

〔ねり〕〔名〕〔撓革〕 撓革也。一名いためがは。

〔ねりがむ〕〔動ま四〕〔齡〕 與にれがむ同。

〔ねりぎぬ〕〔名〕〔練絹〕 練絹也。

〔ねりぎけ〕〔名〕〔練酒〕 白膠也。和酒而飲者。於東蕪。

〔ねりそ〕〔名〕〔練麻〕 紵樹枝而如繩者。用於東蕪。

〔ねりべい〕〔名〕〔練屏〕 墻以土與瓦築之。其上葺瓦爲屋者也。

〔ねりまだいこん〕〔名〕〔練馬大根〕 武藏州豊島郡練馬村近地所産之蘿蔔也。大而味美。

〔ねりもの〕〔名〕〔練物〕 凡精煉而成者之汎稱。

〔ねわする〕〔動ら下二〕〔寢忘〕 ねわする之今言。

〔ねを〕〔名〕〔根緒〕 著三絃琴之絃之一端。以緊張絃者。一かけ〔活名〕〔根緒懸〕 三絃琴之尾端。著れを之處也。

〔ねっか〕〔名〕〔根〕 根也。ねっこ之轉訛。安房州方言。

〔ねっから〕〔副〕 ねから之音便。

〔ねっけつ〕〔名〕〔熱血〕 用於言慷慨悲憤之狀之語。如滿腔の―を注ぐ。謂盡全身精力於此也。

〔ねっこ〕〔名〕〔根子〕 草木之根也。

〔ねっこく〕〔名〕〔熱國〕 在熱帶圈之諸邦也。

〔ねっしん〕〔名〕〔熱心〕 謂專注心於此。

〔ねったい〕〔名〕〔熱帶〕 地球上最熱地方之稱。在南北回歸線之間。

〔ねったろ〕〔名〕〔熱湯〕 最熱水也。

〔ねっち〕〔名〕〔熱地〕 炎暑酷烈之地。熱帶之地也。

(ねんちゆうり) [名] (熱中) 同れつぼう。
 (ねん) [名] (年) ①同とし。年也。②商家限期雇役少年。其期謂之。同れんき。
 (ねん) [名] (念) ①同かんがへ。おもひ。思念也。②注意也。

(ねんあけ) [名] (年明) 謂雇役年期之滿。
 (ねんえき) [名] (粘液) 粘液也。
 (ねんが) [名] (年賀) 新年賀儀也。
 (ねんがら) [名] (年號) 年號也。
 (ねんき) [名] (年季) 商家限期雇役少年。其期謂之。

(ねんき) [名] (年忌) 同回忌。謂人之死後。以忌日營佛事。其法久而漸疎。
 (ねんき) [名] (年紀) ①年代也。②年齡也。
 (ねんきふ) [名] (年給) 一年所受之俸給也。與年俸同。

(ねんきよ) [名] (年魚) ①魚生死於一年間者也。②あゆ。さけ等之魚也。
 (ねんきん) [名] (年金) 退官後每年所賜之恩給也。

(ねんご) [名] (年貢) 謂每年納於上者。地租也。

(ねんくわい) [名] (年回) 與年忌同。
 (ねんぐわん) [名] (念願) 願望也。又指其所願望之事。

(ねんげつ) [名] (年月) 同としつき。年月也。
 (ねんげん) [名] (年限) 所定期限之年也。
 (ねんこう) [名] (年功) ①謂多年勤勞之功。②多年熟練。曰。

(ねんごろ) [名] (懇) 懇切也。懇懃也。同れもごろ。一に(副)
 (ねんそり) [名] (年三) 謂一年中以正月五月九月三次齋戒。
 (ねんし) [名] (年始) 謂年甫之慶賀。一名れんとう。

(ねんし) [名] (年齒) 同よはひ。年齡也。
 (ねんじや) [名] (念者) 舉事詳密之人也。
 (ねんじゆ) [名] (念珠) 數珠也。佛家之具。
 (ねんず) [名] (念誦) 誦念佛誦經。

(ねんず) [動] (念) ①心中祈願也。觀世音を。謂心祈觀世音也。②耐忍也。

(ねんずり) [名] (年數) 同としかず。年數也。

(ねんせう) [名] (年少) 年少也。
 (ねんたい) [名] (年代) 年代也。一き[名] (年代記) 以事繫年。記錄古今大事者。
 (ねんちやく) [名] (粘着) 同れびりつく。粘着也。

(ねんぢゆうり) [名] (年中) 終歲也。一年間也。
 (ねんご) [名] (粘土) 粘土也。同れべつち。
 (ねんご) [名] (年度) 國家政務及會計。定時爲各年之限界。不必拘曆年。謂之年度。民間公司亦仍之。

(ねんご) [名] (年頭) 同れんし。
 (ねんご) [名] (念頭) 同こころ。心也。
 (ねんない) [名] (年内) 今年之内也。年内立春謂臘中春立也。
 (ねんね) [名] (寢兒) 睡眠也。小兒語。北陸

地方。又稱小兒爲。

(ねんね) [名] (寢寢兒) ①猫之異名。小兒輩之語也。②れんれこげんてん之略稱。一ばんてん[名] 負小兒於背時。所被之衣也。又略稱ばんてん。

(ねんねん) [副] (年年) 同としん。年年也。
 (ねんばい) [名] (年配) 年紀也。又同としごろ。年輩也。

(ねんばり) [名] (年報) 謂一年間所執事務之彙報。
 (ねんばち) [名] (丁斑) 魚名。めだか之異名。遠江州方言。

(ねんばん) [名] (年番) 謂以一年爲代期。服於勤務。

(ねんばらし) [活名] (念晴) 謂散遣疑念也。
 (ねんぶ) [名] (年譜) 年譜也。

(ねんぶ) [名] (年賦) 謂租稅若借金。不能一時納濟。分割於數年。年年納之。
 (ねんぶつ) [名] (念佛) 謂祈念於佛。稱南無阿彌陀佛之名號也。一かりが[名] (念佛

講)念佛宗信徒之講社也。一しゆり
[名]念佛宗) 佛教之一派也。出於天台。
僧良忍所始。

ねんぶつほり[名]念佛坊) 魚名也。し
ゆもくざめ之異名。四國方言(雙髻魚)

ねんぶん[名]年分) 一年之分額也。

ねんぼ[名]年甫) 同ねんし。

ねんぼり[名]年俸) 一年所受之俸給也。

ねんまつ[名]年末) 歲暮也。歲末也。

ねんまる[名]かじか之異名。筑前方言。

ねんらい[副]年來) 同としころ。數年
以來也。

ねんりき[名]念力) 深念之力也。

ねんりよ[名]念慮) 念慮也。同おもん
ばかり。

ねんれい[名]年禮) 年始慶賀之禮。

ねんれい[名]年齡) 同よはひ。れんき。年
齡也。

ねんれき[名]多年之經歷也。



の(子音) 此音母韻お所胚胎。彈舌端於上
顎而發之。

の(名)野) 同はら。野也。原也。

の(名)筥) 同やだけ。箭竹也。同や
がら。矢幹也。

の(助) 上承名詞。而下接於形容詞若動詞。
以明確名詞主格之助辭也。

の(助)之) 示名詞與名詞之關係之辭。●
示所屬之義之助辭。月一光り此句之の。
以明光輝之發於月也。●用於示關係之
助辭。世一中。此句之の。在世中兩字間。
以明中者非他。即人世之中也。●にある
(在於)之義。阿波一鳴門言鳴門在於阿波
也。●にてある之義。これ一里。●の

(のり)名(能) ●材能也。能力也。●藝能
也。技能也。●功能也。功驗也。同ききめ。

(のり)名(能) 舞樂之一種。散樂之餘流也。
應永中。足利三代將軍義滿之時。觀世世
阿彌所創。後世分爲觀世實生今春金剛四
派。又岐出喜多一派。

(のり)名(農) ●農業也。●農民也。

(のり)名(膿) 癰腫之潰汁也。一名うみ。

(のり)名(農家) 農家也。同ひやくしや
うや。

(のりがき)名(能書) 記藥功之書也。

(のりがく)名(農學) 農業之學也。

(のりがく)名(能樂) 舞樂之一種也。同
のう。

(のりぐ)名(農具) 農業所用之器具也。

(のりげ)名(能化) ●謂能教化人。●僧
徒稱師。曰一。

(のりげふ)名(農業) 農民業務也。農
事。耕耘。稼穡。皆同。

(のりじやう)名(農商務)

やうなる(如。似)之義。夢一世謂如夢之
人世也。●といふ(云)之義。富士一山所
名富士之山也。●繫續前後之語。而無意
義。語助也。面白一世可樂之世也。
の(助) 俳優演技。往往以一代を。以強語
勢。意見一仕り即意見を仕り也。謂加
訓戒。

の(助) 尊言於卑時。代助辭れ用一。斯斯
の處にゆきたるか一與斯斯の處にゆき
たるかね同。往於某處乎也。

の(助) 併叙諸多希望時。如接續詞而用。
「長生がしたい。金がためたい。高名
な人になりたい。」と様様の思ひごと謂
欲壽而富。且名譽之隆也。

の(接) 數布帛之幅之辭。布幅。以八九寸乃
至一尺爲常。如「ひと」「二」。

のあかざ[名]野藜) 野灰菜也。藜之一
種。

のあざみ[名]野薊) 小薊也。薊之一種。

のいずみ[名]肉刺) 肉刺也。一名まめ。

資) 衙門之名也。管理農。商。工。水産。林

野。鑛山。發明。意匠。商標及地質等事務。

(のうしやうむだいにむん) (名) (農商務

大臣) 農商務省之長官也。

(のうしよ) (名) (能書) 能書也。又能書之

人也。

のうせう(名) (陵霄) 與のうせんかづ

ら同。

のうせん(名) (野馬) 放牧之馬也。

(のうみん) (名) (農民) 農民也。

(のうやくしや) (名) (能役者) 以演奏猿樂

也。

(のうひつ) (名) (能筆) 同のうしよ。

(のうべん) (名) (能辯) 巧辯也。謂長於辯

舌人。

(のうま) (名) (野馬) 放牧之馬也。

(のうみん) (名) (農民) 農民也。

(のうやくしや) (名) (能役者) 以演奏猿樂

也。

(のうりよく) (名) (能力) 爲事之氣力也。

(のうるし) (名) (野漆) 草名也。たかとうだ

い之一名。

(のうれん) (名) (暖簾) 商家懸於軒。以標識

商號者。其用不徒遮射日。以綿布或麻布

製之。

のがけ(活名) 郊外散策也。

のがす(動さ四) (逃) 使逃去也。與にがす

同。

のがひ(活名) (野飼) 放牧也。

のがる(動ら下二) (逃) 逃也。脱也。同まぬ

か。のがれる(動ら下二) (逃) のがる之今言。

のがん(名) (野雁) 鳥名也。短尾長頸。形

似雁。其嘴及脚似雞而黑。無距。羽毛有斑

紋。腹及胸共白。

のぎ(名) (軒) 軒。簷。檐。宇也。謂屋端之

垂。

のぎ(名) (世) 麥穗之類也。同のげ。●

刺喉之魚骨也。同とげ。

のぎく(名) (野菊) 草名。鷄兒腸也。可食。

のぎしのぶ(名) (軒忍) 草名也。與しのぶ

同。

のぎならび(活名) (軒並) 謂衆家連軒。比

屋)

のぎば(名) (軒端) 簷端也。

のく(動ら四) (退) ●避讓也。退去也。同た

ちのく。●血統之疎遠亦曰。

のく(動ら四) (退) 斥退之也。除去之也。

のび(名) (世) のぎ之轉言。類也。

のび(名) (世) (野雞頭) 草名也。一根

一莖。高五六尺。葉似鷄頭而綠。

のびく(名) (仰領) 濶衣領而著也。與

ぬきえも同。

のび(名) (野芥子) 罌粟薊之一名。

京都方言。

のけ(動ら四) (仰反) 仰之甚也。

のける(動か下二) (除) のく之今言。

のこ(名) (鋸) のこざり之略言。關西方言。

のこざり(活名) (鋸) 古言のぼざり之轉

訛。掣割木材之具也。一名のこづり。のこ

び(活名) (鋸引) 德川時代刑罰之名

也。罪人肩出血。塗諸鋸齒。如鋸掣者。暴

於市二日。而後磔死。蓋古則使往於市者。

人執鋸一掣云。

のこす(動さ四) (殘) 使有殘餘也。(遺)

のこ(動ら四) (鋸) 鋸也。上野州方言。

のこ(動ら四) (拭) 拭也。與ぬぐふ同。

のこ(動ら四) (不殘) 無殘餘也。

◎同義) こく(名) (世)。サツカリ(名) (世)。

のこ(活名) (殘) 殘物也。殘餘也。

のこ(活名) (殘) (形動) (殘多) のこ(形) (

不忍於情也。一さ(形名) 一さ(形) 一

く(副)

のこ(名) (殘金) 殘餘之金也。同さ

んきん。あときん。

〔のこり〕**くさ**〔名〕(殘草) 冬菊之異名。

〔のこり〕**をし**〔形動〕(殘惜) 遺憾也。不忍於情也。―**さ**〔形名〕―**さ**〔形〕―**く**〔副〕

◎〔同義〕のこりおほし(殘多) なこりをし(名殘惜)。

のこる〔動ち四〕(殘) 遺留也。

のさき〔名〕(荷前) 荷前ニキ之轉訛。上古。年

末獻幣帛於十陵八墓。謂之。十二月十三日命有司擇吉日而行之。

のさばる〔動ら四〕 放肆也。跋扈也。專橫也。

のざらし〔活名〕(野晒) 髑髏也。與されかうへ同。

のし〔活名〕(熨) 謂張而伸長之。◎熨斗也。一名ひのし。◎のしあはび之略言。

のしあはび〔名〕(虹) 虹也。にじ之轉訛。

のしあはびびし〔名〕(熨斗鮑) 乾鮑肉薄片而展張之者也。用於慶賀儀式。又贈物於人。附之以爲禮。一名のし。うちあはび。

のしりめ〔名〕(熨梅) 點心之一種。以梅肉製者。

のしがたのくさ〔名〕(鉗繩) 同びやう。泡頭釘也。

のしね〔名〕(野稻) 稻之一種也。粒長而白。其初傳於南夷。一名梵天米。今名南京米。

のしめ〔名〕(熨斗目) 練貫^{ヌリ}之類也。中古以後武家禮服之一。

のしもち〔名〕(熨斗餅) もち之展而爲縱橫一尺許厚五分許者。小截而食。

のしゆんさく〔名〕(野宿) 露臥也。露宿也。

のしゆんさく〔名〕(野春菊) 草名也。多生山野。高一尺許。春夏之頃開花。花似よめな。一名しんさく。六月菊。

のしろぬり〔活名〕(能代塗) 羽後州能代所産之漆器也。一名あきたしゆんけい。

(秋田春慶)又のしろしゆんけい(能代春慶)

のす〔名〕(虹) にじ之轉訛。虹霓也。

のす〔動さ四〕(伸) ◎張而伸之也。◎熨

き〔形〕―く〔副〕

のぞみ〔活名〕 希望也。又所希望之事也。

のぞむ〔動ま四〕(臨) 同さしかかる。臨事臨水之臨也。

のぞむ〔動ま四〕(望) ◎遠眺也。◎同こひねがふ。希望也。

のぞいわり^ヲ〔名〕(野大黃) 羊蹄菜^ヲ也。京都方言。

のぞらうつ〔動た四〕(蜿蜒) 蜿蜒也。同はひゆく。

のぞくる〔動ら四〕(蜿蜒) 蜿蜒也。同はひゆく。

のぞち〔名〕(野太刀) ◎平時所佩之刀也。◎後世轉用爲長刀。

のぞつ〔動た四〕(伸立) 成長也。長育也。のぞて〔活名〕(野立) 古。貴人出行。山野停輿而休憩曰。

のたまはく^ク〔副〕(曰) 曰之敬語。

のたまふ^ク〔動は四〕(宣) 言也。敬語。

のたる〔動ら四〕(蜿蜒) 蜿蜒也。匍匐也。

而伸張之也。

のす〔動さ四〕 謂蛇蜥等長伸其體而行。のす〔動さ下二〕(載) ◎謂以私心稱揚人。◎記載也。◎謂陷人於術中。◎謂迎合人意。

のせり^ヲ〔名〕(野芹) のうぜんかづら之一名。

のせり^ヲ〔名〕(野芹) ◎柴胡^ヲ之一名。◎野生之芹也。

のせる〔動さ下二〕(載) のす之今言。

のぞき〔活名〕 ◎偷看也。◎のぞきからくり之略稱。◎壺。―からくり〔名〕

(規機關) 匣中挾畫。自前方小孔窺觀者。小兒玩具也。

のぞく〔動か四〕(臨) 臨事臨水之臨也。與さしかかる。のぞむ同。

のぞく〔動か四〕(窺) 窺觀也。偷看也。同うかがふ。かいまみる。

のぞく〔動か四〕(除) 除去也。

のぞまし〔形動〕 希望也。―さ〔形名〕―

のたれじに〔名〕 死於行路也。
のたれる〔動ら下二〕〔簡〕 倒於行路不能行也。

のち〔名〕〔後〕 後也。前之反。同うしろ。あと。 後裔也。子孫也。 爲佛家所謂未來(死後)之義而用。

のぢ〔名〕〔野路〕 野徑也。
のぢさ〔名〕〔野苜蓿〕 けしあぢみ(罌粟)之一名。

のちぎん〔名〕〔後産) 婦人産後所出之胞衣也。一名のちのもの。
のちせ〔名〕〔後瀬) 後日再逢也。

のちぞひ〔名〕〔後添) 繼室。繼妻。一名うはなり。又後妻。
のちのつき〔名〕〔後月) 次月也。 陰曆九月十三夜之月。

のちのもの〔名〕〔後物) 與のちさん同。
のちのよ〔名〕〔後世) 謂今後之年月。 後世也。 佛教所謂未來也。 即死後之別世界。

のちほど〔名〕〔後程) 少時之後也。
のちや〔名〕〔野茶) 草名也。ひめばぎ之西國方言。

のづち〔名〕〔野槌) 蛇之一種。棲於草野。
のづら〔名〕〔野面) 謂石之原形。石工之語。 謂不知恥之顔容。靦面目也。一名あつかば。鐵面皮。

のでのき〔名〕〔槇木) ぬるでのき之轉言。尾張州上總州方言。
のてん〔名〕〔野天) 戶外也。

のど〔名〕〔祝詞) のりと之略言。
のどか〔名〕〔咽喉) 咽喉也。のむど之約言。
のどか〔形名) 寛裕也。靜穩也。與のどらか。のどやか同。 晴和也。 なる

〔形) 一に〔副〕
のどくび〔名〕〔喉頭) 喉頭也。
のどけ〔名〕〔喉) 謂喉中腫起。覺食難咽下。

のどけし〔形動) 靜穩也。晴和也。 一さ〔形名) 一さ〔形) 一く〔副〕
のどとびと〔名〕〔野床人) 獵夫之異名。

方言。 小兒指祖母之語。上總州方言。

ののじる〔動ら四〕〔罵) 大聲騷擾也。與ののめく同。 怒叱也。惡言也。
ののみや〔名〕〔野宮) 古。皇女爲齋宮齋院時。所閉居齋戒之宮。

ののめく〔動か四〕〔罵) 大聲騷擾也。與ののじる同。
のほかま〔名〕〔野袴) 古。袴。裾有廣縁者。行旅穿之。

のほす〔動さ四〕〔延) 延長也。擴張也。 盛大也。 融解也。 遷延也。
のびはる〔動ら四〕〔延) のぶ之古言。

のび〔活名〕〔延) 延長也。 長短之度也。 謂疲而伸張手足。
のび〔名〕〔野火) 野火也。一名のやけ。

のびあがる〔動ら四〕 翹足也。
のびのび〔活名〕〔延延) 遷延之甚也。 憂懼去而身心舒寬也。

のびやか〔活名) 形容物長伸之辭。 一に〔副〕

のどに〔副) 與のどかに同。悠然也。

のどど〔副) のどか之甚也。
のどぶえ〔名〕〔喉吭) 吭也。氣管接喉之處。一名ふえ。のんどぶえ。

のどぼとけ〔名〕〔喉佛) 喉之突角。可外見者。
のどむ〔動ま下二〕〔和) 使之靜穩也。使之寛和也。

のどやか〔形名) 與のどか同。 一に〔副〕
のどらか〔形名) 與のどやか同。 一に〔副〕
のどろ〔名) 無檢束也。遲滯無期也。 一に〔副〕

のどわ〔名〕〔喉輪) 鎧之屬具也。著於喉邊。
のなか〔形名〕〔野中) 野中也。

のぬずみ〔名〕〔野鼠) はつかれずみ(駮鼠)也。越前州方言。
のの〔名) 幼兒指凡可尊者之語。神佛日月等皆稱爲一。 小兒指父之語。越前州



〔わびく〕

のびる〔名〕(野蒜) 蒜之一种。葉細。根小而圓。

のびる〔動〕(上)〔延〕 のぶ之今言。

のぶ〔動〕(下)〔延〕 ①同ひきのぼす。延長之也。②使引而遲之也。③敷陳也。

のぶ〔動〕(下)〔宣〕 詳言也。申言也。陳也。述也。

のぶ〔動〕(下)〔暢〕 ①伸長也。②遷延也。遲滯也。③謂物溶於水而增量。④盛大也。身代がー謂家運盛大也。⑤爲高也。草ー謂草長茂而莖高也。⑥遂也。逃けー逃了也。

のぶきり〔名〕(鋸) のこぎり之轉。房總諸州方言。

のぶく〔名〕(野服) 旅行所用衣服之總稱。

のぶし〔活名〕(野伏) 起臥山野而修業之僧徒也。與やまぶし同。

のぶし〔名〕(野武士) ①放浪山野。無定居之徒。②乞丐。棲于郊野者。

のぶすま〔名〕(野伏間) むささび(鼯鼠)

のぼせ〔活名〕(氣血衝逆也)。

のぼせる〔動〕(下) のぼす之今言。

のぼせる〔動〕(下) ①氣血衝逆也。②情激而一時失心也。

のぼり〔活名〕(幟) 旗之類也。其製如圖。多以布製之。古。爲戰陣之用。又有男兒家。端午日建之。祝其武運。



〔りぼの〕

のぼり〔活名〕(登) ①登也。②謂登躋之路。③袍之おくみ(襪)也。④明治以前。自各地至京都曰ー。明治以後至東京曰ー。

のぼりざと〔名〕(幟色) 漢字鄭郵等字ノ傍之稱。一名おぼざと。

のぼりばし〔名〕(登階) 梯子也。

のぼる〔動〕(四)〔昇〕 ①昇也。登也。②遡於流也。河をー遡於上流也。③氣血衝逆也。④自各地至帝都曰ー。

のま〔名〕(野馬) 牧馬也。一名のうま。

のまめ〔名〕(野豆) 生山野之蔓草也。莖葉

之一名。京阪方言。

のぶせり〔活名〕(野臥) ①與のぶし(野武士)同。②山賊也。一名やまたち。

のぶだらり〔名〕(野葡萄) えびづる(蔓藤)之一种。蔓草也。其實巨。秋熟。紫紅綠白相間。其觀甚美。一名蛇葡萄。

のべ〔名〕(野邊) ①郊野也。②葬也。③茶毘。梵語火葬之義。ーの烟り火葬之煙也。④ねくり〔名〕(野邊送) 葬送也。古。葬必於郭外。故名。

のべがね〔名〕(延金) 金屬展張而如紙者。

のべがみ〔名〕(延紙) 小紙用於拭靴者。

のべぎを〔名〕(伸棹) 長棹之義。三絃琴之異名。

のべる〔動〕(下)〔延〕 のぶ之今言。

のぼきり〔名〕(鋸) のこぎり之古言。

のぼす〔動〕(下)〔上〕 ①使登高也。②記載也。歴史にー謂記載史籍。③遣人於京都曰ー。明治以前之用語。今廢。④遣人於東京曰ー。明治以後之用語。

其茶褐色。葉似ふぢまめ(藤豆)而小。夏出穗開花。一名やぶまめ(鹿藿)

のまを〔名〕(野眞麻) 野生之苧也。

のみ〔名〕(蚤) 小蟲之名。夏時生濕地。色赤。吸人畜之血。有六脚。善跳躍。

のみ〔名〕(鑿) 工匠用具也。

のみ〔助〕 ①示無他之助辭。梅ー咲く謂梅花獨開。他樹未開也。②在句尾之ー。與耳而已同義。

のみぐすり〔名〕(飲藥) 內服藥也。

のみぐち〔名〕(注管) 注出樽中酒漿之口也。施栓於此。開閉如意。

のみくひり〔活名〕(飲食) 飲食也。

のみとむ〔動〕(四)〔吞込〕 ①咽下也。②承諾也。了解也。擔當也。

のみさし〔活名〕(飲殘) 飲之餘也。

のみし〔名〕(飲師) 酒徒也。善飲者也。與のみて同。

のみて〔名〕(飲手) 酒徒。善飲者。與のみし同。

のみどりぐさ〔名〕(蚤取草) 草名也。同名有二種。一開紅花。一開白花。一名ありのたふ。

のみどりまなこ〔名〕(蚤取眼) 視力精強之眼。轉爲注意精到細大無遺之義。

のみむし〔名〕(蚤蟲) 凡飛躍蟲之總名。一名はねむし。

のみもの〔名〕 飲料也。

のみ〔動ま四〕(飲) ①飲也。吞也。②吸也。烟草を「吸煙也。

のみ〔動ま四〕(祈) 請願也。祈禱也。

のみし〔名〕(蠱) 蠱也。一名きくひむし。

のみむど〔名〕(喉) 咽喉也。吞門之義。與のど同。

のみむどぶえ〔名〕(吭) 吭也。與のどぶえ同。

のめ〔名〕(船茹) 填船材罅隙。以止漏水者。一名まいはだ。

のめす〔動ま四〕 ①使倒於前也。「突き」謂撞而使倒於前。②屬動詞之後。用於輕

賤人所爲之語。「しやれ」

のめずりこむ〔動か四〕 謂不明入時而終入。

のめら〔形名〕 無恥兒。靦然也。與おめら同。一と〔副〕

のめり〔活名〕 晴行所穿之履。即駒下駄コマダ也。

のめる〔動ら四〕 ①倒於前也。②將倒於前也。

のめせ〔活名〕(野狹) 野尙狹之義。謂物之衆多也。一に〔副〕

のもり〔活名〕(野守) 古。有守野之吏。曰「もり」。一むさ〔名〕(野守草) はぎ之異名。

のや〔名〕(野矢) 矢用於獵鹿者。一名ししや。

のら〔名〕(野) 野也。ら語助。

のらいぬ〔名〕(野犬) 狗無主人者。

洞若貫人門前。「」を禁す。禁乘車馬而通過其前也。

のりうつる〔動ら四〕(乗移) ①轉乘也。瀛車に「謂轉乘火車也。②狐憑之憑也。

のりかかる〔動か四〕(乗掛) 開始事也。のりかく〔動か下二〕(乗掛) 載而上於物也。暗礁に「謂船載人而上暗礁。

のりかける〔動か下二〕のりかく之今言。のりかえエカ〔活名〕(乗替) ①轉乘也。②爲轉乘之副馬副車也。

のりさ〔名〕(乘氣) 從事而意氣旺盛也。又謂其旺盛之氣。

のりきる〔動ら四〕(乗切) 謂全程乘車馬同のきる。

のりくみ〔活名〕(乗組) 同乘之人也。同のりあひ。

のりくむ〔動ま四〕(乗組) 同乘也。同のりあふ。

のりすと〔名〕(詔詞) 詔詞也。

のりすつ〔動た下二〕(乗捨) 謂下馬而放

のらえ〔名〕 野花之義。紫蘇之古名。

のらね〔名〕(野鼠) 野鼠也。一名ひみず。

のらねこ〔名〕(野猫) 猫無主人者。一名どられい。

のらまめ〔名〕(蠶豆) ①豌豆也。②そらまめ(蠶豆)之方言。

のらもの〔名〕(浮民) 懶人也。

のり〔名〕(則) ①同おきて。法度也。規則也。②佛法也。

のり〔名〕(糊) 糊也。

のり〔名〕(血) 血之異名。

のり〔名〕(海苔) ①海苔也。可食。②多謂あまのり。紫菜也。

のり〔活名〕(乘) 載也。騎乘也。又乘勢之乘也。

のりあひり〔活名〕(乗合) 同乘也。又同乗之人也。「船同乗乘客者。

のりいれ〔活名〕(糊入) ①畜糊之壺。糊斗也。②杉原紙之一種。のりいれ紙之略稱。

のりうち〔活名〕(乗打) 謂乘車馬而過神

置之。

のりすてる〔動下二〕のりすつ之今言。

のりぞめ〔活名〕(乗初) 始乗也。試乗也。

のりたま〔名〕(海苔玉) すし之一種。以海

苔與雞卵作之。

のりぢ〔名〕(乘地) 同のりき。

のりぢ〔名〕(糊地) 謂塗糊之厚。

のりつく〔動下二〕(乘附) 謂驅車馬而

到達。

のりづけ〔活名〕(糊着) 謂以糊接合。

のりま〔名〕(祝詞) 祭神之詞也。祈禳之詞

也。又曰祭文。

のりまこと〔名〕(祝詞) 同のりま。

のりまを〔動下四〕(乘取) 謂冒取人有。城

を「攻城而陷之也。

のりのし〔名〕(法師) 僧也。一名ほふし。

のりのつかさ〔名〕(式部省) 古官名。

のりばけ〔名〕(糊刷毛) 刷子用於塗糊

者。

のりまき〔泛名〕(海苔卷) 海苔包米飯者。

のる〔動下四〕(罵) 罵也。惡言也。同ののじ

る。

のる〔動下四〕(伸) のびる之略言。

のれん〔名〕(門帷) のうれん之略言。(布

簾。暖簾)

のろ〔名〕(麀) 鹿類而形小者。

のろい〔形動〕(鈍) のろし之音便。

のろけ〔名〕 謂誇説自己情事。

のろし〔名〕(烽火) 烽火也。一もり〔名〕

(烽火) 守烽火之人。

のろし〔形動〕(遲鈍) ①遲鈍也。不佞也。

謂行事不敏捷。②易溺於色也。一さ

〔形〕一さ〔形〕一く〔副〕

のろひび〔活名〕(詛) 咒詛也。

のろふ〔動下四〕(詛) 爲呪詛也。一曰と

こふ。

のろま〔名〕(遲鈍) 性遲鈍者也。

のろまじんきやう〔名〕(野呂松人形) あ

やつり人形之一種也。野呂松勘兵衛者創

之。舞青黒醜怪之木偶。演奏癡呆可笑之事。

又すし之一種。

のりもの〔名〕(乗物) ①凡人

所乘而行者之總名。②後世。

多稱於肩輿。

のりもの〔名〕(賭物) 博奕之

賭物也。一名かけもの。

のりものかこ〔名〕(乗物駕籠)

同のりもの。(乗物)

のりものせった〔名〕(乗物雪駄) せった之

表用綴子。裏著革者。寛文以後。諸侯夫人

用之。享保以後民間亦用之。

のりゆみ〔名〕(賭弓) 古。正月十三日所舉

行之公事也。天子臨御於弓場殿。覽左右

近衛府兵衛府舍人之射。

のる〔動下四〕(乘) ①乘也。一曰のぼる。

②記載也。③乘機。乘勢。曰一。④心專

氣盛曰一。⑤參加於事曰一。⑥爲所欺

曰一。同たばからる。

のる〔動下四〕(似) なる之古言。

のる〔動下四〕(告) 告也。諭海也。(宣)

のわき〔活名〕(野分) 秋冬間之烈風也。

のわざなつ〔動下四〕(野分起) 謂のわき

吹起。

のゑんどう〔名〕(野豌豆) ①原野自生之

草。秋生。歷冬至春。葉互生。②はまふん

どう(翹搖)之一名。

のさり〔活名〕(乘切) 謂長程連日乘車馬

而行。

のさる〔動下四〕(乘切) ①同のりさる。

謂全性乘車馬而行。②謂自進而任事。

のさる〔動下四〕(則) 謂爲準而遵之。

のさる〔動下四〕(乘取) のりとする之音便。

のびき〔活名〕(延引) のびき之音便。

避退之義。「ならぬ」不能避退也。

のべら〔名〕 煮豆腐蘿蔔胡蘿蔔。加葛粉

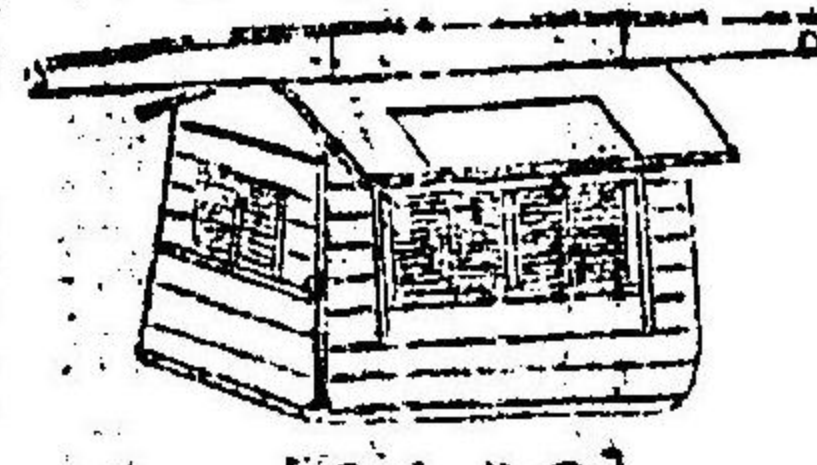
而爲羹者。一名ぬべい。

のんき〔名〕 のびき之音便。謂悠悠然不役

意於物。

のんと〔名〕 謂無耻之顔色。鐵面皮。厚顔也。

のんし〔名〕 本なもし之義。今越後人語末



[のりもの]

多用之。無意義。

〔のんだくれ〕〔活名〕 與のんたらう同。

〔のんたらう〕〔名〕(呑太郎) 醉漢也。罵

嗜酒者之語。與のんだくれ同。

のんご〔名〕(咽) 咽喉也。與のむど。のど

同。

〔のんびり〕〔形名〕 長貌。―と〔副〕

はばは

は〔子音〕 以あ爲母韻。使觸氣息於上下唇之間而發之音也。

はばは之〔濁音〕 使顫動氣息於上下唇之間而發之音也。

はばは之〔半濁音〕 氣息迫於上下唇之間。彈

而發之音也。

は〔名〕(齒) 齒也。 器具之爲齒狀而

並列者。皆呼爲。如鋸齒櫛齒。 車輪之緣邊曰。 履齒也。

は〔名〕(刃) 刀劍所觸而傷物之稱。

は〔名〕(葉) 草木之葉也。

は〔名〕(羽) 鳥羽也。一名はね。 翼亦呼爲。 飛蟲之翅也。 ばぶり之略言。

奮翼之義也。轉爲威勢權勢之義而用。 矢所挿之羽。

は〔名〕(鬘) 鬘也。古公卿加冠側者。用鳥羽製之。形如扇。

は〔名〕(端) 謂物之端。叩其兩端之端也。 同はた。はし。山の。 同はした。は

んげ。不全也。奇零也。

は〔名〕(派) 流派也。謂學術技藝宗教等之分派。

は〔助〕 區別一事物於他而言之助辭。例

如人歸。花咲く。是れ迄なし。

其用略與が同。

は〔添〕(把) 舉數所繩束之物之語。

は〔名〕(羽) 數鳥之語。

ば〔名〕(場) 場也。席也。位也。

ば〔助〕 猶則也。擊て―響く。擊則響也。

ばあひひ〔場合〕 謂遭遇於事之時。猶時會時機也。

はあり〔名〕(羽蟻) 蟲名也。形似蟻。色淡

黒。有四翅。生於朽木。一名白蟻。

はい〔名〕(拜) 拜也。低頭敬禮之謂。又同

かがむ。合掌禮拜也。―す〔動〕

はい〔名〕(盃) 酒盃也。杯同。一名さかづき。

はい〔名〕(鮠) 魚名也。ばえ之方言。

はい〔名〕(肺) 肺也。掌呼吸之機。在胸膈

内。左右各一。

はい〔名〕(牌) 牌也。一名ふだ。

はい〔名〕(配) 配也。くばる。わくる。配賦也。

はい〔名〕(背) 背也。一名うしろ。又せ。

はい〔添〕(杯) 數器中所盛之飲食物之語。

はい〔感〕 應辭也。猶唯。比あい稍有敬意。

意。 驅馬之聲也。

ばい〔名〕(貝) 螺類産於海者也。其肉可食。

(黄蝶。小甲香)

ばい〔名〕(倍) 重累同數之謂。同ばいま

し。三。百。

ばい〔名〕(枚) 古戰陣。夜襲禁聲時。所用

之物。枚也。

ばい〔名〕(馬醫) 馬醫也。醫治馬疾者。

はい〔名〕(俳優) 演奏能狂言歌舞伎

等之人。一名やくしや。役者。又わざなき。

ばい〔名〕(梅雨) 梅子熟時所降之霖雨。

梅雨也。一名つゆ。さみだれ。

はいえつ〔名〕(拜謁) 拜謁也。―す〔動〕

はいか〔名〕(配下) 所部也。部下也。與て

した。くみした同。

はいが〔名〕(拜賀) 拜賀也。―す〔動〕

はいかい〔名〕(俳諧) 和歌之一體也。非

正格。 俳諧後世。名截取連歌之起三

句爲一首者爲。始於松尾芭蕉。今仍盛

行。一名はく。發句)

ばいかい〔名〕(媒介) 媒妁也。與なかう

ど。なかつち同義。―す〔動〕

(はい)がく[名] (廢學) 廢學也。

(はい)がふり[名] (配合) 與とりあはず同。集合諸物而適其宜也。色の―謂集各種色裁其宜。以成觀美。

はいから[名] 英語 High-collar 高襟之義也。謂淨慕洋俗。輕佻無實者。

(はい)かん[名] (肺肝) 肺及肝也。轉為誠衷之義而用。

(はい)かん[名] (拜顔) 面晤之敬語。拜眉。面謁皆同。

(はい)き[名] (廢棄) 廢棄也。

(はい)きやく[名] (賣却) 賣也。與うりはらふ同。

(ばい)きん[名] (黴菌) 菌之微小如黴者。

(はい)ぐら[名] (配偶) 二者相配。曰。●夫婦也。

(ばい)ぐん[名] (敗軍) 敗軍也。同まけいぐさ。

(ばい)くわ[名] (梅花) ●梅花也。●煉香之一種。

(はい)くわい[名] (徘徊) 徘徊也。同そぞろあるき。―す[動]

(はい)くわん[名] (稗官) 稗官。小説。謂說部書。

(はい)けい[名] (拜啓) 拜啓也。尺牘起頭之用語。

(はい)びふ[名] (廢業) 廢業也。

(はい)けん[名] (拜見) 拜見也。敬語。

(ばい)こま[名] (貝獨樂) 獨樂。以貝製者。小兒玩具也。一名ばいこく。ばいけた。陀螺。

(はい)ざい[名] (配劑) 謂調合藥劑。

(はい)し[名] (廢止) 廢止也。

(はい)し[名] (背子) 古。婦女禮服也。一名からぎぬ。

(はい)し[名] (神史) 神官。野乘也。

(はい)じ[名] (廢寺) 廢寺也。

(ばい)し[名] (倍蓰) 倍蓰也。

(はい)しつ[名] (癩疾) 謂以疾病負傷等為不具之身。

(はい)しや[名] (齒醫者) 醫專治齒疾者。牙

醫也。

(はい)じや[名] (拜謝) 拜謝也。―す[動]

(はい)じやく[名] (拜借) 拜借也。敬語。―す[動]

(ばい)じやく[名] (媒妁) 同媒介。一名なかうど。又なかだち。―す[動]

(はい)じゆ[名] (拜受) 拜受也。敬語。―す[動]

(ばい)じゆら[名] (陪從) 陪從也。―す[動]

(はい)じゆつ[名] (輩出) 輩出也。謂相比而出。「人才」謂人才相比而多出。

(はい)じよ[名] (配所) 遷謫之地也。

(はい)じよう[名] (拜承) 拜承也。敬語。―す[動]

(ばい)じより[名] (陪乘) 陪乘也。―す[動]

(ばい)じよく[名] (陪食) 陪食也。伴食也。

(ばい)じよく[名] (賣色) 鬻淫也。

(はい)じん[名] (癩人) 癩疾者也。不具者也。

(ばい)しん[名] (陪臣) 謂諸侯之臣。一名

またもの。

(ばい)しんくわん[名] (陪審官) 今制。判事官數人理一獄。主者曰主任判事。其餘曰。

(はい)す[動] (變) (配) ●相當也。相應也。●同くばる。配賦也。●同めあはず。配而為夫妻也。

(はい)す[動] (變) (廢) 同やむ。廢止也。廢棄也。

(はい)す[動] (變) (拜) ●拜禮也。●任將軍曰。

(ばい)す[動] (變) (倍) 倍增也。

(ばい)す[動] (變) (陪) 陪從也。

(はい)すら[名] (拜趨) 拜趨也。

(はい)ずみ[名] (掃墨) ばさずみ之音便。胡麻油。菜種油之煙煤也。以和膠製墨。

(ばい)せい[名] (陪星) 星之一種。回轉遊星之周圍。又與此共周太陽。一名衛星。

(はい)せき[名] (敗績) 敗績也。

(はい)せき[名] (排斥) 排斥也。

(はいせき) [名] (陪席) 陪席也。

(はいせつ) [名] (排泄) 謂排出諸液於身體外。一す(動)

(はいせん) [名] (盃洗) 盃席獻酬洗盃之器。一名さかづきあらひ。

(はいせん) [名] (配膳) 謂配賦食膳於衆客。一す(動)

(はいせん) [名] (陪膳) 奉食於天子時。給任於側之人也。

(はいせん) [名] (沛然) 沛然也。盛兒。

(はいそ) [名] (敗訴) 告倒也。

(はいそり) [於] (敗走) 敗走也。一す(動)

(はいた) [名] つちきみ(辻君)之方言。密鸞淫之女也。一名ふたか。やほち。

(はいたい) [名] (胚胎) 胚胎也。懷妊也。轉爲起始兆朕之義。

はいたい [名] (廢帝) 廢帝也。

(はいたう) [名] (配當) 分配也。

(はいたう) [名] (佩刀) 腰間所佩之刀也。謂佩刀於腰。

(はいたう) [名] (廢刀) 謂止士人佩刀之習。

はいたか [名] (鷄) はしだか之音便。鷹類也。

(はいたつ) [名] (配達) 謂致信書貨物等於各人。又爲配達之人也。

はいたて [活名] (膝甲) はきたて(脛楯)之音便。鎧之下體。被腰脚者。

(はいたら) えふ(貝多羅葉) 印度所產多羅樹之葉也。古印度人以此代紙。針刻經文。

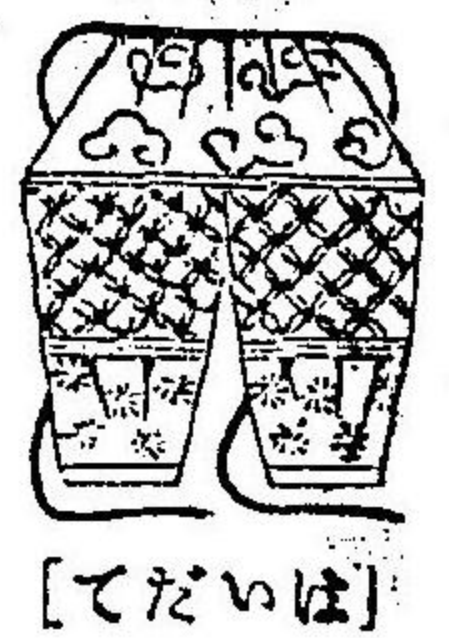
(はいち) [名] (配置) 配置也。

(はいちやう) [名] (拜聽) 拜聽也。敬語。

はいちやう [名] (蠅帳) はへちやう之轉訛。小厨子藏食物者。以防蠅。

(はいちよ) [名] (賣女) 侍齋席佐歡。及齋淫之女也。一名遊女。又賣人。

(はいつく) [名] (貝獨樂) 以貝所製之獨樂。小兒玩具也。一名ばいこま。ばいげた。



[てだいは]

(はいてい) [名] (拜呈) 拜呈也。敬贈之意。

(はいてう) [名] (廢朝) 謂天子有故不臨朝。同廢朝。

(はいてん) [名] (廢典) 既廢之典禮也。

(はいてん) [名] (拜殿) 神祠前殿也。行拜禮之處。

はいと [名] (隼人) 上古薩摩州大隅州人。每年交遞來京。守衛宮門。爲行幸先驅。謂之。はやびと。はやと。皆同。

(はいとく) [名] (拜讀) 拜讀也。

(はいとく) [名] (賣得) 鬻物所得之贏利也。

(はいとく) [名] (蝨毒) 瘡之一種也。於瘡類中最可恐。又最易感染。下疳。便毒等。其症不一。一名たうがさ。かさ。さうとく。

(はいとり) [名] (蠅虎) はへとり之轉訛。蜘蛛之一種也。

(はいにん) [名] (賣人) 與賣女同義。

商賣人之略言。謂商賣。

(ばいばい) [名] (賣買) 同うりかひ。賣買也。一す(動)

(はいばん) [名] (杯盤) 杯盤也。酒醢之具。

(はいびやう) [名] (肺病) 肺患也。一名らうしやう。

(はいぶつ) [名] (廢物) すたれもの。廢物也。無用物也。

(はいぶん) [名] (配分) 與分配同。一す(動)

(はいぶる) [名] 英語 Bible。耶穌教經典也。有舊約全書新約全書。其徒譯曰聖書。又曰聖典聖經。

(はいぼく) [名] (敗北) 敗北也。同敗走敗績。一す(動)

(はいぼく) [名] (賣卜) 賣卜也。

(はいま) [名] (早馬) はいま之轉訛。急使所騎之驛馬也。一名はやうま。

(はいみやう) [名] (俳名) 俳諧者流之雅號。

(はいむ) [名] (廢務) 謂國家有喪。天子不臨朝。有司不行政務。

(はいめい) [名] (拜命) 謂受任官之命。

(はいめん) [名] (拜面) 同拜顔。

(はいぬん) [名] (背面) 背也。うしろむき。せなむき。皆同。

(はいも) [名] (貝母) 草名也。春初開花。一名ははくり。あみがさゆり。

(はいやう) [名] (培養) 謂培養草木。す(動)

(はいやく) [名] (賣藥) 藥舖所調劑而賣之藥也。

(はいちう) [名] (肺勞) 肺患之一種。心氣鬱塞者。

(はいりつ) [名] (排律) 排律也。詩之一體。

(はいりやう) [名] (拜領) 恩賜也。す(動)

(はいりよ) [名] (配慮) 勞心也。痛心也。こころづかひ。しんばい。同義。

(はいる) [名] (配流) 處流刑也。

(はいる) [動] (遣入) はひる之轉訛。入也。

(はいれ) [活名] (齒入) 謂換展齒新之。又謂以換展齒爲業之人。

(はいれい) [名] (拜禮) 拜禮也。

(はいれつ) [名] (排列) 排列也。同ならへる。

(はら) [名] (方) 方位也。かたむき。同義。四方也。一百里。謂四方各百里。手

段也。方法也。同しかた。

(はら) [名] (袍) 上古禮服之一種。

(はら) [名] (砲) 礮也。一名おほづつ。

(はら) [名] (胞) 胎兒之胞也。一名えな。

小粒子也。

(はら) [名] (枹) 擊鼓之槌也。

(はら) [名] (苞) 謂菓包物。一名つと。又贈遺也。苞苴也。

(はら) [名] (寶) 寶也。珍貨也。同たから。

(はら) [名] (坊) 巷也。同まち。とうぐうばう(東宮坊)之略言。東宮官屬也。

東宮也。僧之住居也。引伸稱僧爲。同ぼうず。小兒也。

(はら) [名] (帽) 帽子也。

(はら) [名] (望) 陰曆謂月之十五日。一名

ばれもの。亂暴人。

(はら) [名] (放下師) 與放下僧同。

(はら) [名] (胞衣) 胎兒之胞也。一名えな。

(はら) [名] (芳翰) 人之尺牘之敬稱。

(はら) [名] (坊間) 同まちなか。しちゆう。坊間也。

(はら) [名] (帚) ははき之音便。掃塵埃之具也。一むさ(帚草) 草名也。高四五尺。枝細而長。夏時開小白花。刈取製帚。一名にはくさ。まきくさ。ははきぐさ。ざや(名) (帚鞘) 刀鞘之尾。飾以毛皮。形似草帚。故名。一ぼし(名) (帚星) 彗星也。

(はら) [名] (方響) 樂器也。響類。

(はら) [名] (方桁) 建築家之語。謂構屋。自棟兩端而垂至簷之四隅者。對破風造之稱。

(はら) [名] (忘却) 忘却也。同わする。

もち。又もちづき。

(ほうあん) [名] (方案) 方略也。同もくろみ。

(ほういん) [名] (暴飲) 謂飲酒過量。

(ほうう) [名] (暴雨) 暴雨也。大雨也。

(ほうねく) [名] (茅屋) 茅屋也。一名くさや。あげらや。自宅之謙稱。

(ほうねん) [名] (報恩) 報恩也。一から(名) (報恩講) 一向宗之佛事也。自陰曆十一月二十二日至二十八日。讀經談法。以謝開祖親鸞上人之恩。

(ほうが) [名] (萌芽) 萌芽也。

(ほうがい) [名] (妨害) さまたげ。じやま。妨害也。

(ほうかう) [名] (方向) 所向之方也。同むき。目的也。同めあて。

(ほうから) [名] (暴行) 暴行也。

(ほうかく) [名] (方角) 四方四角之義。方位也。手段也。

(ほうかく) [名] (暴客) 暴客也。一名あ

(はうきやく) [名] (暴虐) 暴虐也。
(はうきよ) [名] (暴舉) 暴舉也。 土寇也。民亂也。

(はうきよ) [名] (防禦) 防禦也。
(はうくわ) [名] (方靴) 革靴之首短而爲方形者

(はうくわ) [名] (放火) 放火也。同つけび。

(はうぐわい) [名] (方外) 古。僧醫畫工等之稱。 事之逸常規者。

(はうくわ) [名] (彷徨) 彷徨也。同さまよふ。 一す(動)

(はうくわ) [名] (膀胱) 腹中畜尿水之囊也。一名小便ぶくろ。又ゆげりぶくろ。

(はうぐわん) [名] (判官) まつりごとびと。 檢非違使之尉也。 今稱聽訟之官曰。

(はうぐわん) [名] (砲丸) 礮丸也。
(はうぐわん) [名] (坊官) 官名也。 春

宮坊之官屬。 門跡家之家司亦稱。 僭稱也。

(はうくん) [名] (亡君) 先君也。
(はうくん) [名] (暴君) 暴君也。

(はうくん) [名] (傍訓) 謂漢字傍施國字注音義。 一名ふりがな。

(はうけい) [名] (方形) 方形也。
(はうげき) [名] (砲擊) 礮擊也。

(はうげしやく) [名] (方解石) 礦物之名。 石灰質之石也。 堅而透明。 碎片皆爲斜方六面形。 一名かんすいせき。

(はうげん) [名] (方言) 方言也。 一名なまり。

(はうげん) [名] (放言) 放言也。 一す(動)

(はうげん) [名] (妄言) 妄言也。 一す(動)

(はうげん) [名] (暴言) 暴言也。 一す(動)

死。 今則爲種痘。 以豫防之。 一名もがさ。

(はうざり) [名] (寶藏) 藏寶貨之倉庫也。
(はうざん) [名] (寶算) 謂天子御齡。 聖壽也。

(はうざん) [名] (放散) 謂熱光等發散。
(はうし) [名] (拍子) 機會也。 時機也。 一名ひやうし。 奏神樂時。 取節成調者也。

(はうし) [名] (芳志) 芳志也。 厚意也。
(はうし) [名] (方士) 謂修仙術人。 方士也。

◎(同義) まはうつかひ(魔使)

(はうじ) [名] (勝示) 木牌。 明疆界者。 一むひ(名) (勝示杖) 同上。

(はうじ) [名] (帽子) 帽也。 一ばな(名) (帽子花) つゆくさ之一名。

(はうじ) [名] (庖仕) 厨奴也。 一名水火夫。

(はうじ) [名] (房事) 房事也。 一名れやごと。 又まくばひ。

鼠耳草也。

(はうご) [名] (保護) 保護也。 同ほご。
(はうご) [名] (報告) 告知也。 一す(動)

(はうご) [名] (邦國) 邦國也。 同くに。
(はうご) [名] (亡國) 已亡之國也。 又將亡之國也。

(はうご) [名] (報國) 謂報國恩。
(はうご) [名] (母子草) ははごさ之音便。

(はうご) [名] (暴虎馮河) 暴虎馮河也。

(はうご) [名] (方今) 方今也。 現今。 同ただいま。

(はうご) [名] (亡魂) 死者之靈也。
(はうご) [名] (方劑) 依方所調合之藥也。

(はうご) [名] (亡妻) 亡妻也。
(はうご) [名] (痘瘡) 痘瘡也。 傳染性之瘡。 其大如豆。 發顔面。 施及全身。 往往至

(はうじゆつ) [名] (報酬) 謂報功勞所與之物。

◎ (同義) へんれい (返禮)。

ばうじゆずな [名] (房州砂) 安房州平群郡所出之砂也。用於製牙粉。及磨粉。

(はうじやう) [名] (報謝) 謂贈物酬勞。同はうじゆ。

◎ 謂僧讀經之報。同ふせ。

(ばうじやう) [名] (暴瀉) 暴瀉也。謂下痢之甚。

(はうじやう) [名] (褒賞) 謂褒美功績。又謂褒賞所與之物。

(はうじやう) [名] (芳情) 芳情也。懇情也。

(はうじやう) [名] (褒狀) 賞帖也。記褒詞之單。一名賞狀。

(はうじやう) [名] (寶生流) 猿樂能之一派。

(はうじやう) [名] (放生會) 陰曆八月十五日八幡宮神事。例放生魚。

(ばうじやくふじん) [句] (傍若無人) 傍言。

言。

(はうしん) [名] (放心) 放心也。失心也。◎ 安慮也。同あんしん。

(はうしん) [名] (方針) 所嚮往之方也。

(はうじん) [名] (邪人) 同くにびと。謂與己同國之人。

(ばうじん) [名] (暴人) 暴人也。一名あばれもの。

はうず [動] (報) 同むくゆ。爲報酬也。◎ 知らしむ。つぐ。告知也。

はうず [動] (焙) 焙也。謂加熱而去濕。茶を焙茶也。

(ばうず) [名] (坊主) 一坊之主僧。◎ 僧也。同ほうし。◎ 剃髮者也。◎ 武門執殿中雜役者之稱。其人皆剃髮。故有此稱。

◎ 圓顛也。◎ 不毛曰。猶赤。一むぎ

(名) (坊主) 麥無芒者。火燒麥也。

ばうず [動] (忘) 忘也。同わする。

ばうず [形] (坊主臭) 謂似僧樣。◎ 謂懶惰無檢束。一ざ [形名]

ばうし

古語 俚語方言 (字音)

ばうそ

一四八七

若無人也。謂私意橫縱不顧人之利害。

(はうじゆ) [名] (寶珠) 寶珠也。一がし

ら [名] (寶珠頭) 佛寺飾欄干柱頭者。一名ぎげうしゆ (擬寶珠)

(はうじゆ) [名] (保守) 政論家之語。進取之反。同ほしゆ。

(ばうじゆ) [名] (芒種) 芒種。二十四氣之一。

(はうじゆ) [名] (砲術) 轟礮之術也。

(はうじゆ) [名] (苞苴) 與つと同。謂以菓包物。◎ 賄賂也。一名いんもつ。

◎ (同義) あらまき。

(はうじよく) [名] (飽食) 飽食也。一す

(動) (ばうじよく) [名] (暴食) 同おほぐひ。暴食也。大食也。一す [動]

◎ (同義) あらぐい (荒食)。

(ばうじよく) [名] (望蜀) 出于得隴望蜀之語。謂不知足。

はうじる [動] (動さ上) (焙) ばうず之今

一さ [形] 一く [副]

(はうする) [名] (紡錘) 紡錘也。一名つむ。紡絲之具也。

(はうする) [名] (方錐) 方錐也。一名よつめぎり。

(はうすん) [名] (方寸) 一寸四方也。◎ 胸中也。衷心也。一の中謂心也。

(はうせい) [名] (方正) 方正也。

(ばうせい) [名] (暴政) 暴政也。背政也。

(ばうせう) [名] (世消) 礦物之名也。一名苦鹽。用爲藥劑。

(ばうせき) [名] (紡績) 紡績也。

(ばうせつ) [名] (妄說) 妄說也。

(ばうぜん) [名] (寶前) 佛前也。又神前也。同ひろまへ。

(ばうぜん) [名] (防戰) 防戰也。一す [動]

(ばうぜん) [形名] (茫然) 茫然也。一と [副]

(はうそ) [名] (寶祚) 謂帝位。寶祚也。

(はうそん) [名] (保存) 保存也。同ほぞん。
(はうた) [名] (端唄) 俗謡之一種。辭句簡短者。

(はうたい) [名] (繃帶) 裹傷處之綿布也。
(はうたい) [名] (砲臺) 礮墩也。一名だ

いば。
(はうたい) [名] (傍題) 謂和歌之意涉題外者。

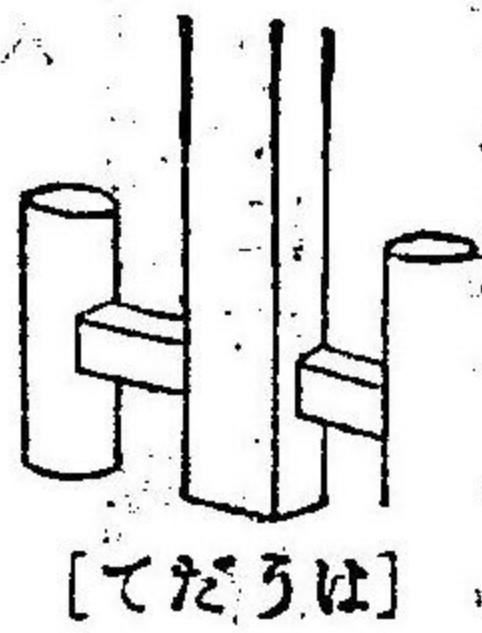
(はうたい) [名] (添) (放題) 傍題之轉。放縱不羈之義。「出」謂放言無顧忌。

(はうた) [名] (放蕩) 放蕩也。謂耽溺酒色。身無檢束。同はうらつ。

(はうた) [名] (報道) つげしらせ。告知也。一す(動)

(はうた) [名] (方立) 謂和歌之意涉題外者。根結之義。門兩傍着屏之木也。

(はうた) [名] (報答) 報答也。同こたへ。一す(動)
(はうち) [名] (報知) 報知。報告。報道。通



[てだうは]

知也。同しらせ。
(はうち) [名] (放逐) 放逐也。おひやる。おひだす。皆同。

(はうち) [名] (羽團扇) 鳥羽所製之團扇也。

(はうち) [名] (庖丁) 厨房調食之人。語出於莊子。一名庖丁師。料理人。

割烹也。◎庖刀。彎刀也。はうちやうがたな之畧稱。
(はうち) [名] (方丈) 佛寺主僧居室也。◎主僧也。

(はうち) [名] (傍聽) 傍聽也。同かた(ぎき)。一す(動)

(はうち) [名] (膨脹) 同ふくる。膨脹也。一す(動)

(はうち) [名] (暴漲) 水暴漲也。一す(動)
(はうち) [名] (寶鐸) 風鈴之大者。懸於寺塔齋端。

(はうち) [名] (羽擊) 謂鳥之奮翼成音。はうつ [動] (四) (羽擊)

(はうづ) [名] (方圓) 際限也。同かぎり。

(はうて) [名] (方駁) 謂駁於盛席而長縮。

(はうてい) [名] (方程式) 點竄。證兩者同量之術也。英語 Equation。

(はうてき) [名] (放擲) 抛擲也。同なげうつ。◎謂放棄不顧。一す(動)

(はうど) [名] (暴徒) 暴徒也。

(はうど) [名] (暴動) 暴動也。暴亂也。

(はうにん) [名] (放任) 謂一任於人而不關涉。一す(動)

(はうねん) [名] (放念) 不勞念慮之謂。同休神。

(はうばい) [名] (傍輩) 伴侶也。同ともがら。◎同門相呼之稱。◎謂同居同職者。同朋輩。

(はうばう) [名] (方方) 諸方也。同あちち。

(はうばう) [形名] (茫茫) 久遠貌。廣

大貌。◎又爲與髮蓬蓬草莽莽之蓬蓬莽莽同義而用。

(はう) [名] (亡八) 亡失仁義禮智孝悌忠信八者之義。娼家之異名。一名くつわ。(忘八)

(はう) [名] (砲發) 轟礮也。

(はう) [名] (暴發) 暴發也。謂擾亂遽起。

(はう) [名] (方法) 手段也。同しかた。

(はう) [名] (放屁) 放屁也。同おなら。

(はう) [名] (褒美) 褒稱也。又謂褒而與物。

(はう) [名] (亡父) 對人稱已死之父曰。同先人。

(はう) [名] (防風) 草名。ばうふう之略稱。

(はう) [名] (防腐) 謂防止物腐敗。劑止腐敗之藥劑也。

(ほうふらほう) [名] (防風) 防中風之義。草名也。葉似芹。高三尺許。夏秋間開小白花。根似牛蒡。可供藥用。一名はますがな。又はまにがな。

(ほうふう) [名] (暴風) 暴風也。一う [名] (暴風雨) 暴風雨也。

(ほうふく) [名] (抱腹) 捧腹之訛。

(ほうふつ) [名] (彷彿) 相似也。謂視聽不審。

(ほうぶつ) [名] (方物) 方物也。

(ほうぶる) [動] (動ら四) (葬) 葬也。はふる。ほうむる。皆同。

(ほうへい) [名] (砲兵) 士卒運用巨礮者。

(ほうへん) [名] (褒貶) 褒貶也。

(ほうべん) [名] (方便) 隨方便入之義。佛教之語。謂詭設手段。以導人於善。

(ほうほう) [名] (魴鮒) 魚名也。一名竹麥魚。

(ほうむり) [活名] (葬) 葬也。

(ほうむる) [動] (動ら四) (葬) ほうぶる之轉。

(ほうらつ) [名] (放埒) 馬逸出埒場之義也。謂流蕩酒色而忘反。同放蕩。

(ほうり) [名] (方里) 四圍各一里。

(ほうりせき) [名] (方里積) 以方里測地之稱。

(ほうりやう) [名] (方領) 謂素袍之領成方形者。古。公卿執職所受之別俸也。

(ほうりやく) [名] (方略) 方略也。謀略也。手段也。

(ほうれい) [名] (亡靈) 死者之靈也。亡魂也。

(ほうれい) [名] (芳禮綿) 綿纒也。同はふれいわた。

(ほうれん) [名] (菠薐草) 草名。高二三尺。夏初著穗狀綠花。

(ほうちく) [名] (焙烙) 土器也。用於炒物。一名いりがら。いりごら。炒鍋。炮碌。

訛葬也。

(ほうめい) [名] (芳名) 芳名也。令名也。

(ほうめいしゆ) [名] (保命酒) 備後州鞆津所産之酒也。似味醂而芳烈。

(ほうめん) [名] (放免) 放歸囚徒曰。檢非違使廳之下僚。一す [動] 檢非違使廳之下僚。一す [動]

(ほうもつ) [名] (寶物) 珍寶也。一名たからもの。

(ほうもん) [名] (砲門) 礮口也。一名すぐち。

(ほうもん) [名] (訪問) 同おとなふ。訪問也。尋訪也。

(ほうもん) [名] (坊門) 京都巷名也。

(ほうよう) [名] (放鷹) 謂放鷹捕禽鳥。同たかがり。

(ほうら) [名] (羽裏) 鳥翅之背也。

(ほうらく) [名] (放樂) 謂佛寺誦經時所奏之音樂。若猿樂能。與はふらく同。

焙爐具。一てりれん [名] (焙烙調練) 謂頭戴土器。以肆擊刺。器破者爲負。

(ほうり) [名] (方位) 方位也。同むき。

(ほうりん) [名] (望遠鏡) 望遠鏡。千里鏡。一名とほめがね。

(はえ) [名] (鮓) 魚名。産淡水。形似あゆ。一名はや。

(はえ) [名] (梵語婆廬) 風神之義也。西南諸國謂南風爲。

(はえ) [名] (髮際) 額上髮生之際。はえはえ [形動] (映映) 盛觀也。

(はえ) [名] (生) はゆ之今言。謂草木之生。

(はね) [名] (羽音) 膈膈之聲也。

(はね) [名] (羽織) 外套之一種。今民間禮服。文化中。歌妓之異名。

(はね) [名] (羽扇) はふる之轉訛。謂被衣而不纏帶子也。

(はか) [名] (墓) 墓也。今指墓上石碑爲。一名つか。

はか〔名〕(計) 種稻及刈之之時。區分其地之稱。

はか〔名〕(果) 前言之轉義。謂事業功果。

はか〔名〕(馬鹿) 梵語慕何。癡愚之義也。佛僧隱語。擬以馬鹿字。爲出於秦趙高之故事者誤。●呆癡。愚人。癡漢也。同おろか。●ばかがひ之略稱。―がひが〔名〕(馬鹿貝) 形似蛤蜊。殼有橫皺。可食。一名ばか。

はかい〔名〕(破戒) 破佛戒也。

はからひ〔名〕(八講) 法華八講會。

はがき〔活名〕(端書) ●片紙所書之備忘錄也。●郵便之一種。信片也。書文辭於政府所定之片紙。以通音信者。或擬以葉書字。

はかく〔名〕(破格) 破格也。

はがくれ〔活名〕(葉隱) 謂隱於葉間而不見。

はかびる〔動カ一〕 謂狀似癡呆。

はかし〔名〕(佩刀) 公卿所佩太刀之敬稱。

◎(同義) はかせ(佩刀)。

はかし〔名〕(博士) 與はかせ同。

はかしよ〔名〕(墓所) 葬地也。塋域也。一名むしよ。ばかば。

はかむるし〔活名〕(墓標) 墓木也。墓碣也。

はかす〔名〕(齒滓) 齒滓也。一名はくそ。

はかす〔動カ四〕(佩) はく之敬語。

はかす〔動カ四〕(化) 謂狐狸魅人使昏迷不能自主。

はがす〔動カ四〕(放) 放去也。同はなす。

はがす〔動カ四〕(剝) 剝離也。

ばかす〔動カ四〕 はかす之轉訛。魅人使昏迷不能自主。同つまむ。

はかせ〔活名〕(佩刀) 公卿佩刀之敬稱。同はかし。

はかせ〔名〕(博士) ●古官名。大學寮陰陽寮。有紀傳博士。明經博士。天文博士等。

●凡鴻儒博學之稱。●ふしはかせ之略。謂歌曲字傍施墨譜。示聲之高下節之長短者。●今時爲學位。不論其在朝與在野。究諸學蘊奧者。文部大臣與之博士號。其類

はかば〔名〕(墓場) 同はかしよ。塋域也。

◎(同義) はかばら。ばち。

はかばかし〔形動〕 ●謂事之功程進捗。●分明確實之義。同きはくし。●活潑氣銳之狀。同はきくす。―さ〔形名〕―さ〔形〕 ―く〔副〕

はかばかし〔形動〕 類於癡呆之甚也。―さ〔形名〕 ―さ〔形〕 ―く〔副〕

ばかばやし〔活名〕(馬鹿囃子) 俗樂之一種。鼓笛噪然聒於耳。東京神祠報賽常奏之。

はかはらり〔名〕(墓原) 塋域也。ばかしよ。はかば。皆同。

はかひひ〔活名〕(羽交) 左右翅相交之處。―むめ〔活名〕(羽交締) 謂合兩翼而緊縮。

はがひひ〔名〕(齒貝) 貝名也。一名たからがひ。(寶貝)

はかま〔名〕(袴) ●(禪) 掩腰脚之服。與今之袴不同。一名はだけかま。●後世。著於衣表。掩腰以下。今民間禮服之一。

有七。法學博士。醫學博士。理學博士。文學博士。農學博士。林學博士。藥學博士是也。又其上有大博士。

はかせ〔名〕(葉風) 搖木葉之風也。謂微風。

はかせ〔名〕(羽風) 飛禽奮翼所爲生之風。

はがた〔名〕(齒形) 齒痕也。

はかたねり〔活名〕(博多織) 綢緞之一種。筑前州博多所產者。或云。其織方傳於唐。

はがため〔活名〕(齒固) 上古。正月初三日。喫猪鹿肉。以強齒力。後世食養養濫腸於此。

はがつ〔動カ四〕(離) 剝離也。げがす。はなす。皆同。

はかどり〔活名〕(果取) 謂事之功程進捗。

はかどる〔動カ四〕(果取) 同前。

はかない〔形動〕(儂) はかなし之音便。

はかなし〔形動〕(儂) ●浮生如夢之義。●不確也。不定也。脆弱也。―さ〔形名〕

はがね〔名〕(鋼) 鋼鐵也。刀之利刃用之。

◎草之莖皮。即苞也。◎置酒瓶之器。一
 空〔名〕 往時。男子生五歲。舉穿袴之禮。
 又三歲七歲行之。一とし〔名〕(袴腰) 袴
 背所當腰之成梯形者。一ど〔名〕(袴地)
 用於製袴之帛。

はがま〔名〕(齒釜) 釜之有鏝者。
 はかまるり〔活名〕(墓參) 展墓也。
 はがみ〔活名〕(齒嚙) 切齒也。はぎしり。は
 ぎり。皆同。

はかもり〔活名〕(墓守) 守墓者也。

はがゆい〔形動〕(齒痒) はがゆし之音便。
 はがゆし〔形動〕(齒痒) 謂遲緩難堪。焦
 慮也。同もどかし。一さ〔形名〕 一さ
 〔形〕 一く〔副〕

はばかりし〔形動〕 謂似癡呆之狀。同あは
 らし。一さ〔形名〕 一さ〔形〕 一く〔副〕
 はからず〔副〕(不圖) 謂事出意料之外。偶
 然也。同ふと。

はからひか〔活名〕 處置也。

はからふか〔動〕(計) ◎計也。測也。◎

考計也。◎相與謀畫也。◎處分也。處
 置也。

はかり〔活名〕(計) ◎測也。◎際限也。目
 的也。かぎり。あてど。めあて。皆同。◎
 斗量也。

はかり〔活名〕(秤) 秤也。計物輕重之器。
 ばかり〔助〕 猶而已也。示無復有之意之助
 辭。

はかりぐさ〔名〕(秦苧) 草名。同つがりぐ
 さ。

はかりごつ〔動〕(謀) ◎為謀慮也。
 ◎欺罔也。同たげかる。

はかりごと〔名〕(謀) 謀略也。計略也。

はかりぎ〔名〕(秤座) 德川氏時代。得特准
 秤秤處。

はかりざら〔名〕(秤皿) 秤衡之一端。絲縣
 平皿以載物者。

はかりざを〔名〕(秤竿) 秤之衡也。其面刻
 量目。

はかりべり〔活名〕 斗耗。秤耗也。謂量數

耗於實數。

はかりむし〔名〕(測蟲) 尺蠖也。一名しや
 くとりむし。

はかりめ〔名〕(秤目) ◎量數也。◎秤衡
 面上所刻之量目。一名ほし。

はかる〔動〕(計) ◎稽察事物也。は
 からふ。つもる。みつもる。皆同。◎(權。稱)
 謂以權衡度輕重。◎(量)斗量也。◎(度)
 謂以尺度度長短。◎(詢)計議也。◎思
 量也。◎畫策也。計畫也。

はがる〔動〕(動) 下二(剝) 被剝取也。

はがれる〔動〕(動) 下二(嘔) 嘔吐也。

はぎ〔名〕(萩) 灌木之名也。幹細弱而簇立。
 一極三葉。秋開花。淡紫帶紅。楚楚可愛。一
 名胡枝。又天竺花。

はぎ〔名〕(榛) 木名也。はりぎ之略稱。

はぎ〔名〕(脛) 脛也。一名むかふすね。又す
 れ。

はぎ〔活名〕(接) 謂接合兩物。又接合之處

謂。

はきき〔活名〕(羽利) 勢威強盛之謂

はきしめ〔活名〕 はぎしり之轉訛。

はきしり〔活名〕(齒軋) 謂切齒成聲。同は
 がみ。

はきぞめ〔活名〕(掃初) 謂新年始掃除居
 室。

はきだめ〔活名〕(掃溜) 集積塵芥之處。一
 名こみだめ。

はきと〔副〕 分明之謂。同はつきりと。
 ◎(同義) あきらか(明)。さたかに(定)。

はきぬ〔名〕(被衣) 馬服也。

はきのと〔名〕(萩戸) 清涼殿之東西有小
 萩垣處之名。

はきのもち〔名〕(萩餅) 炊練及糯而混之。
 打爲小團。著餡若豆粉者。省曰おはぎ。但
 秋名之曰はぎのもち。春名之曰はたもち。
 (牡丹餅)

はきはき〔副〕 狀氣銳快活之語。一と

(はきふみ) [名] (波及) 波及也。

はきもの [名] (履) 凡所穿於足履屐靴等之總稱。

(はきやう) [名] (破鏡) 破鏡也。謂夫婦離縁。

(はきやう) [名] (波行) 五十音圖中之第六行。はひふへほ。五音也。

はきやき [活名] (萩焼) 長門州松本所産之陶器也。毛利輝元召朝鮮陶工初造之。

(はきやく) [名] (破却) 破却也。

はきり [活名] (齒切) 切齒也。同はぎしり。

(はく) [名] (伯) ①五爵之第三位。次公侯。

②古。神祇官之長官。

(はく) [名] (帛) 綢緞也。一名きぬ。

(はく) [名] (箔) 鉛也。謂金屬展爲薄片者。

はく [動か四] (吐) ①吐唾也。②嘔吐也。③出言也。大言を「出大言也。

はく [動か四] (佩) 佩于腰也。

はく [動か四] (掃) 掃除也。

はく [動か下二] (化) 謂狐狸變形魅人。今言はく。

はく [動か下二] (通) ①善疏通之謂。②謂貨物善銷售。

はく [動か四] (剝) ①剝離也。はがす。へぐ。へがす。むく。はぐる。皆同。②沒收也。剝奪也。

はく [動か四] (剝) 剝離也。はがす。へぐ。へがす。むく。はぐる。皆同。②沒收也。剝奪也。

はく [動か四] (接) 接合也。綴合也。

はく [動か下二] (剝) ①脫離。剝落也。同はがる。②髮脫而頭禿也。③色褪也。

(はく) [名] (獵) 獸名也。俗傳。象鼻。犀目。牛尾。虎脚。體似熊。食夢之獸。(貊。貊)

はく [動か下二] (化) はく之今言。

(はく) [名] (馬具) 乘馬之具。謂鞍轡轡等。

(はく) [名] (博奕) 博奕也。

(はく) [名] (博奕) 博奕也。同はくち。

はく [動ま四] (孕) ①謂鳥翼覆育雛。

②養育也。

(はく) [名] (伯兄) 伯兄也。

(はく) [名] (白月) 謂月之前半十五日也。

(はく) [名] (駁擊) 駁擊也。謂論駁人之議論。一す [動]

(はく) [名] (莫逆) 莫逆於心之義。親友也。

はく [名] (莠) 草名。害稻之草也。

はく [名] (箔鮫) 鮫之一種。一名つじ。

(はく) [名] (博士) 學位之名。はかせ。

(はく) [名] (白紙) ①白紙也。同しらかみ。②唐紙之一種也。白而質脆。

(はく) [名] (白字) 謂印章白文者。對朱字之稱。

(はく) [名] (博識) 博識也。

(はく) [名] (白日) 白日也。日中也。同ひるなか。

一す [動]

(はく) [名] (薄荷) 藥草名也。春萌芽。葉對生。圓而有鋸齒。面濃綠而背紫。秋開紫白花。

(はく) [名] (博雅) 博雅也。

(はく) [名] (幕下) ①將軍之尊稱。②謂大將麾下之士。

(はく) [名] (博學) 博學也。

(はく) [名] (薄儀) 薄儀也。謂謝儀之輕少。謙語也。

はく [名] (齒莖) 謂齒根肉。齧也。

(はく) [名] (駁議) 駁議也。一す [動]

(はく) [名] (薄給) 謂少額之俸錢。

(はく) [名] (白魚) ①魚似鯉者。一名みこひ。②麩條魚也。身扁而透明。一名しらうた。

(はく) [名] (白金) 金屬之名。洋名ぶらちな。

(はく) [名] (白銀) 銀也。一名しろかね。

(はくしや) [名] (白砂) 白砂也。
(はくじや) [名] (白蛇) 白蛇也。(白花蛇)
(はくじやう) [名] (薄情) 薄情也。刻薄也。

(はくじやう) [名] (白狀) ①口供也。謂罪人自白之記錄。同くちがき。②首伏也。謂自白罪狀。

(はくしゆ) [名] (拍手) 拍手也。以表賞讚之意。

◎同義) てうち(手拍)

(はくしゆ) [名] (薄酒) 薄酒也。

(はくしゆ) [名] (麥酒) 卑酒也。一名びい。

(はくしよ) [名] (薄暑) 薄暑也。

(はくじよ) [名] (曝書) 曝書也。

(はくじん) [名] (白刃) 白刃也。しらは。ぬきみ。皆同。

(はくじん) [名] (白人) ①しろうとの音讀。元祿時代通用語。②白色人種也。謂歐美人。

(はくしん) [名] (麥蕈) 麥蕈。麥菌。春夏間。

生松下之菌。可食。一名しろうろ。(松露)

(はくす) [動] (變) (駁) 駁擊也。謂批難人之立論。

(はくす) [動] (變) (縛) 束縛也。捕縛也。しげる。いましむ。皆同。

(はくせい) [名] (剝製) 剝鳥獸之皮去其肉。填以藥與綿花而縫合。形體姿勢。與生時無異者。

(はくせき) [名] (白皙) 謂皮膚之白。一人種。歐美白種人也。

(はくせつ) [名] (白雪) 白雪也。同しらゆき。

(はくせつ) [名] (白雪糕) 點心之一種。糕加蓮實製之。其色白。故名。

(はくせん) [名] (漠然) 漠然也。

◎同義) ぼつと。

(はくせん) [名] (驀然) 驀然也。驀地也。同まっしくら。

(はくそ) [名] (齒屎) 齒滓也。齒涎也。

(はくちゆう) [名] (伯仲) ①兄弟也。②謂物難優劣。

◎同義) おつかつ。

(はくてう) [名] (白鳥) ①鳥名。鵠也。形大於雁。全身白而有光澤。頸長。一名くくひ。こふ。こひ。しろとり。②酒瓶以陶製者也。頸細而長。形似白鳥。故名。

(はくと) [名] (博徒) 博徒也。謂爲博奕人一名ばくちゆう。

(はくと) [名] (麥奴) 麥之黑穗也。一名くろんげう。

(はくと) [名] (白銅) 金屬之名。似銅而白色。

(はくと) [名] (白頭翁) ①白髮老人也。②鳥名。似鳩而小。頂白。群飛而鳴。一名むくどり。

(はくない) [名] (白内障) 眼病。こひ之二種。瞳子爲灰色或青色。不得透明者。

(はくねう) [名] (麥繞) 从麥字之偏日。

(はくだい) [名] (莫大) 莫大焉之義。謂大。

(はくたい) [名] (白帶下) 女病名。一名しらち。

(はくたく) [名] (餽飪) 食物之名。

(はくたく) [名] (白澤) 靈獸之名也。聖人在位。此獸出而言。

(はくたく) [名] (剝啄) 剝啄也。叩戶之聲。

(はくだつ) [名] (剝奪) 剝奪也。

(はくち) [名] (白癡) 白癡也。一名からばか。

(はくち) [活名] (博打) ばくちゆう之略。博徒也。一名ばくちゆうち。②博奕也。一名ばくやう。かりうち。ーうち[活名] 博徒也。謂爲博奕人。

(はくち) [名] (白晝) 白晝也。白日也。

◎同義) まひる。はつちゆう。

(はくち) [名] (爆竹) ①さぎちやう(左義長)之火。②清俗所行之爆竹。

(はくち) [名] (白張) しらばり之字音。著白綿衣之役丁也。或擬以白丁字。

如麴麵等字。

はくまのなはつ(名)(縛繩) 不動尊所手之繩也。縛魔繩之義。

はくま(名)(白馬) 白馬也。しろうま。あをうま。皆同。

はくま(名)(白梅) 白梅花也。

はくま(名)(白髮) 白髮也。一名しろが。

はくま(名)(麥飯) 麥飯也。同むぎめし。

はくま(名)(薄氷) 薄氷也。同うすこほり。

はくま(名)(幕賓) 幕賓也。

はくま(名)(伯父) 伯父也。

はくま(名)(幕府) 將軍所居也。●武將執國權所建之政府也。一名幕府。

はくま(名)(瀑布) 瀑布也。一名たき。

はくま(名)(曝布) 曝布也。一名さらし。

はくま(名)(博物學) 理學中之一科也。動物植物礦物學之總名。英語之

tural History之譯。

はくま(名)(博物館) 當時陳列

動植物及古今天造人為萬般之物之館也。使庶民來而縱觀。以博見聞啓智識。

はくま(名)(白粉) 謂凡白色之粉末也。●白粉也。用於女子粧飾者。一名おしろい。

はくま(名)(白文) 謂無注釋訓點之漢文。●白字印也。

はくま(名)(博聞) 博聞也。

はくま(名)(繁蕪) 草名也。はくま之古名。

はくま(名)(伯母) 伯母也。

はくま(名)(薄暮) 薄暮也。ゆふぐれ。たそがれどき。皆同。

はくま(名)(白墨) 白墨也。粉筆也。一名しろずみ。

はくま(名)(白熊) 漢土所產牛之尾也。一名白燻。白旄。

はくま(名)(鬼督郵) 草名也。生山谷。一莖

一根。直立。葉似枇杷而無鋸齒。背無毛。秋

開白花。後成絮而飛。

はくま(名)(白米) 精米也。

はくまのせち(名)(白馬節會) 古正月七日。豐樂殿觀馬之儀也。此日又構臺

女樂奏舞。

はくま(名)(衣魚) 蠹魚也。一名しみ。

はくま(名)(薄命) 薄命也。同ふしあはせ。

はくま(名)(白面) 謂面不施紅粉。同すがほ。●少年未經世故之稱。如書

生是也。

はくま(名)(白木蓮) 辛夷之一種也。仲春開美花。似木蓮而白。有芳香。花

落後生葉。一名玉蘭。

はくま(名)(麥門冬) 草名也。細

葉。長一尺許。夏抽莖四五寸。開淡紫六瓣

花。一名やますげ。りゆうのひげ。じよう

がひげ。たつがひげ。

はくま(名)(箔屋) 鉛工也。又謂鑿鉛鋪。

はくま(名)(鑛錫) 古劍名也。

はくま(名)(博奕) 與ばくち同。

はくま(名)(舶來) 謂海外舶載而齎來。

はくま(名)(博勞) 以賣買馬爲業者也。(馬喰)

はくま(名)(動か四) 謂使迷岐途。●

謂不對所問願而言他。

はくま(名)(伯樂) 古善相馬之人。●馬醫也。

はくま(名)(博覽) 博覽多通也。一く

わい(名)(博覽會) 謂蒐集學術上及農工

商等諸般之物。使衆庶縱觀。而評其巧拙

之會。賽會也。

はくま(名)(幕吏) 徳川幕府之官吏。

はくま(名)(撥) 剝去也。

はくま(名)(齒車) 輪圍有齒之車。

はくま(名)(爆裂) 爆裂也。

はくま(名)(動ら下) 謂途失伴侶。●

謂迷岐路。同まぎる。

はくま(名)(白露) 白露也。同しらつゆ。●二十四氣之一。

はぐる(名)(齒黒) 涅齒也。婦女已嫁則涅齒。古公卿亦涅齒。同はぐるめ。

はくろく(名)(博陸) 關白異名。本於前漢霍光封博陸侯。

はくろく(名)(薄祿) 薄祿也。同薄俸。

はぐるめ(活名)(齒黒) 鐵漿也。浸鐵於酒者。用以涅齒。はぐる。おはぐる。かれ。皆同。

はくわ(名)(破瓜) 女子十六歲曰。男六十四歲亦曰。

はくわい(名)(破壞) 破壞也。同こはす。一す(動)

はくえん(名)(白猿) 白毛猿也。猿老則其毛白。

はぐんせい(名)(破軍星) 北斗第七星搖光之異名也。似劍尖。故陰陽家忌其所指之方。以爲不利於事。

はけ(名)(刷毛) 束獸毛。切其末而齊之者。用於塗漆糊等。古。男鬚之端曰。一。

はげ(活名)(禿) 塗料剝落曰。一。髮

脱之痕也。

はげ(活名)(化) 謂狐狸變形魅人。

はげいさう(名)(葉雞頭) 草名。雞頭花之類也。葉色鮮麗。其紅曰雁來紅。其黃曰雁來黃。一名かまづかのはな。かきつばな。きがらうい。

はげし(形動)(烈) 勢強也。激烈也。一さ(形名) 一さ(形) 一く(副)

はげしい(形動)(勵) はげし之音便。(烈) 一さ(形名) 一い(形) はげしき之音便。一う(副)

はげます(動)(勵) 獎勵也。激勵也。

はげむ(動)(勵) 奮勵也。勉勵也。

はげめ(名)(刷毛目) 刷子塗飾之痕也。

はげもの(名)(妖怪) 妖物。怪物。妖情。妖魔。一名へんげ。一ばなし(活名)(怪談) 怪談也。鬼話也。一やしき(活名)(化物屋敷) 常有怪之家。

はげやま(名)(禿山) 山無草木者。兀山也。童山也。

はげん(名)(派遣) 簡派也。一す(動)

はげんじよ(名)(馬見所) 觀馬臺也。

はこ(名)(箱) 箱。匣。篋。篋。一はこ(ヤ) 之略稱。

はこ(名)(羽子) 女兒玩具之名。挾羽毛於無患子之孔者。手板打而揚之以戲。一名つくばね。こぎのこ。はねこぎ。はね。

(燕子) 一いた(名)(羽子板) 打羽子之板。

はこし(名)(破故紙) 草名也。高三四尺。葉似胡麻。夏秋間抽穗著花。一名おらん

だひゆ。補骨脂。

はこし(活名)(葉越) 謂透見於葉間。一の月葉間之月也。

はこせこ(名)(函迫) 徳川時代宮女所携之夾囊。今時凡婦女外出皆懷之。

はこたへ(活名)(嚙應) 謂嚙要齒力。

はこてりちん(名)(箱提燈) 大提燈也。

はこねうつぎ(名)(箱根空木) 相摸州箱根山所生澁蕪草之一種也。夏初開花。單瓣似蕪。一名錦帶花。

はこねむぎ(名)(箱根草) 相摸州箱根山中之草也。生石上。一名いてふさう。いてふぐさ。おらんたさう。石長生。

はこのさ(名)(羽子木) 木名也。一名つくばね。

はこび(活名) 運送也。運搬也。一進抄也。同はかどり。

はこぶ(動)(運) 運送也。運搬也。一進抄也。すすむ。はかどる。皆同。

はこべ(名)(紫萼) 草名也。生路傍。葉橢圓形。春初開白花。一名はこべら。鷄腸草。

はこまくら(名)(箱枕) 底有箱之枕也。

はこや(名)(箱屋) 工專作篋篋者。又嚙篋篋也。一携三絃琴從行歌妓之奴也。

はこやなぎ(名)(筐柳) 草名也。葉圓而末

銳。春開花。其材可以製行李。一名白楊。
はこやのやま(名) 貌姑射山。●神人所居之山也。出於莊子。●仙洞(上皇之宮)之敬稱。

はころも(名) (羽衣) 羽衣也。佛家所謂天女着之云。

(ぼさ) (名) (娑婆) ●舞袖飄翻兒。●物散亂兒。●竹聲也。

はぎくら(名) (葉櫻) 花後新緑之櫻樹也。

はさま(名) (挾間) ●物與物之間也。あはひ。あひだ。皆同。●峽也。谷也。

はさまる(動) (四) (挾) 挾于兩間也。

はさみ(活名) (鋏) ●鋏也。剪刀也。鉸刀也。●蟹之巨螯也。

はさみうち(活名) (挾擊) 挾擊也。

はさみしやう(活名) (名) (挾將棋) 將棋之一種也。互縱橫運行棋子。挾敵子而捕之。先盡者爲敗。

はさみはこ(名) (挾箱) ●夾竹之遺制也。

盛衣物於筐。附以木槌。使奴擔而從。●はさみばこかぜ之略。●かぜ(名) (挾箱風) 病名也。

耳及頤下腫起。一名蝦蟇腫。

はさみむし(名) (夾蟲) 蟲名也。長一寸許。背黑。身有節。六足。尾分爲岐。以挾物。一名しりばさみ。又蠅螋。

はさむ(動) (四) (挾) ●挾持也。●以剪刀截也。

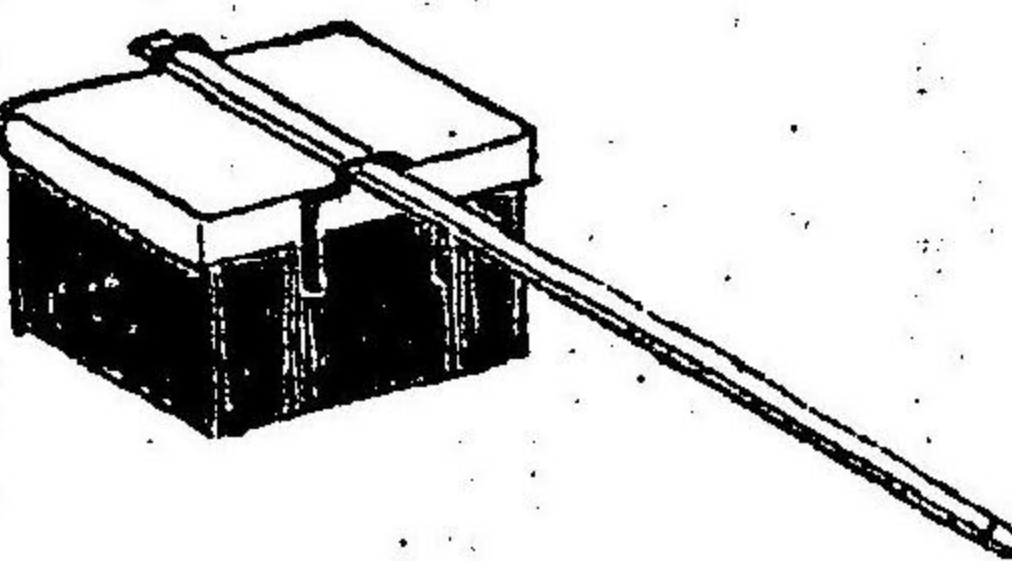
はさむ(動) (四) (挿) 挿也。

はさむらみ(名) (亂髮) 亂髮也。亂頭也。同みだれがみ。

(はさん) (名) (破産) 破産也。

(はさん) (名) (破算) 徹去數算也。

はし(名) (端) ●こぐち。はじめ。端緒也。事之起始也。●物之端也。●疊之縁也。



[こほみさば]

◎同義) たんちよ。(り。はじ。あいた。あはひ。

はし(名) (橋) 橋也。

はし(名) (階) ●階也。きざはし。きたはし。あがりだん。皆同。●梯子也。

はし(名) (嘴) 嘴也。くちばし之略。

はし(名) (箸) 箸也。匙。筋。

はし(名) (土師) 作土偶之工人。はにし之略言。

はし(形動) (愛) 愛也。いとほし。いつくし。皆同。

はし(名) (黃檀) 漆樹之一種也。葉似漆樹而粗。秋早紅葉。一名はせ。はにし。やまうるし。

はし(名) (端) はし之轉訛。はた。へり。皆同。

はし(名) (橋占) 橋上之板也。

はし(名) (橋占) 聞橋上童謠。以當占辭決疑也。安德帝降誕時。平相國夫人。聞童謠於一條戻橋。以決疑。後世遂有此一種占法。

はし(名) (世) 稻麥之世也。同のぎ。

はしか(名) (麻疹) 病名。麻疹也。一名あかがさ。又あかもがさ。

はしがかり(活名) 能舞臺俳優出場之通路。有欄干。似橋。

はしがき(活名) (端書) ●書牘之追書也。なほくがき。かへすがき。皆同。●序引題言之類。

はしかくし(活名) (階隱) 階前止輿之處。

はしかみ(活名) (椒) ●さんせう(山椒)之古名。一名いたはじかみ。●しやうが。生薑之一名。いを(名) (椒魚) 魚名也。さんせうのうを之一名。

はじき(活名) (彈) ●彈也。●有彈力之機也。●いしばじき(石彈) 古兵器之名。

はじく(動) (四) (彈) ●風而復伸之義。●反撥而不受物之義。如油不與水和。是也。

◎同義) はねとばす。

はじく(動) (下) 菓實熟而開裂也。あみわる。はせる。罅裂。皆同。

はし(名) (橋柱) 橋柱也。橋脚也。一

はしりゆつ〔名〕(派出) 分派出遣也。同派遣。

―す〔動〕

はしりゆつ〔名〕(馬術) 騎馬之術。

はしりゆみ〔名〕(黃櫨弓) 黃櫨所造之弓也。

はしりゆん〔名〕(波旬) 印度語。惡魔也。

はしりよ〔名〕(場所) 處也。位置也。坐位也。

とこる。おどこる。ばせき。皆同。

はしりよる〔動ら四〕(端打) 謂褰裾挾帶。

●省略之謂。

はしり〔名〕(柱) ●柱也。●凡形長而支

持物者皆謂爲一。●かひのはしり之略

言。―かくし〔活名〕(柱匿) 柱聯也。木

陶帛等其製不一。一名はしりかけ。―か

け〔活名〕(柱聯) 同はしりかけ。

はしり〔添〕 數之敬語。專用於帝室。二

の神「三」の皇子「三神三皇子也。

はしりかし〔活名〕 洗米之水也。一名しる

みづ。

はしりかす〔動ら四〕(走) 使走也。

はしりたて〔活名〕(柱建) 建築之儀式也。

先立柱。祝其家之安全隆福。謂之。

はしりたな〔名〕(桅棚) 船檣之橫木。

はしりどけい〔名〕(柱時計) 懸於柱壁等

之時辰儀。一名かけどけい。

はしりぬき〔活名〕(柱貫) 貫通柱頭之橫

木。櫓。欄。額。

はしり〔活名〕(走) ●走也。●厨房之決

水槽也。一名ながし。●最新之義。一の鯉

謂松魚始上釣者。―りま〔名〕(走馬) ●

奔馬也。●競騎也。同けいば。●謂事之

迅速。―がき〔活名〕(走書) 快寫也。快

揮。狂草。亂筆。はやがき。皆同。―くら

べ〔活名〕(競走) 競走也。同かけくらべ。

―こくら〔名〕(競走) 競走也。與はしり

くらべ同。慶長元祿間用語。―しゆ〔名〕

(走衆) 上古。雜役走卒。―ずみ〔名〕(走

炭) 爆炭也。一名はれずみ。―づかひり

〔活名〕(走使) 奔走辦小事者。―び〔名〕

(走火) 走火也。同はれび。―ゆ〔名〕(走

湯) 溫泉也。

はじり〔名〕 拉丁語 Unguentum bacieu-

日之擬音。吸膿膏藥之名也。和猪脂與松

脂製之。

はじる〔動ら四〕(走) ●疾行也。同わしる。

●逃走也。出奔也。同にぐる。●奔流也。

●飛散也。●運行自由。〔筆〕

運筆自在也。●運揮輕妙。刀が―揮刀

輕妙也。●與はじ同義。謂炭火爆飛。

はじろ〔名〕(端城) 與でじろ同。

はしわたし〔活名〕(橋渡) 媒介也。なかだ

ち。とりもち。くちびらき。皆同。

はしる〔活名〕(端居) 謂就下座。―す〔動〕

はす〔名〕(鱈) ●海魚名也。一名ひら。又

はそ。●近江州琵琶湖所産之魚。似鯽而

肉白。多刺。味劣。

はす〔名〕(蓮) はちす之略稱。

はす〔名〕(斜) 斜也。ななめ。すちかひ。は

すかけ。皆同。

はす〔動ら下二〕(馳) 使馳走也。同はしら

かす。

はす〔動ら下二〕(馳) 馳走也。同はしる。

はす〔名〕(筈) ●箭筈也。謂箭本受弦處。同

やはす。●謂事之當然。

はすいけ〔名〕(蓮池) 蓮池也。同れんち。

はすいも〔名〕(蓮芋) 芋之一種也。莖中有

孔。根莖共小於青芋。其味似栗子。一名

くりいも。又白芋。

はすぢ〔名〕(蓮痔) 病名也。與あなぢ同。

はすのはがさ〔名〕(蓮葉笠) 戴蓮葉爲笠

者。兒戲。

はすのはがびが〔名〕(海燕) 介名也。産

海中。一名たこのまくら。

はすのはもの〔名〕(蓮葉者) 謂輕佻浮薄

之女子。同はすはもの。

はすのひら〔名〕(蓮飯) 包硬飯。於蓮葉

者。孟蘭盆以供先鬼。

はすは〔名〕 ●謂處女之輕佻浮薄者。●

謂逆旅之婢爲一。京阪方言。

はすみ〔活名〕 ●反跳也。同はすむ。●勢

也。好機也。同よきしほ。●奮發也。

はずむ(動ま四) ①反跳也。同はれかへる。

●乗勢也。

はずめし(名)(蓮飯) ①蓮葉包飯。蒸而食者。●蒸熟蓮葉而細割之。和飯而食者。

ばするぼく(名)(馬醉木) 灌木名也。與あせみ同。

はずへ(名)(葉末) 葉末也。葉尖也。

ばす系(名)(場末) 謂都中僻巷。

はせ(名)(名) (稜爆米也。用製點心。

はせ(名)(沙魚) 魚名。沙魚也。産河海間。

形似こち而小。口大而色淡黑。一名蝦虎魚。

はせ(名)(黃櫨) はじ之轉訛。

ばせり(名)(芭蕉) 芭蕉也。一名ばせ

を。にはきぐさ。ばせをば。ふ(名)(芭蕉布) ●芭蕉之一種。産沖繩島。花鮮

紅色。一名香蕉。●取香蕉纖維而所織之布。蕉紗也。

はせらるし(名)(黃櫨) 同はじ。

はせくち(名)(爆口) 爆口也。同さくろぐ

ち。

はせたま(名)(爆丸) 謂礮子轟散爲無數小片者。一名破裂彈。

はせばな(名)(稜花) 與こめざくら同。

京阪方言。

はせひき(活名)(馳引) 疾馳且射也。又轉爲精鍊武技之義。

はせる(動さ下二)(馳) はす之今言。

はせる(動ら四)(裂) 裂開也。

ばせを(名)(芭蕉) 同ばせう。

はせん(名)(破船) 謂船遭難破損者。

ばせん(名)(馬氈) 鞍上之氈也。一名くらおほひ。又鞍褥。

はぞ(名)(蓮) はす之古言。

はぞり(活名)(端反) 謂物四邊反張。

はそん(名)(破損) 破壞也。

はた(名)(島) 圃也。陸田也。白田也。一名はたけ。

はた(名)(繪) 機織也。

はた(名)(旗) ●旗也。●紙鳶也。一名い

かのぼり。

はた(名)(鱸) ●魚鱸也。同ひれ。●魚名。

かさこ之類。

はた(名)(端) 端也。近也。邊也。へり。へた。

ほとり。はし。皆同。

はた(副)(將) また之轉也。はま相通。唯意

少急於また。猶言やはり。與漢字亦字仍

字義相近。

はた(副)(將) 前言之轉訛。與又字或字義同。

はた(數) 二十也。

はた(名)(肌) ●肌膚也。はたへ。かばへ。

皆同。●謂凡物之外面外皮。樹の樹

皮也。●肌理。膚理。木理。同きめ。

はたあし(名)(旗脚) 旒也。

はたい(名)(齒代) 賃車錢也。

はたいろ(名)(旗色) 群旗飄翻之狀也。老

於戰者。視旗幟飄翻之狀。以知氣勢強弱。

はたねび(名)(膚帶) 男子之褌也。一名

はたのおび。

はたねり(活名)(機織) ●機織布帛也。又

織女也。●はたおひむし之略言。一む

し(名)(蝨斯) 蝨斯也。一名きりくす。

一め(名)(機織女) ●蟋蟀コホリ之一名。●

織女也。紅女也。

はたか(名)(裸) ●裸也。謂露出全身。●

凡物無被覆之稱。一こほろぎコホリ(名)か

まどむし之一名。加賀州方言。一ひやく

くわん(一ひやくくわん)(名)(裸百貫) 赤

裸無衣唯有錢百貫之義。謂赤貧也。一ま

るり(活名)(裸參) 謂寒夜脫衣拜祈神祠

佛寺。一み(名)(裸身) 裸體。一むぎ

(名)(裸麥) 大麥之一種。其世易脫。一

むし(名)(裸蟲) ●凡蟲無羽毛者之稱。

●謂貧窶無衣之人。●あむし之一名。

はたがしら(名)(旗頭) 諸侯之伯主。轉爲

凡正長之義。

はたかす(名) 山椒魚ウツエ之一名。丹波州

方言。

はたかる(動ら四)(開張) ●展開也。●謂

張跨而立也。

はたき〔活名〕 拂室塵之具。拂子也。以羽紙布等製之。一名ほこりばらひ。ちりはらひ。采配。掃塵。

はたき〔活名〕〔膚着〕 襦衣也。汗褌也。一名じゆばん。〔襦袴〕

はたき〔動か四〕〔碎〕 春而碎之也。拂而去之也。③蕩盡也。身代を―謂蕩盡家産。

◎〔同義〕 たく〔敲〕。はらふ〔拂〕。

はたき〔動か下二〕〔刷〕 刮去也。同こそげおとす。④たたく之誤用。

はたき〔動か下二〕〔開張〕 展開也。

◎〔同義〕 ひらく〔開〕。

はたきも〔名〕〔旗雲〕 雲容似旗者。

はたけ〔名〕〔畠〕 圃也。與はた同。―する。れん〔名〕〔畠水練〕 圃上學泳之義。謂空論不適實用。―な〔名〕〔畠菜〕 あぶらな之一種。可食。

はたけ〔名〕〔疥〕 皮膚病之一種。痒甚。搔輒成痂。一名乾疥。

はたける〔動か下二〕 はたたく之今言。

はたご〔名〕〔旅籠〕 ①古。盛馬糧之籠。②行旅盛食物雜具之器。行李也。③今謂逆旅爲―客棧也。④謂客棧所償之費。同はたごせん。⑤謂旅館所供之食。―せん〔名〕〔旅籠錢〕 旅館宿費也。―や〔名〕〔旅籠屋〕 旅館也。逆旅也。客棧也。一名やどや

はたさむし〔形動〕〔膚寒〕 謂肌膚感冷。―さ〔形名〕 一さ〔形〕 一く〔副〕

はたさめ〔名〕〔幡鮫〕 天蓋鮫イサガ之一名。はたし〔名〕〔脱〕 裸足之義也。①脱也。②謂爲所勝。取於徒跣敗走之義。

はたしあひひ〔活名〕〔果合〕 ①相殺也。②謂兩怨相約。定時與地。以死相鬪。西俗所謂決鬪也。

はたしじやうり〔名〕〔果狀〕 挑決鬪之書也。一曰決鬪狀。

はたした〔名〕〔旗下〕 麾下也。

はたして〔副〕〔果〕 果然也。

はたじぬ〔名〕〔機纒〕 織餘之絲也。一名しり。

はたて〔名〕〔果手〕 際限也。同はて。かぎり。

はたぬき〔活名〕〔膚脱〕 肉袒也。

はたぬく〔動か四〕〔脱肌〕 ①肉袒也。②謂出力而爲事。③左袒也。贊助也。

はたのねび〔名〕〔肌帶〕 男之犢鼻褌也。一名はたおび。ふんどし。ふんどし。したおび。わりふんどし。たふさぎ。

はたのたばこ〔名〕〔秦野煙草〕 相模州秦野産之煙草。

はたはかま〔名〕〔膚袴〕 同さるまた。

はたはた〔名〕〔鱈〕 東北海所産之魚也。冬多上綱。銀色而長七八寸。可食。

はたはた〔名〕〔蟻蛸〕 蟲名也。飛時有はたはた聲。故名。似螽斯而細長黃色。一名はた。

はたばり〔活名〕〔機張〕 布幅也。又凡物之幅員也。

はたへ〔名〕〔膚〕 膚也。肌也。かはへ。はた。皆同。

れいと。

はたむるし〔活名〕〔旗標〕 旗草也。

はたむろ〔名〕 鱈白ハツ之義。魚名。

はたす〔動さ四〕〔果〕 遂成也。完成也。同しとぐ。①殺也。

はたすすき〔名〕〔旗薄〕 草名。すすき之一種。穂高抽如旗。故名。

はたせ〔名〕〔膚背〕 馬背不置鞍者。

はたたがみ〔名〕〔霹靂〕 迅雷也。霹靂ハカ神ノ義。

はたたき〔名〕〔羽撃〕 鳥鼓翼也。同はたたき。

はたたく〔動か四〕 ①迅雷也。②鼓翼也。

◎〔同義〕 はためく〔霹靂〕。

はたぢ〔名〕〔二十〕 ①二十也。②齡二十歳。

はたつけ〔活名〕〔膚付〕 馬具之一種。被於馬兩脇鑑所觸者。一名履脊。

はたつもり〔活名〕 圃之守モリ之義。リヤうぶ之一名。

はたばこ(名)(腫) 小旗竿頭有鉾者。佛事用之。

はためく(動か四) 鳴動也。同なりひびく。

はたもと(名)(旗本) 將軍幕營。樹其旗處。

①衛將軍幕營之兵士也。②德川氏之制。謂家臣食祿不滿一萬石至賜謁以上者爲一。有一八萬騎之稱。

はたもの(名)(機) 織布帛之具。一名はた。

①所織之布帛。

はたら(名) まだら之古言。

はたらかす(動さ四) 使勞役也。又活用之也。

はたらかせる(動さ下二) 是たらかす之今言。

はたらき(名) 活動也。①勳功也。功勞也。てがち。いさを。皆同。

②動作。機智。功用。③小厠執雜役者也。④語學之語。謂語尾之變化活用。一かけ(活名)(動掛)

①謂自己挑而活動。②語學上之語。謂起動之語。如推す斬る此爲はたらきかけ。如

蓮花者。

はぢがまじ(形動) 如可耻者之義。

はぢぎやく(名)(八逆) 上古法律。謂謀反。謀大逆。謀叛。惡虐。不道。大不敬。不孝。不義爲一。

はぢく(名)(淡竹) 又擬以葉竹。端竹。早竹。半竹等字。竹之一種也。節有白粉。節間促於常竹。

はぢぐわつ(名)(八月) 第八月也。一名はづき。

はぢけん(名)(八間) 往時厨房所用之大燈也。一名八方。

はぢこくり(名)(八講) はつこう之轉訛。

はぢこくり(活名) 與はちこくり同。

はぢこくり(活名)(鉢叩) はちたたき之僧也。一名はちこくり。又はちげうず。

はぢざかね(名)(鉢肴) 食膳外。別盛炙魚於盂者。

はぢじ(名)(八時) 第八點鐘也。

はぢじふ(數)(八十) 八十也。やそ。や

之花卉。盆栽也。

(はぢえふ)(名)(八葉) 家徽之一。象八葉

而繁。花後葉出。或謂之あめんどう者誤。

はぢ(名)(蜂) 蜂也。

はぢ(名)(鉢) ①印度之食器。②孟屬也。似碗而大。陶製。③うなぎばち(植木鉢)之略言。④胃之一部。覆頭處。⑤腦蓋骨也。

(はぢ)(數)(八) 八也。や。やつ。皆同。

はぢ(活名)(恥) 耻。辱。慚。愧。

はぢ(名)(罰) ばつ之轉音。罰也。多爲冥罰之義。

はぢ(名)(撥) 撥也。彈絃之具。

(はぢ)(名)(桴) 前言之轉訛。擊鼓之桴也。

はぢあはせ(活名)(鉢合) ①謂疾行撞着頭額相觸。②謂事之衝突撞着。

はぢあはせ(活名)(撥合) 謂將彈琵琶先試絃。

はぢいる(動ら四)(耻入) 深自耻也。

はぢいん(名)(八音) 金石絲竹匏土草木。

はぢり系(活名)(鉢植) 謂植木鉢所栽之花卉。盆栽也。

(はぢえふ)(名)(八葉) 家徽之一。象八葉

そち。皆同。

(はちぢふ)はちぢゆハチヂフ〔名〕(八十八夜) 立春後第八十八日之稱。此後無降霜。故農家重此日。

はちしむハチシム〔動ま下二〕 使羞辱也。同はづかしむ。

(はちしめる)〔動ま下二〕 はちしむ之今言。

はちしらふハチシラフ〔動ば四〕(耻) 相耻也。

はちすハチス〔名〕(蓮) 蜂窩ハチ之義。又略爲はす。水草之名。蓮也。

はちすハチス〔名〕(木槿) きばちす之略稱。一名むくげ。

(はちぢい)しハチヂイシ〔名〕(八代史) 漢土八代之史。即晉書宋書齊書梁書陳書周書隋書唐書也。

(はちぢい)しハチヂイシ〔名〕(八代集) 總稱三代集及後拾遺。詞華。金華。千載。新古今曰。共和歌選集也。

(はちぢい)ぢハチヂイヂ〔名〕(八大地獄) 佛經所謂八種地獄也。曰等活。曰黑繩。曰衆合。

曰叫喚。曰大叫喚。曰焦熱。曰大焦熱。曰無間。是也。

(はちぢい)ぢハチヂイヂ〔名〕(八大夜叉) 佛經所謂八體大夜叉。曰寶賢。曰滿賢。曰散支。曰衆德。曰應念。曰大滿。曰無比力。曰蜜殿。是也。

(はちぢい)りハチヂイリゆハチヂイリわハチヂイリりハチヂイリ〔名〕(八大龍王) 佛經所謂八龍大王。曰難陀。曰跋難陀。曰娑竭羅。曰和修吉。曰德叉迦。曰阿那婆達多。曰摩那斯。曰優鉢羅。是也。

はちぢハチヂたハチヂたハチヂさハチヂ〔活名〕(鉛叩) 謂空也。念佛宗之僧。行敲瓢唱佛號。

同はちぢハチヂこハチヂりハチヂ。◎空也。念佛僧也。同はちぢハチヂうハチヂすハチヂ。

(はちぢ)ぢハチヂヂりハチヂヂりハチヂヂ〔名〕(八丈) 絹緞之一種。はちぢハチヂやハチヂうハチヂぎハチヂねハチヂ〔八丈絹之略稱。上古諸國皆出之。有尾張八丈美濃八丈等名。蓋其長八丈。故名。◎伊豆州八丈島所出之



〔きたたちば〕

流行。

(はち)ふハチフくハチフク〔名〕(蜂吹) 吹而拂蜂之義。謂凡忌惡而去之爲。

はちハチまハチマきハチマキ〔活名〕(鉢巻) 抹額也。帽額也。謂將服勞役時。以布緊縛頭顱。◎土庫櫓下更塗土者。

はちハチまハチマへハチマヘいハチマヘイ〔名〕(鉢前) 廁傍置洗手鉢處。

(はち)まハチマんハチマンぎハチマンガ〔名〕(八幡座) 八幡神所在之義。曹鉢正中之孔也。一名かんやどり。

(はち)まハチマんハチマンぼハチマンボとハチマンボト〔名〕(八幡鳩) 鳩之一種。ずずかけばと之異名。

はちハチみハチミつハチミツ〔名〕(蜂蜜) 蜂蜜也。

(はち)めハチメんハチメン〔名〕(撥面) 琵琶胴上。撥所觸處。更貼革護之。一名ばちかば。

はちハチやハチヤ〔名〕(葉茶) 茶葉也。所賣而喫者。一やハチヤ〔名〕(葉茶屋) 茶館也。

はちハチやハチヤがハチヤガきハチヤガキ〔名〕(蜂屋柿) 美濃州各務郡蜂屋村所産之柿實也。後播種於諸州。

はちハチらハチラふハチラフ〔動ば四〕(羞) 謂有羞耻色。

◎同義) はちかしがら。はちかむ。

網緞也。島人謂之丹後織。◎凡網緞似はちぢハチヂやハチヂうハチヂぎハチヂねハチヂ者之名。一むハチヂはハチヂりハチヂ〔名〕(八丈桑) 八丈島所産之桑葉。長一尺五寸許。最宜養蠶。自古而有名。一さハチヂりハチヂわハチヂりハチヂ〔名〕(八丈草) 與あしたばアシアタバ同。近江州方言。一しハチヂだハチヂ〔名〕(八丈齒朶) 八丈島所産之しただ。

(はち)ぢハチヂんハチヂン〔名〕(八陣) 漢土兵法之名。

(はち)ぢハチヂんハチヂンびハチヂンビいハチヂンビイ〔名〕(八人藝) 一人雜操數様之言語動作。使聽者疑數人在坐者。一名。象聲。八人座頭。

(はち)ぢハチヂんハチヂンぎハチヂンギさハチヂンギサうハチヂンギサウ〔名〕(八人座頭) ばちハチヂにハチヂんハチヂンげハチヂンゲいハチヂンゲイ之一名。

はちハチのハチきハチキ〔名〕(鉢木) ◎盆栽之樹木也。

◎謡曲之一也。叙鎌倉執權北條時頼微行宿佐野常世家。常世伐所愛之盆樹。焚而取暖之事者。

(はち)はハチハいハチハイどハチハイドうハチハイドウふハチハイドウフ〔名〕(八孟豆腐) 水四醬油二酒二之率以調味用煮豆腐者。一名うハチハどハチハんハチハンどハチハンうハチハンウふハチハンウフ。

はちハチびハチビんハチビン〔名〕 男子頭鬚之一種。寶永年間

〔はぢる〕動上二(差) はづ之今言。

〔はぢわりじり〕名(八王子) 合祠素盞鳴尊子五男三女者之稱。

〔はづ〕名(鱈魚) まぐろ之一名。京阪方言。はづ(動下二)果 完了也。同をばる。●死也。

◎同義 きはまる(窮)。つく(盡)。

はづ(動下二)泊 謂船入海口而泊。

はづ(淹)初 初也。新也。雪新雪也。

はづ(名)巴豆 木實也。元産於漢土巴蜀地方。故名。似豆而長。其仁爲藥劑。又取油。灌木。葉似葛。

はづ(動上二)羞 自耻也。おもふせ。おもてふせ。おもなし。皆同。

〔はづ〕名(罰) 懲罰也。同しおき。

〔はづ〕名(跋) 書籍之書後。跋。一名おくがき。●繃縫也。同とりつくるふ。

はづ(名)馬爪 うまのつめ。馬爪也。

〔はづい〕名(發育) 成育也。成長也。同そだち。―す(動)

はづり(名)初卯 正月第一卯日也。此日東京土女。例詣拜龜井戸妙儀神社。第二卯日第三卯日亦詣拜。

はづりま(名)初午 二月第一午日也。此日山城州伏見稻荷神祠有賽儀。東京亦賽稻荷祠。第二午日第三午日亦賽。

〔はづえふ〕名(末葉) 裔孫也。後裔也。〔はづねん〕名(發音) 謂發音聲。又發音之異同也。

はづか(名) 二十日之義。●月之第二十也。―むさ(名)二十日草 牡丹之異名。本於白樂天新樂府。花開花落二十日。一城之人皆如狂句。―づき(名)二十日月 陰曆第二十日月。

はづか(名) 僅少之義。わづか。はづく。皆同。―に(副)

はづかし(形動)耻 心耻也。可耻也。―さ(形名) 一さ(形) 一く(副)

はづかむ(助下二)辱 凌辱也。使羞辱也。與はじむ同。

はづかつを(名)初鱧 謂かつを春末始上網者。

はづかぬずみ(名)鼯鼠 體小。窟居於人家近傍之土中。出而竊食。一名のらねこぎしろ。あまくちれずみ。のれずみ。又南京鼠。

はづき(名)陰曆八月之異名。

はづくろひ(活名)羽繕 ●謂鳥之捕羽蟲。●謂鳥將飛而整羽。

〔はづぎ〕名(末座) 下位也。末班也。與げざ(下座)同。

はづぎくら(名)初櫻 新開櫻花也。

はづしも(名)初霜 新霜也。―づき(名)初霜月 陰曆十月之異名。

はづす(動四)解 解也。同ほす。◎同義 はずす。はずす。

はづす(動四)外 前言之轉訛。●除去也。撤也。●失也。時機を―謂失時機也。●避也。座を―謂避而去席也。

はづぞら(名)初空 新春之天。

〔はづそらづき〕名(初空月) 陰曆正月之異名。

〔はづた〕名(發兌) 發兌也。

はづたけ(名)初茸 菌之一種。小於まつだけ。初生時已有笠。色褐而帶紫。味美可食。一名青頭菌。

〔はづぢよ〕名(末女) 季女也。

はづとさかり(名)初鳥狩 同こたかがり。

はづとり(名)初鷄 元旦鷄聲也。

はづとり(名)初酉 陰曆十一月第一酉日也。

はづな(名)鼻綱 繼也。謂馬口所施之索。

〔はづなん〕名(末男) 季子也。季男也。

はづね(名)初子 正月第一子日。

はづね(名)初音 新鶯之聲也。

〔はづばい〕名(發賣) 發售也。

〔はづばり〕名(發泡) 膏藥之名也。貼而使生水泡以除身毒之藥。

はづはぎ(名)初萩 同はぎ。

はつはつ(名)(端端) 僅少也。わづか。い
ささか。皆同。一は(副)

はつはな(名)(初花) ①新春第一之花。②
稚樹始開之花。③凡花最早開者。一どめ
〔活名〕(初花染) 染色之一。以べにげな
之新花所染之色也。一づき(名)(初花月)
陰曆正月之異名。

はつはる(名)(初春) 春初也。早春也。
はつひの(活名)(初日出) 元日出日也。
はつほ(名)(初穗) ①新稻之穗也。以獻
神祠及朝廷。②凡新物皆曰一。③謂獻
新稻之儀。④代新稻獻神祠佛寺之錢。亦
謂一。

はつみ(名)(初見草) ①心之異名。
②はぎ之異名。③冬菊之異名。④雪之
異名。⑤凡冬草皆呼爲一。

はつむかし(名)(初昔) 茶名也。其品上。
はつめ(名)(發明) ①發明也。創造也。

謂發前人所未發。②聰明也。慧敏也。同
りこ。

はつもと(名)(初元結) (初元結) 元服
時結髮之條也。用組條。

はつもの(名)(初物) ①謂蔬菜稻穀果實
等初生之物。②謂始食之珍味。
はつやま(名)(初山) 謂新年始登山。又謂
所始登之山。

はつゆき(名)(初雪) 初雪也。新雪也。
はつゆめ(名)(初夢) ①元日夜之夢。②
今謂正月初二夜之夢。

はつり(名)(末流) 後裔也。
はつら(名)(初削) 謂削取其一分。ヘ
る。はづる。皆同。

はつら(名)(初削) 謂削取其一分。ヘ
る。はづる。皆同。

はつら(名)(初削) 謂削取其一分。ヘ
る。はづる。皆同。

はづれ(活名) ①違也。脱也。②極也。端
也。つまり。はし。皆同。③つまはづれ
之畧言。

はづれ(名)(斑雪) 同はだれゆき。
はづれる(動) 下二(脱) はづる之今言。
はづる(名)(發露) 謂惡事或密謀之露顯。
發露也。

はつ(名) はつは之訛。
はて(活名)(果) ①終了也。結尾也。しまひ。
かぎり。きばみ。をばり。すゑ。皆同。②
謂喪期之充。
はて(名)(八手) 與はつき同。
はて(感) ①怪訝之辭。又迷惑不知所出時
所發之辭。②思慮不得。更思之時所發之
辭。

はで(名) 華美也。同だて。
はてい(名)(馬蹄) 馬蹄也。
はてい(名)(馬丁) ①奉馱馬之人也。一

名うまひき。②馬夫也。飼養乘馬者。一
名べつたう。

はてし(活名) 與はて同。終也。結局也。
はてし(名) 房事之異名。

はてはて(活名) 終之又終。末之又末之
義。とどのつまり。すゑのすゑ。皆同。

はてる(動) 下二(はつ) 今言。
はてれん(名)(伴天連) 葡萄牙語 Padre
父之義也。昔基督教宣教師之號。其次位
曰いるまん。兄弟之義也。

はと(名)(鴿) 鳥名也。野鴿家鴿きじ鴿等。
其類不一。

はと(名)(波戸) 築石水中爲隄者。以防風
波。又便泊舟移貨物。埠頭也。馬頭也。一
名波戸場。

はと(名)(拔頭) 舞樂曲名也。或擬以撥
頭字。演西域人爲虎所傷。其子殺虎復讎
之事。

はと(名)(馬頭觀世音) 三面八臂之觀世音。

〔ばとうゆ〕〔名〕(馬桐油) とうゆがッば之
大者。行旅馬上遇雨。以此被其身及載貨。
はとづゑ〔名〕(鳩杖) 上古。朝廷賜老者之
杖也。一名はとのつゑ。

はとのつゑ〔名〕 與はとづゑ同。

はとば〔名〕(波戸場) ばと所在之地。

はとふく〔動か四〕(鳩吹) 謂合掌當口而
吹。爲鳩鳴。秋日獵夫以呼鹿。一説。一西
風也。又一説。捕鷹者。秋末張網屋外。爲
鳩鳴以誘之。

はとむぎ〔名〕(鳩麥) 草名也。似薏苡。有
治肺疾効云。

はとむね〔名〕(鳩胸) 胸骨突出者。所謂
鐘除也。胸骨出於常者。亦曰。又龜
胸。鷄胸。鐘胸之高處。

はとめ〔活名〕(齒止) 阻止車輪回轉之機
也。

はとり〔名〕(服部) 機織ハタ之約言。謂機
織。又謂業機織之人。一名わりべ。(織部)

はとを〔名〕(鳩尾) 與せんだんいた對。著

鐘之左方者。一名きうび。

はな〔名〕(花) 花也。花枝也。櫻
花也。上古專謂梅花爲。華華
麗之義。同はなやか。の都華麗之帝都
也。名譽。榮華之義。同はまれ。を咲
かす。謂播聲譽也。虚飾也。纏頭也。
はなあはせ之略言。しきみ之枝葉
也。

はな〔名〕(端) 最先也。最初也。きさき
はじめ。皆同。山嘴也。

はな〔名〕(漢) 鱧也。謂鼻孔所出之液。同は
なしる。

はな〔名〕(鼻) 鼻也。

はなあはせ〔活名〕(花合) 古。公卿遊
戲之一。各獻櫻花於天子。分左右而闘其
優劣者。一名闘花。博奕之一種。一名
はなみ。

はなあぶ〔名〕(花虹) 虹之一種也。形似山
峰。黃色而無鬚刺。吸花。

はなうた〔名〕(鼻唄) 鼻歌。謂低聲唱
歌。謂沈靜爲事。
はなうるし〔名〕(花漆) 漆之精者。
はなねち〔活名〕(花落) 謂胡瓜茄子等。花
落後所采擷者。
はなか〔名〕(花香) 謂凡芳香殊絶者。多用
於茶香。

はながい〔名〕(鼻鬚) 牛之鼻環也。

はなかりじり〔名〕(花柑子) 謂開花之柑
樹。

はなかご〔名〕(花籠) 花籠也。以竹製之。
以挿花枝。同はなご。盛花之竹器。

はながさ〔名〕(花笠) 笠頂著剪綵花者。舞
踊或祭神者戴之。

はなかせ〔名〕(鼻風) 馬之鼻息也。

はなかせ〔名〕(鼻風) 病名。謂風邪不甚
重。唯鼻液多出者。一名鼻加答兒。痘痕
也。同あばた。鏡之異名。婦女語也。鏡
背刻菱花。故名。謂年少俳優爲華美之

はなあふひむら〔名〕(花葵) 葵之一種。蜀葵
也。葉大。莖一丈許。梅雨中開花。一名か
らあふひ。たちあふひ。つゆあふひ。

はなあやめ〔名〕(花菖蒲) 草名也。又畧稱
あやめ。葉似燕子花。而狹。夏初開紫碧
色之花。

はないかた〔名〕(花篋) 山林自生之樹。
高數尺。葉橢圓而有鋸齒。夏初開花。一名
青莢葉。謂落花點水面。以花篋也。

はないさ〔名〕(鼻息) 鼻息也。

はないくさ〔名〕(花軍) 古。遊戲之一。
各人以櫻花相擊。闘はながるた(花牌)
之戲。同はなあはせ。

はないけ〔活名〕(花瓶) 花瓶也。瓶用插花
枝者。一名はながめ。くわびん。はなたて。
くわへい。

はないろ〔名〕 はなだいろ之略稱。

はなうそやぐ〔動か四〕(鼻嘯) 謂欲笑而
不笑時。鼻間微成聲而顫動。

裝者。

はながたみ(名)(花筐) 竹器也。折花枝或摘蔬而入之。

はなかつら(名)(花鬘) 舞妓所簪之花也。①やなぎかつら之一名。②かにくさ之一名。③かいまんしや之一名。關西方言。

はながつぎ(名)(花鑿) 鑿干カッ之鉋爲薄片者也。

はながは(名)(鼻革) 韃革也。謂著馬鼻之革索。

はながひ(名)(花貝) さくらがひ之異名。

はなかへで(名) 木名也。うりのき之異名。

はながみ(名)(鼻紙) 紙以拭鼻者。一名たうがみ。ふところがみ。いれ(活名)(鼻紙入) 與はながみぶくろ同。又かみいれ。いぶくろ(名)(鼻紙袋) 夾袋也。入鼻紙錢貨等者。一名はながみいれ。懐

石蕊。

はなごころ(名)(花心) 好色也。艶情也。

はなごぎ(名)(花御座) 藺席施彩而所織者。一名はなむしろ。又佳文席。

はなごそ(名)(鼻聲) 嗚咽而言。鼻塞聲濁者。①謂聲觸鼻孔而出。濁而不清。穢風邪者。多有此聲。

はなざかり(活名)(花盛) 謂花盛開。又謂花時。

はなざき(活名)(事先) 目前也。當前也。同めのま。

はなざき(名)(花詐欺) 謂數人陰比開花牌。以欺人取財。又指其陰比者爲。

はなし(活名)(話) 談話也。同ものがたり。

はなし(活名)(話) 談話也。同ものがたり。

はなし(活名)(話) 談話也。同ものがたり。

はなし(活名)(話) 談話也。同ものがたり。

はなし(活名)(話) 談話也。同ものがたり。

はなし(活名)(話) 談話也。同ものがたり。

はなし(活名)(話) 談話也。同ものがたり。

中もの。

はながめ(名)(花瓶) 與はないけ同。

はなかんざし(名)(花簪) 簪飾以剪綵花者。少女挾之。

はなざ(名)(鼻木) 牛之鼻環也。①謂木材截斷之端。

はなざる(動) 劓(劓) 劓也。漢土古代五刑之一。

はなぐさ(名)(鼻莖) 鬪也。頰也。謂鼻莖。

はなぐそ(名)(鼻屎) 鼻渣也。鼻澳和塵而爲固形者。

はなぐた(名)(鼻腐) 謂病寒鼻塞而聲濁。

はなぐはし(形動) 狀物美麗之語。比花而言也。いさ(形名) 一さ(形) 一く(副)

はなぐもり(活名)(花曇) 養花天也。謂花時天多曇。

はなぐわ(名)(花慈姑) 澤瀉類之一名。

はなぐ(名)(鼻毛) 鼻孔中之毛。いぬさ(活名)(鼻毛拔) 鑷也。一名けぬき。

はなし(添) 綴動詞後。狀爲事未完而放置。不復顧後之語。前後語勢時或爲事はなし。

はなしあひ(活名) 商議也。

はなしあふ(動) 四(話合) 相語也。①爲商議也。

はなしか(名)(咄家) 以言說悅人爲業者。或滑稽突梯。或男女情事。所說不一。一名らくこか(落語家)

はなしがひ(活名)(放飼) 放牧也。同のがひ。①放生會(ヨウサエ)

はなしがめ(名)(放龜) 謂龜之所爲放流之而飼養者。

はなしくち(名)(話口) 談緒也。①言談之主意也。

はなしづめ(活名)(鎮花) 祭神之名也。

はなしづめ(名)(鎮花祭) 古。爲防疫癘。暮春祭大神狹井井二神。謂之。

はなしどり(名)(放鳥) 謂爲死者祈冥福。放籠鳥。同はなちどり

はなしほ(名)(花鹽) 播磨州赤穂所産

之鹽也。燒鹽而爲花紋者。一名印鹽。
 はなしやうぶ(名)〔花菖蒲〕 草名也。
 葉似菖蒲。花似燕子花。初夏開花。
 はなじゆんさい(名)〔花萼菜〕 あさぎ之
 異名。
 はなじる(名)〔鼻汁〕 膿也。謂鼻孔所出之
 液。
 はなしろ(名)〔鼻白〕 謂凡魚鳥鼻端之白。
 はなじろむ(動)〔鼻白〕 謂顔呈恐怖
 之色也。
 はなす(動)〔離〕 ①分離也。②離隔
 而遠之也。③放遣也。
 はなす(動)〔話〕 つく。いふ。かたる。
 談也。説也。
 はなすげ(名)〔花背〕 草名也。ちも之異名。
 はなすすき(名)〔花薄〕 すすき之出穂者。
 はなすぢ(名)〔鼻筋〕 鼻梁也。同はなぐき。
 はなすはら(名)〔花蘇芳〕 灌木名。紫
 荊也。春開花。色濃紫而成簇。一名すばう
 のき。

はなすり(活名)〔花摺〕 揉はぎ或つゆぐ
 さ之花。以其汁染衣者。
 はなせきしやう(名)〔花石莖〕 草名也。
 いはせきしやう之異名。
 はなせる(動)〔下〕 足與談也。可與言也。
 はなせん(名)〔花氈〕 花文氈也。
 はなぞの(名)〔花園〕 花園也。庭園多栽花
 樹者。一名はなばたけ。
 はなぞめ(活名)〔花染〕 謂以露草之花
 染衣者。同はなすり。
 はなだ(名)〔縹〕 淡藍色也。一名そらいろ。
 はないろ。
 はなたか(名)〔鼻高〕 ①隆鼻也。②天狗
 之異名。③僧家所用之履也。一名びかう。
 はなたぐさ(名)〔縹草〕 つゆぐさ之異名。
 はなたき(活名)〔鼻叩〕 まゆばき(眉帚)
 之小者也。傅粉後用以擦鼻上之具。
 はなたちばな(名)〔花橘〕 ①橘也。②謂
 衣之表朽葉色(背青色者)。③盧橘也。橘
 之一種。其實小。④なつみかん之異名。

はなぢ(名)〔鼻血〕 衄血也。
 はなぢどり(名)〔放鳥〕 鳥斷翅放養園池
 者也。①與はなしどり同。
 はなつ(動)〔放〕 ①分離也。②放縱
 也。縱囚之縱。同ゆるしてやる。③謂處
 流刑。遷謫也。④放射也。發也。
 ◎同義) はなす(放)。いたす(出)。おこす(起)。
 する(射)。
 はなつき(活名)〔鼻衝〕 偶然相遇也。同で
 あひがしら。
 はなつく(動)〔動か〕 謂事不如意。謂爲主
 君所疎斥。
 はなつくり(活名)〔花作〕 蒙馳也。園丁
 也。
 はなづく(名)〔花机〕 ①机載經典供佛
 前者。其脚彫鏤花卉。故名。②机安はな
 か(者)。
 はなづな(名)〔鼻綱〕 繫牛鼻之繩也。
 はなづの(名)〔鼻角〕 犀之鼻上短角也。
 はなづら(名)〔牛糜〕 鼻連之義。與はなづ

な同。
 はなづら(名)〔鼻面〕 鼻端也。
 はななほ(名)〔牛繩〕 與はなづな。はな
 づら同。
 はなのあに(名)〔花兄〕 梅花之異名。春
 初先百花而開。故名。
 はなのえん(名)〔花宴〕 觀花宴也。
 はなのねと(名)〔花弟〕 菊之異名。菊
 後於百花而開。故名。
 はなのこりつき(名)〔花殘月〕 陰曆四月
 之異名。
 はなのつゆ(名)〔花露〕 ①花露也。②蒸
 薔薇花取其滴者。薔薇露也。③天花粉(粉)に
 つ加油者。婦女粉飾用之。
 はなばさみ(活名)〔花鋏〕 截花枝之剪刀
 也。
 はなばしら(名)〔鼻柱〕 鼻梁也。
 ◎同義) はなす(鼻筋)。
 はなはだ(副)〔甚〕 甚也。太也。孔也。いた
 く。いみじく。おほいに。皆同。

はなはだし(形動)(甚) 太甚也。過中也。與いみじ同。一さ(形名) 一さ(形) 一く(副)

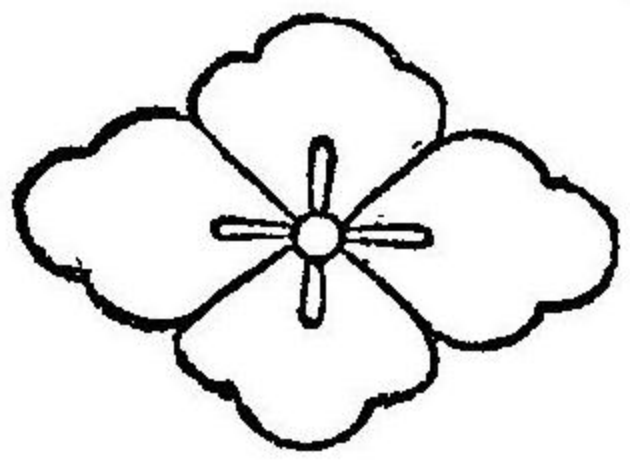
はなはなし(形動) 華美也。はなやか。あげれ。みごと。皆同。一さ(形名) 一さ(形) 一く(副)

はなはな(副) 與はなばなし。はなやかに同。

はなび(名)(花火) 煙花戲也。はなびし(名)(花菱) 家徽之名也。集花瓣成菱形者。

はなみせ(名)(鼻塞) 病寒鼻塞也。はなびら(名)(花瓣) 花瓣也。花片也。

はなひる(動ら四)(嚏) 嚏也。一名くさめ。はなふくろ(名)(花袋) にほひぶくろ之古名。はなぶさ(名)(花房) 一萼也。一花成簇者之稱。



[しびなは]

はなまじろ(活名) 與鼻嘯ハカ同。はなみ(活名)(花見) 觀花也。多用於觀櫻花。

はなみ(名)(花實) 一華及實也。一榮華也。はなみざげ(名)(花見酒) 謂觀花飲酒。はなみぞ(名)(鼻溝) 人中也。鼻下中央低窪處。

はなみち(名)(鼻道) 鼻梁也。同はなすち。はなみち(名)(花道) 演劇館内俳優登場之通路也。

はなみづき(名)(花見月) 陰曆三月之異名。はなみどり(名)(花見鳥) うぐひす之異名。

はなむけ(活名)(錢) 贖也。謂贈行者之錢物詩文等。はなむこ(名)(花婿) 新郎也。

はなもつやく(名)(花没藥) 繪畫色采之一種也。取於熱地所產樹之蟲。初褐色。後變黃色。一名紫鉚。

はなもり(活名)(花守) 護花之人也。はなやか(形名) 華美也。きらびやか。はで。皆同。一は(副)

はなやしき(名)(花屋敷) 庭蔭群芳。供人遊觀之處。はなよめ(名)(花嫁) 新婦也。

はなる(動ら下二)(離) 一分離也。一離別也。一謂兩者之距離。一謂失官職。はなれ(活名)(離) 一分離也。一はなれさしき之略。

はなれらま(名)(放馬) 逸馬也。はなれきたな(形動)(離穢) 謂畜於出錢。一さ(形名) 一さ(形) 一く(副)

はなれとま(名)(放駒) 同はなれうま。逸馬也。はなれざしき(名)(離座敷) 子亭也。謂與本宅離。在庭園中之閑室。一名はなれや。又はなれ。

はなれじま(名)(離島) 絶海孤島也。

はなれや(名)(離家) 一謂遠離人居。在山野之家。一名ひとつや。一子亭也。與はなれざしき同。

はなれる(動ら下二) はなる之今言。はなれわざ(名)(離技) 警技也。非常之技也。謂超越於尋常之技術。多指かるわざ爲し。

はなわらび(名)(花蔭) 陰地之草也。高五寸許。似蕨而小。はなを(名)(鼻緒) 履絲也。日本履所以挾持人足。一ずれ(活名)(鼻緒擦) 謂はなを摩擦以傷足。

はなをれ(活名)(鼻折鯛) 棘鬣魚之一種也。長一尺許。身扁而短。頭方而鼻端如挫折者狀。自冬涉春多獲。

はなばり(活名)(鼻張) 謂外強暴而內實怯。

はな(名)(植) 粘土之精者也。以作瓦及陶器。上古用以染衣。一名しかり。あかつち。ればつち。へな。

はねかむ〔動ま四〕 差溢也。
はねさふ〔名〕〔半挿〕 匣也。灌水之器。水通柄中而出。一名はんさう。はさう。
はねし〔名〕〔土師〕 上古以作土偶爲職者。後掌葬禮。垂仁帝時出雲野見宿禰請以土偶代殉死。帝嘉之。賜姓土師。世居其職。
はねし〔名〕〔黃糧〕 ばじ之古名。
はねふ〔名〕〔地生〕 謂出はに之地。
はねべ〔名〕〔埴埴〕 瓶燒はに以製者。瓦埴也。
はねま〔名〕〔埴馬〕 瓦馬也。用於はにわ。
はねやす〔名〕〔埴安〕 護土之神也。
はねやすひめ〔名〕〔埴山姫〕 護土之女神也。
はねわ〔名〕〔埴輪〕 上古葬死者。以はに作人馬甕等物。周墓而埋之。爲輪狀。以代殉死。此曰。
はねんじん〔名〕〔葉人參〕 人參之新葉也。
はね〔動な下二〕〔跳〕 ①跳躍也。②〔遊〕遊

飛也。同はとげしる。③反撥也。破裂也。同はじく。〔籜か〕。謂桶籜毀撥。④謂演劇終而觀客散。
はぬ〔動な下二〕〔撥〕 ①書法之一。撥也。②投棄也。③謂淘汰而除之。④斬也。刎也。⑤首を「斬首也。⑥謂掠取物之一分。同あたまをはれる。
はぬけどり〔名〕 鳥脱羽者。
はぬひ〔活名〕〔端縫〕 謂折布帛之四邊而縫之。一名はしぬひ。
はね〔名〕〔羽根〕 ①翮也。②羽毛也。③翼也。翅也。同つげさ。④箭羽也。⑤はこ〔羽子〕之一名。⑥器機局部。似鳥翼者。名之曰。
はね〔活名〕〔跳〕 ①跳躍也。②器機之彈機。鎖鑿也。一名はね。③謂演劇終局。
はね〔名〕 ばね之轉訛。
はねがき〔活名〕〔羽搔〕 謂鳥以嘴搔其羽。
はねかす〔動さ四〕〔撥〕 使反撥也。
 ◎〔同義〕 とはしらす。

はねかへる〔動ら四〕〔跳反〕 ①跳而衝物。又爲反跳也。②謂反跳之勢急。
 ◎〔同義〕 はすみかへる。
はねず〔名〕〔唐棣〕 ①にはうめ之一名。②木芙蓉之一名。③山梨はな之花。④庭櫻はな之一名。⑤石榴はな之一名。⑥露草はな之一名。
はねずみ〔名〕〔跳炭〕 跳炭也。爆炭也。一名はしりずみ。
はねせん〔名〕〔撥錢〕 謂掠取他人收利之一分之錢。
はねつき〔活名〕〔羽子突〕 謂打羽子之遊戲。
はねつく〔動か下二〕〔撥付〕 拒絕也。謂斥而不應。
はねつげる〔動か下二〕〔撥付〕 ばねつく之今言。
はねつるべ〔名〕〔撥釣瓶〕 桔槔也。
はねのく〔動か下二〕〔撥除〕 ①謂擇而除去之。②謂拂而除去之。

はねのける〔動か下二〕 ばねのく之今言。
はねばし〔名〕〔跳橋〕 吊橋也。
はねび〔名〕〔跳火〕 爆火也。
 ◎〔同義〕 はしりび。
はねむし〔名〕 ①凡蟲飛躍者之總名。②水風はな之異名。③謂輕躁者。
はねる〔動な下二〕〔跳撥〕 ばね之今言。
はは〔名〕〔母〕 母也。一名いろは。たらしめ。め。ははおや。なんなおや。めおや。かか。
はば〔名〕〔幅〕 幅員也。
はば〔名〕〔祖母〕 ①祖母也。一名おはば。②老婆也。老嫗也。
はば〔名〕〔屎〕 屎也。大便也。小兒語。
はば〔名〕〔馬場〕 うまば之約言。調馬場也。
はばらさ〔名〕〔羽帚〕 帚以鳥羽製者。一名はねばらさ。又とりばらさ。
ははか〔名〕〔波波加〕 かばさくら之異名。
ははかた〔名〕〔母方〕 外戚也。
はばかり〔活名〕 ①憚也。畏懼也。②婦女

謂廁爲一。上廁亦謂一。

はばかる〔動ら四〕(憂) 蔓延也。同ひろがる。

はばかる〔動ら四〕(懼) 忌諱也。畏懼也。敬服也。 ①畏難也。心不欲也。

はばき〔名〕(帚) ほうき之古言。一き〔名〕(帚木) 同ほうきぐさ。一ばし〔名〕(帚星) 彗星也。同ほうきばし。

はばき〔名〕(脛巾) 脚絆也。脛衣也。行纏也。はばき〔名〕(鍬) 刀鍬與刀心接處以貴金包護。謂之一。

ははくそ〔名〕(黒子) 黒子也。一名はくろ。又ははくろ。はくそ。

ははくり〔名〕(母貝) 草名也。母栗之義。あみがさゆりの異名。

ははくろ〔名〕(黒子) 黒子也。一名はくろ。ははこ〔名〕 ばはこぐさ之略稱。一はこ〔名〕(母子草) 草名。鼠麴草也。生山野。葉似すべりひゆ而長。有白毛。至冬不枯。自春涉夏開黃花。一名こぎやう。もちよも

ぎ。ばはこ。ほうこ。ひきよもぎ。

ははじ〔名〕(母字) 母字也。反切上者爲父字。下者爲母字。

ははしる〔名〕(母代) 謂代母育子之人。

ははそ〔名〕(柞) かしは之古名。一名うそ。櫛。

ははたき〔活名〕(羽撃) 鼓翼也。同はたき。

はばむ〔動ま四〕(阻) 阻止也。防也。同ささぶ。

はばり〔名〕(刀針) 似針而扁。雙刃。而尖銳。長二寸中二三分許。外科醫治療之具也。一名らんせつた。ひらばり。披鍼。

はばる〔動ら四〕 張也。脹也。ははてる〔名〕(喇喇鳥) 鳥名也。似百舌而有冠。舌長爪銳。切其舌則善學他鳥發其聲。一名八哥鳥。ははん〔名〕(八幡) 足利氏末年。鎮西海賊寇明之邊海。其旗幟皆書八幡神號。故明人以其國音讀之。名爲ばはん。後轉訛

爲一。因爲凡商船犯國禁航海外之稱。一名わけあきなひ(蜜賣買。奸闌)

はひ〔名〕(灰) 灰也。(ばひ〔名〕(馬尾) 馬尾也。同うまのす。ばひあぶら〔動は四〕 相齋也。はひいろ〔名〕(灰色) 灰色也。鼠色也。

はひうら〔名〕(灰占) 俗間占法之一。搔灰占事也。

はひねし〔名〕(活名) (香匙) 香匙也。香鍬也。平灰之具。一名はひならし。

はひこる〔動ら四〕 ①蔓延也。 ②滋殖也。同ふゆ。 ③横恣也。

はひずみ〔名〕(灰墨) 掃墨之誤。ばひさる〔動ら四〕 奪取也。掠奪也。はひならし〔名〕(活名) (火鍬) 火鍬也。香匙也。同はひおし。

はひやくしん〔名〕(這柏心) 木名也。びやくしん之一種。不直上而横臥地上。故又名蛇木。矮檜。矮柏。

(ばひふり〔名〕(馬脾風) 病名。馬脾風也。先發咳。塞氣管。絶呼吸。十歳以下小兒多罹此。今名じふてりや。

はひふき〔活名〕(灰吸) 唾壺也。投入烟灰及吐唾之盒也。(ばひほり〔名〕(馬尾蜂) 蟲名也。生於木。形小而翅黑。尾有如馬毛者。死則分爲三縷。其雄無尾。

はいまつ〔名〕(這松) ①松生高山絶巔者。爲風雪所逆。蜿蜒伏地。 ②凡松之偃臥地上者之稱。

はひまゆみ〔名〕(杜仲) 木名也。まさき之古名。

はひもみ〔名〕 生於竹根傍近而似筍者。

はひりり〔活名〕(這入) 同いりくち。(はひる〔名〕(動ら四) はひいる之約言。入也。

はふ〔名〕(博風) 屋之切棟之端。爲山容者。或擬以破風字。(はふ〔名〕(霸府) 武人代天子爲政。其政

廳曰一。一名幕府。

(はふか[名]法) 法律也。方法也。さだめ。おきて。のり。てだて。皆同。
はふか[動]は四[這] 匍匐也。同はらばふ。
①蟲之行曰一。爬行也。②草之蔓行曰一。

はふか[動]は下二[延] 物之延長曰一。

はふ[名] 雲母之墨色帶有青色者也。

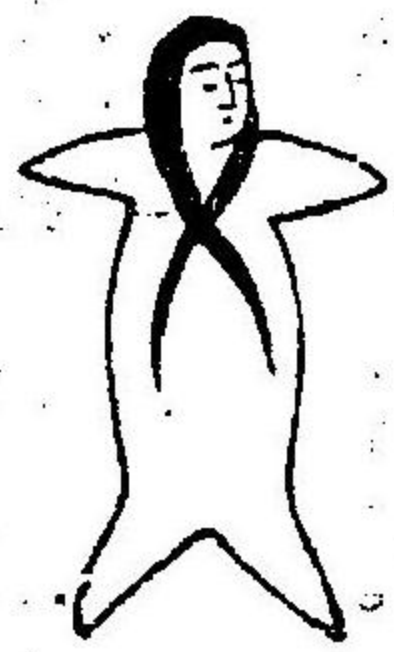
はふ[名] (波布) 毒蛇名也。生薩摩州大島及琉球。頸細而頭大。形似飯匙。潛身於樹木若草間。往往以毒牙觸人畜。觸者多不免死亡。一名飯匙倩。

(はふがく[名]法學) 研究現行法律及其原理之學也。

はふかる[動]な四[省] 謂削除而減。

はふく[動]か四[省] ①省減也。②艷粧也。同やつす。

はふとほ[名] (這子) 兒女玩具也。爲嬰兒匍匐狀者。あまがつ之異名。



[こほは]

はふし[名] (羽節) 翮也。謂羽莖。同はぐき。

はふたへい[名] (羽二重) 綢緞之一種。精緻而有光澤者。

(はふてい[名]法庭) 謂聽訟之官衙。裁判所也。同しらす。

はふてこふら[名] (蛇木) 熱帶地植物也。蔓似藤。有解蛇毒之効。

(はふでふ[名]法帖) 法帖也。

はふに[名] (白粉) 白粉之類也。古用今不用。

(はふはふ[副]這這) ①謂辛苦步行。②纔得脫免之謂。遁竄之貌。

はふらかす[動]き四[放] 放棄也。

①同義) すてやる。

はふらす[動]き四 同前條。

はふり[活名] (祝) 祠祝也。かんなき。神職。皆同。

はふり[活名] (葬) 葬也。

はふり[活名] (羽振) ①奮翼也。②謂羽種。蠅虎也。

毛之容。①權勢也。

はふりと[名] (祝子) 祠祝也。同はふり。

(はふりつ[名]法律) 議會協贊之。天子裁可之。然後所公布之法。謂之法律。

はふる[動]ら四 ①投棄也。②使散逸也。

はふる[動]ら四[葬] 葬也。

はふる[動]ら下二[放] ①散亂也。②漂泊也。同さまよふ。

①同義) はなれちる(離散)。さすら(流離)。

はふれいわた[名] (法令綿) 綿毳也。

(はふん[名]馬糞) 馬矢也。一[名] (馬糞紙) ①唐紙之最下品者。②今時洋本表裝。以爲心者。

はへい[名] (蠅) 蠅也。蒼蠅。

はへい[動]は下二[延] ばふ之轉訛。

はへき[名] (椽) 椽也。一名たるき。

はへきは[名] (生際) 額上生髮之邊也。

はへちやうり[名] (繩帳) 畜食之小厨子也。四面帖紗以防蠅。

はへどり[名] (蠅捕物) 蜘蛛之一

種。蠅虎也。

(はへどり[名]んべい[名]蠅捕權兵衛) 蠅螂也。同かまきり。方言也。

はへどりばな[名] 草名也。生山中濕地。葉面有粘液。蠅蜻蜒等集則不能飛去。(茅膏菜)

(はへどりむし[名]蠅捕蟲) 蠅螂異名。

はへらひ[活名] (蠅拂) 謂拂蠅之掃子。塵尾也。

はべり[動]ら變[侍] ①伺候之義。敬語。はへり。さふらふ。皆同。②在也。居也。敬語。ます。こさる。いら。しやる。皆同。

(はべん[名]さうり[名]馬鞭草) 草名也。高二三尺。葉對生。有細鋸齒。夏開花。小而色淡紫。一名まつづら。

はべたん[名] (葉牡丹) 草名也。高一二尺。春夏間開淡黃花。一名いんげんな。ぼたん。甘藍。

はほん[名] (端本) 殘闕本也。

はま(名)(濱) ●瀨湖海之平地也。●圃
碁之死子也。一名あけいし。●河濱之地
也。大阪方言。

はま(數)(八) 八也。猜拳之語。

はま(名)(濱菊) 草名也。似たるま
う。秋冬開白花。一名佛頭菊。●常陸
方言。謂きぶれぎく。

はま(名)(蛤) ●介名。文蛤也。形似
栗子。肉大而味美。●加賀方言。謂あま
なぶれ。

はま(名)(蛤刃) 刀未研者。

はま(名)(濱車) 草名。くまのぎく
之異名。

はま(名)(名) 草名。はまぢさ之異名。

はま(名)(名) 濱紫苑) 金盞菜也。う
らぎく之異名。

はま(名)(名) 濱菅菜) 草名也。ぼう
ふう(防風)之異名。

はま(名)(名) 濱管) 草名。荻草也。生海
邊。葉似管。其根塊爲藥劑。名香附子。

海邊沙地及圃。莖紅。一極三葉。初夏開花。
はま(名)(名) 蔓荊) 灌木名。生水邊沙
地。實大於胡椒。其仁爲藥劑。一名はま
う。はましきみ。

はま(名)(名) 濱葵) 草名也。生海邊。葉
互生。夏開花。五瓣而色黃。實大三分許。
成三稜形。蒺藜花。旱草)

はま(名)(名) 濱脹) ののしりぐさ之
異名。

はま(名)(名) 濱棒) 草名也。生海邊。似
むくげ。開黃花。一名きむくげ。

はま(名)(名) 木綿) 草名也。多産於紀
伊勢海邊。莖似芭蕉。

はま(名)(名) 破魔弓) 新年兒童所弄之
弓矢。一名ゆみはま。

はま(名)(動) 四(填) ●填也。塾也。●陷
也。●耽溺也。遊ひに―謂耽於娛樂。

はま(名)(名) 濱豌豆) 草名也。生
海邊。葉似豌豆。初夏開花。初淡紫色。後
漸濃。遂爲碧色。一名のゑんどう。

はま(名)(名) 濱芹) 芹生海濱者。一名は
まにんじん。蛇狀子)

はま(名)(名) 地菘) 草名也。一名あ
しなづな。活鹿草)

はま(名)(名) 鮫) 海魚之名。

はま(名)(名) 濱縮緬) ちりめん(縮
緬)之一種。出於近江州長濱。故名。

はま(名)(名) 濱梨) 木名也。いはなし之
一名。又越橘。玫瑰。

はま(名)(名) 濱茄) 草名。生海邊。薔薇
之類也。多刺。夏開花。五瓣而鮮紅。(玫瑰
蒺藜)。

はま(名)(名) 濱棗) さるかきいばら
之一名。

はま(名)(名) 濱納豆) 遠江州濱
松大福寺所製之鹹豉。

はま(名)(名) 濱苦菜) ●防風(防風)之
古言。●いてふさう(銀杏草)之一名。

はま(名)(名) 濱榆) 防風(防風)之異名。
はま(名)(名) 濱防風) 草名也。生

はま(名)(名) 濱萩) ●草名。荻生海邊者。
●伊勢州方言。謂蘆爲一。
はま(名)(名) 蝮蛇) 蝮蛇也。へび之轉訛。一名
まむし。

はま(名)(名) 馬衝) 轡之一部。入馬口處。
はま(名)(名) おにのやがら之異名。(續繼。龍
頭)

はま(名)(名) 活名(齒磨) 牙粉也。

はま(名)(名) 動(食) 出殘餘於外也。

はま(名)(名) 動(食) 溢出也。

はま(名)(名) 動(食) 食出) はみいづ之
今言。

はま(名)(名) 魚名也。同はも。

はま(名)(名) 動(食) 喫食也。くらふくふ。
皆同。

はま(名)(名) 動(食) 嵌也。●挿入也。
同はめこむ。●填(填) 填充也。●陷(陷) 陷也。
「計略に―」謂陷敵於術中。
●(同義) くらは(食)。おとし(陷)。

ち。捷計也。

はやむ(動) 下二 促進也。快速之也。同いそがす。

はやめ(動) 下二 (催藥) 藥名。促出產之藥也。一名催生藥。

はやめる(動) 下二 (早) はやむ之今言。はやり(活名) (流行) 時樣也。一りた(名) (流行唄) 時謠也。民間流行之短歌。一かせ(名) 感冒易感染者。一名流行性感

冒。一がみ(名) (流行神) 神祠爲時人所崇信參拜者。一め(名) 眼疾之一時流行。人多感染者。一やまひ(名) (疫病) 時疫也。

はやり(名) (早雄) 謂志氣盛銳。血氣少年也。

はやる(動) 四 (揣) 躁急也。同あせる。はゆる(動) 四 (流行) 凡事物。一時爲人意所嚮。流行於世曰。同ときめく。

はやわざ(名) (早技) 捷技也。多謂擊刺捷疾。妙入神。

はら(名) (原) 平原也。曠原也。未開墾之地也。

はら(名) (荊棘) 荊棘也。いばら之略言。はら(名) 墜落不整兒。

はら(接) (儻) 綴人類名詞後。示其複數之語。們也。

はら(活名) 胸甲也。兵卒所被之甲也。行旅所被之短衣也。同はらち。

はら(形動) (腹穢) ばらきたなし之今言。

はら(形動) (腹穢) 謂處心鄙陋。謂心術不正。一さ(形名) 一さ(形) 一さ(副)

はら(活名) (切腹) 屠腹也。同せぶく。

はら(活名) (腹下) 下痢也。はら(形動) (腹黑) 謂心術不正。謂心懷異圖。一さ(形名) 一さ(形) 一さ(副)

はら(活名) (腹掛) 肚套也。被胸腹之衣。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はや(名) (早桶) 貧人之楢也。

はゆ(動) 下二 (生) 生出也。おふのぶ。皆同。

ははゆ(動) 下二 (映) 光輝赫奕也。盛觀也。

ははゆ(名) (驛) 早馬之約言。驛馬也。傳也。

ははら(名) (腹) 腹也。心也。腹惡し。謂心術不正。凡物之中央也。山の山腹也。

はら(名) (原) 平原也。曠原也。未開墾之地也。

はら(名) (荊棘) 荊棘也。いばら之略言。はら(名) 墜落不整兒。

はら(接) (儻) 綴人類名詞後。示其複數之語。們也。

はら(活名) 胸甲也。兵卒所被之甲也。行旅所被之短衣也。同はらち。

はら(形動) (腹穢) ばらきたなし之今言。

はら(形動) (腹穢) 謂處心鄙陋。謂心術不正。一さ(形名) 一さ(形) 一さ(副)

はら(活名) (切腹) 屠腹也。同せぶく。

はら(活名) (腹下) 下痢也。はら(形動) (腹黑) 謂心術不正。謂心懷異圖。一さ(形名) 一さ(形) 一さ(副)

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

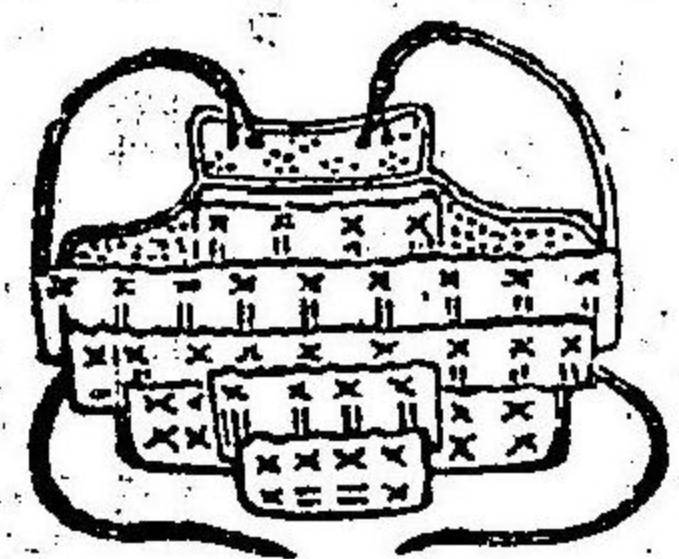
はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。

はら(活名) (腹) 魚名也。はら(活名) (腹) 魚名也。



[てあらは]

はらすぢ(名)(腹筋) ●腹筋也。肚筋也。

●大笑不堪之義。

はらだたし(形動)(腹立) 可怒也。一さ

〔形名〕一さ〔形〕一く〔副〕

はらだたし(形動)(腹立) ばらだた

し之音便。

はらちがひ(活名)(腹違) 異母兄弟也。

同はらがほり。

はらつづみ(名)(腹鼓) 鼓腹也。謂樂太平。

はらのむし(名)(腹蟲) 蛔也。腹中寄生

蟲。

はらほひ(活名)(腹這) 匍匐也。同はら

ばふ。

はらばふ(動)(腹這) 匍匐也。

ばらばら(形名)(疎鬆) 疎鬆也。離散貌。ま

ばら。ちりちり。皆同。又飛散之聲也。猶

珊珊。一は〔副〕

はらひ(活名)(拂) ●拂。 ●謂交付雇

直或所購之代價。

はらひ(活名)(被) ●祈禳也。謂祈神。被

除災厄罪障。又謂行被爲一。 ●爲購罪所

出之物曰一。 ●行祈禳時所誦之詞也。 ●

ばらひばらひ之略言。一ばこ(名) 筐藏

祈禳所奉之たまぐし者。

はらふ(動)(拂) ●除去也。掃除也。

同はさきよむ。 ●逐斥也。攘斥也。夷を

一攘夷。 ●うりばらふ(賣拂)之略言。

はらふ(動)(被) 祈禳也。謂祈神

被除災厄罪障。又謂行被爲一。

はらふ(名)(疎斑) 謂玳瑁有黑斑者。

はらへ(名)(被) 被也。一ぐさ(名)(被

草) 尸也。祭依神者。一名かたしる。一

ぐし(名)(被串) 被所用之玉串也。

はらま(活名)(腹卷) ●肚套也。謂勒肚

之中。同はらおび。 ●同はらあて。

(はらみつ(名)(波羅密) 佛教。到着彼岸

之義。

はらむ(動)(妊) ●妊娠也。みこもる。

みもちになる。かいに入す。皆同。 ●凡

物之中部彭亨曰一。

はらめ(名)(孕婦) 孕婦也。同はらみをん

な。

(はらもち(活名)(腹持) ●謂腹中氣味。

●謂食不易消化。久而腹果。

(ばらもん(名)(婆羅門) ●梵語淨行之義

也。印度四種姓之一。爲貴族。自稱梵天苗

裔而承習其法者。又稱其初生於梵天之口。

漢譯曰梵士。又曰淨裔。 ●婆羅門

種族所傳之教也。以梵天爲祖。佛教未創

之前。久已行於印度。

はらや(名)(水銀粉) 白粉之一種也。一名

いせおしろい。はおしろい。(米粉。輕粉)

はららく(動)(疎疎) 使稀疎也。又離

散見。ばらばらにす。くづれちる。皆同。

はらわた(名)(腸) ●腸也。 ●瓜中之子

曰一。

(はらゐせ(活名)(腹癒) 謂報怨以自快。

はらゐ(名)(叢緒) 謂履絲束細索數條者。

多用藥若膏。

(はらん(名)(波瀾) ●波瀾也。 ●謂物議

騷然。

はらん(名)(葉蘭) 常綠之草也。葉長二三

尺。幅三四分。一名烏葵。寶鼎香。葉蘭。

はり(名)(針) ●針鍼。 ●刺也。草木之刺。

形似針。故亦名爲一。 ●螫蜂螫也。 ●

(鉤)釣鉤也。同つりばり。 ●鍼醫之具也。

刺人身而治病。

はり(名)(椽) 木名。椽也。一名はりのき。

又はんのき。

はり(名)(梁) 梁也。うつばり之約言。

はり(飛螳)(名) 羽蟻之約言。白蟻也。

(蟹)

はり(活名)(張) ●延張也。 ●競争也。同

はりあひ。 ●いさばり。いさち。不屈之

氣也。

(はり(名)(玻璃) ●梵語水晶之義。 ●今

轉謂硝子爲一。びいどろ。がらす。皆同。

(はり(名)(罵詈) 罵詈也。ののしり。わる

くち。めり。皆同。

はり(名)(尿) 尿也。ゆばり之略語。同せうへん。

はりあひひ(名) 競争也。

はりあふ(動)は四(張合) 爲競争也。同せりあふ。

はりい(名)(鍼醫) 醫專以刺鍼治病者。

はりいた(名)(張板) 板貼布曝乾者。

はりおね(名)(針金) 鐵線若銅線也。其細不一様。しむし(名)(針金蟲) 蟲名也。長二尺許。細而如はりがね。一名あしまつひ。

はりがみ(名)(張紙) 謂糊補訂誤。又附箋也。貼紙也。同はりりふだ。

はりさ(名)(栢扇) 木名也。このてがしは之異名。土佐方言。

はりさ(名)(馬力) 計數蒸氣力之語。以一分時間舉重二萬四千磅物於一尺之高爲一。

はりざり(名)(針桐) 桐之一種。生於山。幹多刺。材堅而白。しほち。いぬだら。ほほ

だら。ぼろだら。刺楸。皆其異名。

はりさる(動)ら四(張切) 謂十分擴張。

はりけん(名)(馨香鴨) 荷語山鶯之義。鶯之一種。一名おらんたあひる。

はりこ(名)(張子) 貼紙成形而中空者。同はりぬき。

はりこがひ(名)(張子貝) 貼紙成貝形者。以畜香皂。

はりこむ(動)ま四(張込) 盡心也。奮發也。同いきこむ(意氣込) 張網而待之義。謂捕吏陰伏待奸徒來而捕之。

はりさく(動)か下二(張裂) 謂過膨而破裂。

はりさし(活名)(針挿) 針塾子也。婦女裁縫之具。一名針管。

はりしこと(名)(針仕事) 裁縫也。

はりすひいし(名)(針吸石) 磁石之一名。

はりすり(活名)(榛摺) 上古以榛皮染布曰し。

はりせんぼん(名) 魚名也。背黑腹白。全身有銳刺。産於北海道。一名魚虎。

はりたけ(名)(張茸) 菌類也。しかたけ之異名。

はりたし(活名)(張出) 告示也。貼紙也。はりがみ。はりふだ。皆同。突出也。

はりたす(動)さ四(張出) 爲告示也。爲貼紙也。突出也。

はりつく(動)か下二(張付) 貼紙也。行磔刑也。

はりつけ(活名)(磔) 磔也。古刑罰名。今廢。凡所貼附之物。曰し。

はりなすび(名)(針蒚) 草名也。まんだけげ之異名。

はりぬき(活名)(張抜) 貼紙成形而中空者。同はりこ。

はりぬすみ(名)(針鼠) 蝸也。産於中央亞細亞及歐羅巴。夜出。常食鼠蛙及昆蟲等。冬蟄伏於樹洞岩窟中。背有棘毛。銳甚。

遇害己者。縮體聳刺以防之。

はりのさ(名)(榛) 木名。榛也。ぼんのさ之古名。

はりばこ(名)(針箱) 針盒也。藏凡裁縫諸具之篋。濶淫者也。信濃州松本方言。

はりばり(名)(針) 草名也。いばがれ之異名。方言。

はりひち(名)(張臂) 謂爲威容張臂於左右。

はりふぐ(名)(針河豚) 魚名也。はりせんぼん之一種。刺短而少。

はりまち(名)(飯) 魚名。

はりめ(名)(針目) 縫痕也。同ぬひめ。空ぬ(名)(針目網) 與いろくころも同。

いろくころも(名)(針目衣) 解古衣。澣濯補綴而更縫之衣。一名はりめぎぬ。又いろくころも。

はりめだか(名)(針目高) 魚名也。めだか之小者。色黑。生於溝澮。

はりもぐら(名)(針鼯) 獸名也。全身有棘

毛。以防敵害。棲森林。又潛行地中。捕小蟲而食之。

はりもの〔名〕(張物) 謂糊貼澁衣於板而乾之。

はりを〔名〕(針魚) 魚名也。さより之異名。

はりん〔名〕(馬蘭) 草名也。高二三尺。花葉共似あやめ。一名馬棟。

はる〔名〕(春) 春也。

はる〔動ら四〕(張) ①擴張也。②謂全面閉塞。氷が―全池氷結也。③芽出也。④膨脹也。同ふくれあがる。⑤増進也。

はる〔動ら四〕(張) ①展開也。同ひろく。幕を―。②綿互也。③突出也。

はる〔動ら四〕(張) ①貼也。札を―貼紙也。②謂貼紙成物形。③謂造器之中空者。

はる〔動ら四〕(治) 謂墾闢土地。

はる〔動ら四〕(批) 謂以掌擊人。

はる〔動ら下二〕(晴) ①天霽也。②氣暢也。疑ひ―疑解也。

はるさめ〔名〕(春雨) 春雨也。

はるしやがはり〔名〕(波斯草) 昔時。荷蘭人自波斯齋來之草也。

はるせみ〔名〕(春蟬) 春蟬也。蟬自春末鳴者。一名蟬母。

はるに〔副〕(遙) 遙也。與はるかに同。

はるのみや〔名〕(東宮) 皇太子也。

はるばる〔名〕(副) (遙遙) 太遠。甚遠也。遙遙也。

はるび〔名〕 同はらび。

はるび〔名〕(春日) 春日也。―の〔枕〕(春日) 冠かすむ之辭。

はるぶくろ〔名〕(春袋) 兒女初春所縫之袋也。

はるべ〔名〕(春方) 春時也。

はるまぢづき〔名〕(春待月) 陰曆十二月之異名。

はるめく〔動か四〕 春色漸動也。

はるをしめづき〔名〕(春惜月) 陰曆三月之異名。

はる〔動ら下二〕(腫) 腫起也。同ふくれあがる。

はる〔動ら四〕(尿) ゆばり之轉訛。弱也。土佐州方言。

はるか〔形名〕(遙) 遙也。謂距離之遠。―に〔副〕

はるかす〔動さ四〕(晴) 同はらす。

はるがすみ〔活名〕(春霞) 春霞也。春靄也。

はるかぜ〔名〕(春風) 春風也。

はるぎ〔活名〕(春着) 春服也。①正月所著之新衣。

はるく〔動か下二〕 同はるかす。

はるけし〔形動〕(遙) 遙遠也。―さ〔形名〕 一さ〔形〕 一く〔副〕

はるびしき〔名〕(春景色) 春色也。韶景也。

はると〔名〕(春子) ①兒以春生者。②春蠶也。

はるとま〔名〕(春駒) ①春野放牧之馬也。②玩具之。駒頭穿竹者。

はれ〔活名〕(晴) ①晴也。霽也。②公然之義。―の席稠衆廣坐也。おもてたつ。おほやけ。皆同。

はれ〔活名〕(腫) 腫起也。

はれ〔名〕(破壊) 破壊也。同はれる。

はれいしやうり〔名〕(晴衣裳) 美衣也。禮服也。同はれぎ。

はれいしよ〔各〕(馬鈴薯) じゃがたらいも之一名。

はれき〔活名〕(晴著) 美衣也。禮服也。

はれくち〔名〕 敗事之端也。

はれつ〔名〕(破裂) 破裂也。―す〔動〕

はれはれし〔形動〕 偉觀也。快闊也。同はれやか。―さ〔形名〕 一さ〔形〕 一く〔副〕

はれもの〔名〕(腫物) 病名。腫癰也。一名でまもの。

はれやか〔形名〕 偉麗也。―に〔副〕

はれらか〔形名〕 ばれやか之古言。―に

〔副〕

はれる〔動ら下二〕(晴) ばる之今言。

はれる〔動ら下二〕(破壊) 破壊也。●破壊也。●

露顯也。同あらはる。

はるばる〔名〕 同はるん。

はわりわら〔名〕(霸王) 諸侯之長也。霸者也。

はわりじゆわら〔名〕(霸王樹) 木名也。さ

ぼてん之異名。

はわかれ〔活名〕(齒別) 謂齒間有罅隙。

〔歷齒〕

はわけ〔活名〕(葉分) 謂穿葉間而行。―

の月謂月光穿葉。

はるる〔動わ上一〕(名) 齒痛也。(齧)

はる〔名〕(破壊) 破壊也。破損也。やぶる。

こはれそこなふ。皆同。

はるつく〔動た下二〕(蝕盡) 日全蝕也。

はかりわら〔名〕(發行) 弘行於世也。

●謂發售新書。―す〔動〕

はかりわら〔名〕(八講) 法華八講會。―

ふ〔名〕(八講布) 法華八講會所布施之麻

布也。中古用加賀越中之產。

はかりわら〔名〕(醜醉) 醜醉也。

はかりわら〔名〕(發覺) 發覺也。露顯也。

はかりわら〔名〕(稜莖) 蔓草也。さるとり之

異名。

はかりわら〔名〕(發刊) 發刊也。謂鑿板書籍

而發售。

はかりわら〔名〕(發汗) 發汗也。出汗也。

はかりわら〔名〕(發狂) 發狂疾也。―

す〔動〕

はかりわら〔名〕(副) 明白也。判然也。同は

かりわら。―と〔副〕

はかりわら〔名〕(罰金) 罰金也。刑罰之一。

〔過料〕

はかりわら〔名〕(發會) 發會也。

はかりわら〔名〕(八荒) 八荒也。同八方。

はかりわら〔名〕(八卦) 八卦也。

はかりわら〔名〕(末家) 自本宗而支出之家。同

分家

はかりわら〔名〕(八景) 勝景之地。多疑瀟湘

撰八景。近江金澤最著。

はかりわら〔名〕(八家九宗) 并八宗

及禪宗稱。

はかりわら〔名〕(發見) 發見也。みいだす。み

つく。皆同。

はかりわら〔名〕(發遣) 發遣也。派遣也。

はかりわら〔名〕(跋扈) 跋扈也。驕橫也。

◎同義) をとりはぬる。〔跋扈〕

はかりわら〔名〕(八朔) 陰曆八月朔。

はかりわら〔名〕(八算) 謂和算術乘除之法

一位者。

はかりわら〔名〕(末子) 季子也。

はかりわら〔名〕(八識) 謂眼。耳。鼻。舌。身。

意。末那。阿賴耶爲八識。佛教之語也。

はかりわら〔名〕(八省) 古制。立八省以

治天下。中務省。式部省。治部省。民部省。

兵部省。刑部省。大藏省。宮内省。是也。

はかりわら〔名〕(八將神) 陰陽家

者流所祭神也。太歲。大將軍。大陰。歲刑。

歲破。歲殺。黃幡。豹尾。皆歲德神之子也。

はかりわら〔名〕(八省院) 上古。

朝廷八省百官執政務處也。其正殿曰大極

殿。天子親臨聽政。一名朝堂院。

はかりわら〔名〕(八宗) 佛教八派之宗門

也。俱舍。成實。律。法相。三論。天台。華嚴。

眞言。即是。

はかりわら〔名〕(八升豆) 菽之一種

也。莢似蠶豆。而大。實有黑斑。

はかりわら〔名〕(發信) 謂通音信。

はかりわら〔名〕(發) 起也。始也。おこる

はかりわら〔名〕(發) 發程也。

はかりわら〔名〕(發) 興起也。同おこす。

◎放也。矢を―發矢也。

◎同義) しやうせしむ。いやくる。はなつ(放)。

はかりわら〔名〕(發) 處罰也。

はかりわら〔名〕(拔萃) 拔萃也。

はかりわら〔名〕(八寸) 食器也。せん之脚高

八寸者。

(はっせい) [名] (發生) 發生也。一す [動]
 (はっせき) [名] (末席) 下位也。末班也。
 (はっせり) [名] (跋渉) 跋渉也。一す [動]
 (はっせん) [名] 謂自壬子至癸亥之十二日爲一。一年凡六次。
 (はっせん) [名] (末孫) 後裔也。
 (はった) [名] (蝨斯) はたの之訛。いなこ類之總名也。關東方言。
 (はったい) [名] (糗炒) はたき之音便。炒米。麥爲粉末者。
 (はったい) [名] (糗石) 鐵鑛含沙者也。其內空洞。一名こもちいし。又いしなだんこ。
 (はったい) [名] (法堂) 佛寺說法場。
 (はったつ) [名] (發達) 升進也。成長也。
 (はったん) [名] (八端) 綢緞之一種。有縱橫黃褐條者。一かけ [名] (八端掛) はた入之本名。
 (はち) [名] (棍襠) 襖子之一種。綢緞製之。

(種襠)
 (はちばり) [名] (鉢坊主) 托鉢僧也。持鉢乞布施者。(化飯道人)
 (はちん) [名] (八珍) 淳熬。淳母。炮豚。炮胖。膾珍。漬熬。肝腎。謂之一。又一說。龍肝。鳳髓。兔胎。熊掌。鴨炙。豹蹄。狸腎。鯉尾謂之一。盛饌也。
 (はていら) [名] (端艇) 西班牙語 Batel 洋式小舟之快駛者。走舸也。
 (はてき) [名] (拔擢) 拔擢也。
 (はつと) [名] (法度) 法令也。法禁也。おきて。さだめ。皆同。
 (はつち) [名] (八方) 四方及四隅也。諸方。
 (はつち) [名] (發砲) 轟發也。
 (はつび) [名] (半被) はんび之轉音。士人家隸所被之上衣。著家徽者。
 (はつぷ) [名] (發布) 謂公布於世。多用於公布法令。
 (はつり) [名] (半頭) 兜無額者。

(はつぶん) [名] (八分) 書體之一種。
 (はつぱり) [名] (發表) 告示也。公示也。一す [動]
 (はん) [名] (判) 判別也。考定也。はんだん。かきはん。(花押)。いん。(印)
 (はん) [名] (藩) 藩籬也。諸侯也。取於爲王室藩屏之義。
 (はん) [名] (版) 同はんぎ。又銅版。石版。
 (はん) [名] (飯) 飯也。めし。いひ。まんま。皆同。
 (はん) [名] (半) 二分一也。同なかば。奇數也。偶數之反。
 (はん) [名] (叛) 背也。離叛也。同そむく。一す [動]
 (ばん) [名] (晩) 晚也。日暮也。同夕ぐれ。夜也。同よる。
 (ばん) [名] (鵜) 水禽名也。有大小二種。
 (ばん) [名] (盤) 臺也。皿也。棋局也。將棋局也。盤也。同たらいひ。
 (ばん) [名] (番) 序次也。謂交代勤務。

監視也。同みはり。
 (ばん) [名] (番) 第號也。一。二。第一。第二也。棋。雙六等之段闕。
 (ばん) [名] (麵包) 葡萄牙語 Pão 歐美人之常食。小麥粉製之。
 (ばん) [名] (萬有) 萬物也。
 (はん) [名] (繁榮) 繁榮也。一す [動]
 (はん) [名] (活名) (半襟) 婦女襦袢及肉衫之領也。
 (はん) [名] (反應) 內通也。一名うらきり。謂應施爲而有効驗。化學上之語也。一す [動]
 (はん) [名] (半開) 花半開也。國。家文化之未全開者。
 (はん) [名] (版行) 謂著書鑲板而行於世。誤謂彫鏤木板爲一。又誤謂印章爲一。
 (はん) [名] (半髮) 半髮之轉訛。半剃頭而結髮也。
 (はん) [名] (版鑑) 印鑑也。

(はん)がく(名)(半額) 半額也。同はんだか。

(はん)がく(名)(晩學) 晩學也。

(はん)がさ(名)(番傘) 傘之粗製者。

(はん)がしら(名)(番頭) 隊將也。

(はん)がた(名)(晩方) 日暮也。同ゆふがた。

(はん)かぢ(名)(番鍛冶) 古。鍛冶自諸國交代勤務於京師者。

(はん)かづり(名)(半可通) 謂自誇爲解事者。一知半解之人也。なまぎき。なまものじり。皆同。

(はん)かふぎ(名)(半跣) 謂以左足加於右足而坐。一名吉祥座。

(はん)がば(名)(半合羽) 合羽之短者。自正徳末年始行。

(はん)かん(名)(反問) 反問也。

(はん)き(名)(版木) 書板也。謂彫鏤圖書之木。多用山櫻。黃楊。一名かたぎ。ゑりいた。一し(名)(版木師) 剛工也。一名はんほり。はんぎや。

(ばん)き(名)(萬機) 萬機也。

(ばん)き(名)(盤木) 擊而成聲報時者。

(ばん)き(名)(斑鳩) すずかけばと之一名。

(ばん)き(名)(半球) 地學者。假兩分地球者。稱東一西一。

(ばん)き(名)(半弓) 小弓也。長二分大弓之一。故名。

(ばん)き(名)(半切) 能樂衣裳之一也。

(ばん)き(名)(半切紙) 用於書信之紙。一名はんき。

(はん)き(名)(活名) はんきりがみ之轉訛。

(はん)き(名)(繁勤) 謂勤務多忙。

(はん)き(名)(半金) 謂全金額之半。

(ばん)き(名)(版金) 古代錢貨有大判小判等。總稱爲一。後世。專稱大判爲。

(ばん)き(名)(輓近) 輓近也。近時也。同ちかころ。

(はん)ぐつ(名)(半沓) 洋鞋之淺者。

(はん)ぐわ(名)(繁華) 繁華也。

(ばん)ぐわい(名)(挽回) 挽回也。恢復也。とりもどし。ひきもどし。皆同。

(ばん)ぐわん(名)(磐桓) 盤桓也。同たちもとほる。

(はん)ぐわん(名)(判官) 古官名。同まつりことびと。一たい(名)(判官代) 古。上皇官廳名。

(はん)び(名)(半夏) 藥草也。春生芽。葉似澤瀉。夏抽長莖開花。故名。一しやうり。

(名)(半夏生) 陰曆。夏至第二候也。夏至後十一日。

(ばん)けい(名)(晚景) 夕陽之影也。日暮也。又暮景也。

(ばん)びき(名)(繁劇) 繁劇也。多忙也。同せはし。

(はん)けち(名) 英語 Handkerchief 之訛音。西洋手巾也。汗巾也。

(はん)けつ(名)(判決) 謂判定事之是非善

惡。今謂法吏聽斷訴訟爲一。一す(動)

(はん)びつ(名)(半月) 一月之半。即十五日。弦月。

(はん)けん(名)(版權) 圖書印行之權也。

(はん)ご(名)(反語) 反語也。

(ばん)ご(名)(萬古) 萬古也。永久之義。

一ばんこ(名) 萬古之略語。一やき(活名) 萬古燒。伊勢州朝明郡小向村所造之陶器也。薄而堅。刻萬古二字。故名。其白色者曰溫故燒。

(ばん)こうくわ(名)(番紅花) 藥草也。さふらん之異名。

(ばん)こく(名)(萬國) 萬國也。宇內諸國之總稱。一ころはふ(名)(萬國公法) 規定各國間交際之法。

(はん)こんかう(名)(反魂香) 反魂香也。漢武帝故事。

(はん)ぎ(名)(犯罪) 犯罪也。謂犯刑禁。

(ばん)ぎ(名)(萬歲) 永久繁榮之義。千秋萬歲。頌禱之辭。

(ばんざう) かり カウ [名] (絆創膏) 膏藥名也。有癒合創口之効。

はんざき [活名] (半割) さんせううを之異名。

はんざし [活名] (管刺) はづさし之音便。

(はんざつ) [名] (煩雜) 煩雜也。こたくわづらはし。皆同。(錯綜)

(はんざふ) [名] (半挿) はにざふ之音便。

(はんざん) [名] (半産) 流産也。

(ばんざん) [名] (晩餐) 晩餐。ゆふめし。はんめし。やしよく。皆同。

(はんじ) [名] (半紙) 紙之一種。

(はんじ) [名] (判事) 官名也。司聽訟斷獄事。上古分大中小三等。今謂依裁判所構成法之規定。任司法事務之官吏。

(ばんじ) [名] (番士) ①遞交勤務之兵士也。②當直勤務之兵士也。

(ぼんじ) [名] (萬事) 萬事。

(ぼんじ) [名] (晩秋) 季秋也。謂陰曆九月。

堅固之義而用。取於不動如磐石之義。

(はんじやう) [名] (反射爐) 火爐以鑲銷銅鐵。鑄造礮煩者。

(はんじゆ) [名] (判授) 古。八位以下之叙位。任其長官判定而授之。謂之。

(はんじゆく) [名] (半熟) 半熟也。向なまに系。

(ぼんじゆん) [名] (晩春) ①季春也。②陰曆三月也。

(ぼんじよ) [名] (番所) 監視者屯處也。同ぼんどころ。

(はんじより) [名] (半鐘) 小鐘也。佛寺及軍陣中用之。又擊以報失火。

(ぼんじより) [名] (晩鐘) 暮鐘也。

(ぼんじより) [名] (萬乘) 車萬乘也。天子畿内出車萬乘。故謂天子爲。

(はんじよく) [名] (繁殖) 謂人及禽獸蟲魚之増殖。同ふえしげる。一す[動]

はんじり [名] (半尻) かりぎぬ之短裾者也。

(ばんじき) [名] (盤涉) 音樂十二律之一。

(はんじくわ) [名] (斑枝花) 木名也。ばんや之異名。

はんじた [名] (版下) 上梓之書畫也。

(はんじはんじやう) [名] (句) (半死半生) 謂殆將死。謂重傷若甚疲勞。

はんじもの [名] (判物) 謎也。或以物或以言。

(はんじや) [名] (反射) 謂光之映物而反照。

(はんじや) [名] (判者) 決事物之可否優劣之人。

(はんじやう) [名] (繁昌) 繁昌也。にぎはふ。さかゆ。皆同。一す[動]

(ぼんじやう) [名] (番匠) 上古自大和飛騨諸州遞交勤務於京師木匠之稱。後世誤謂木匠爲。一づち [名] (番匠槌) 木椎也。

(ぼんじやう) [名] (番上) 謂遞番上直。一名とのぬ。

(ぼんじやく) [名] (磐石) ①大石也。②爲

(はんじる) [動] (判) 推量也。推察也。推測也。はんず之今言。

(はんしん) [名] (半身) 身之半也。一ふずる [文] (半身不隨) 病名。偏枯也。

(はんしん) [名] (はんぎ) [文] (半信半疑) 半信半疑也。

はんす [動] (變) (反) ①反對也。同うらはら。②離叛也。同そむく。

(はんすけ) [名] (半助) 金壹圓之半。即五十錢之異稱。東京狹斜之語也。

はんすり [活名] (版摺) 謂刷印。又刷工也。

(はんせい) [名] (反省) 反省也。一す[動]

(ぼんせい) [名] (萬世) ①萬世也。同よろづよ。②永久之義。

(ぼんせい) [名] (萬歲) 頌禱之語也。

(ぼんせり) [名] (蕃椒) 蕃椒也。謂南洋移植之胡椒。一名たうがらし。又なんばんこせう。

(はんせき) [名] (版籍) 版圖及戶籍也。謂土地人民。

(はんせつ) [名] (半切) 縦二分唐紙一枚之一也。

(はんせつ) [名] (反切) 反切也。得字音之法。一名かへし。

(はんせん) [名] (判然) 判然也。明白也。

(ばんせん) [名] (萬全) 萬全也。同だいちやうぶ。

(ばんそり) [名] (伴置) 僧隨伴葬儀者。

(はんた) [名] (繁多) 多忙也。同いそがし。 〓 夥多也。

(はんた) [名] (盤陀) 和鉛以純錫者也。

(ばんた) [名] (番太) 番太郎之略言。 一らうわ。 [名] (番太郎) 徳川時代。江戸街巷處處立屯所。置捕卒監非爲其捕卒。謂之。

(はんたい) [名] (反對) 反對也。うらばらうらうへ。敵對。皆同。

(はんたい) [名] (飯臺) 食机數人駢坐俱食者。一名てえぶる。

(ぼんたい) [名] (盤臺) 鸞魚者。入魚而携之器。橢圓形之盤也。一名板臺。

(ぼんたい) [名] (番臺) 棍堂主人所坐之高座也。

はんたいふい [名] (半大夫) はんたいふふし之略言。 一ふし [名] (半大夫節) 俗諺江戸節之一也。半之亟者始成此調。

(はんたう) [名] (半島) 三方臨水一方纔與陸接之地。

(はんたぐねん) [名] (半濁音) びびべほ之五音。

(はんたん) [名] (判斷) 判斷。判決也。 一す [動]

(ぼんたん) [名] (萬端) 萬端也。萬般也。萬事也。同あらゆる。

(はんち) [名] (判知) 俸祿之半也。

(はんちく) [名] (斑竹) 幹有斑紋之竹也。一名まだらだけ。

(ぼんちや) [名] (番茶) 茶之下品者。

(ぼんちやう) [名] (番長) 古官名也。近衛府舍人之長。 〓 天子侍從之長曰。 一 (はんちん) [名] (藩鎮) 藩鎮也。

方言

(ぼんぬんくわ) [名] (蕃南瓜) たうなす之異名。

(はんじや) [名] (般若) 梵語。離脫分別妄想智慧之義。 〓 誤爲醜怪可恐之女夜叉。 一たうわ [名] (般若湯) 僧家隱語。謂酒爲一。

(ぼんぬん) [名] (晩年) 晩年也。

(ぼんのき) [名] (榛木) はりのき之音便。木名也。高二三丈。葉似栗。實似杉。幹白色。而曝日則變爲紅色。其材以爲薪。葉爲染料。一名赤楊。

(はんば) [名] (半端) 零餘也。 〓 愚人也。

(はんばい) [名] (販賣) 販賣也。同うりさばき。

(はんばう) [名] (繁忙) 繁忙也。多忙也。同いそがし。

(はんばかま) [名] (半袴) 袴之長至於踝者。今日通用之袴是也。對於長袴之稱。

(はんぱく) [名] (半白) 半白也。謂老者毛

(ぼんづけ) [活名] (番附) 詳記劇部俳優及所演之次第者。

ぼんてまけ [名] (番手桶) 小桶用於家中掃除者。

(はんてん) [名] (半纏) 加衣上之半身衣也。有襟。無胸紐。賤者被之。

(はんた) [名] (半途) 半途也。 〓 謂事業未成而在中程。與中道同。

(はんた) [名] (版圖) 國土也。 〓 一國治下之地圖也。

(はんたう) [名] (反動) 英語 Reaction 謂對所加之力而反抗之力。同ゆりかへし。

(ばんたう) [名] (晩冬) 季冬也。 〓 陰曆十二月之異名。

(ばんたう) [名] (番頭) 管店也。謂商家僱人之長。

はんとり [活名] はんとりちやう之略稱。 一ちやう [名] (判取帳) 商家交付金錢貨物之際。使捺印之帳也。

(ばんとり) [名] (番鳥) 同もゝんが。畿内

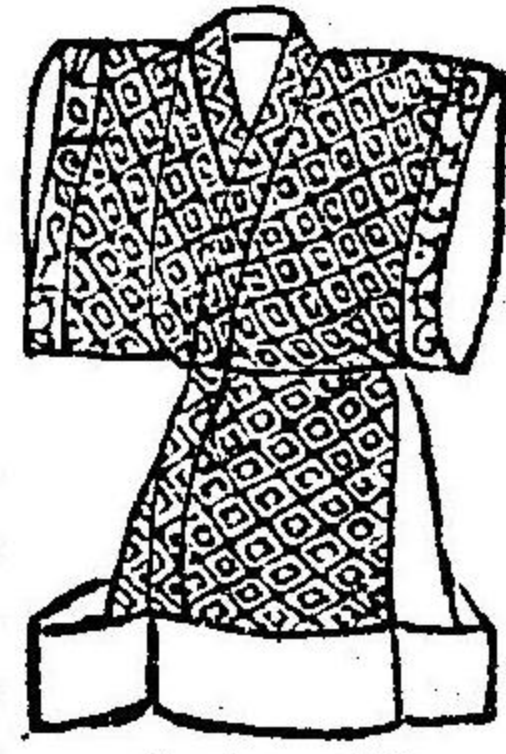
髮黑白相間者。

(はん)ばつ(名)(半髮) 剃頂髮而存四邊。一束於頂巔。折而爲鬚者。明治以前男子皆倣此様。

(ぼん)ぼん(副)(萬萬) 同とても。萬萬無此理之萬萬也。十分之義也。

はんび(名)(半日) 奇數之日也。如一日三日五日。

(はん)び(名)(半臂) 古朝服袍下所著之衣也。無袖而短。



[びんは]

はんびらき(活名)(半開) 花之半開也。謂未全達於文明之域。

(はん)びらけ(活名)(半開) 同はんびらき。

(はん)ぶ(名)(頒布) 頒布也。同わかちくばる。一す(動)

(はん)ぶ(名)(癩肌) なまづけだ之一名。

(はん)ぶく(名)(反覆) 反覆也。同うらがへる。謂變心賣君不忠之臣。

(はん)ぶく(名)(反覆) 反覆也。同くりか

(はん)ぼ(名)(反哺) 反哺也。鴉有反哺之孝。

(はん)ぼん(名)(版本) 印本也。

ぼんみち(名)(半道) 半里也。一里之半。謂十八町。

(ぼん)みん(名)(萬民) 萬民也。

(はん)む(名)(繁務) 繁務也。

(はん)めい(名)(反命) 反命也。復命也。

(はん)めり(名)(斑猫) 蟲名也。長一寸許。身有紅及黑斑。腹黑。首有短鬚。其顔似猫。故名。有毒。一名斑蝥。

(はん)めん(名)(半面識) 半面識也。

(ぼん)も(名)(繁茂) 繁茂也。

(ぼん)もつ(名)(萬物) 萬物也。同げんぶつ

(はん)もと(名)(版元) 書籍發行處也。一名はつだもと(發兌元)

(はん)や(名)(半夜) 子時也。今之下午十點鐘。

はんば

古語 俚語方言 (字音)

はんわ

一五五九

へす。

(はく)ぶく(名)(半腹) 山腰也。謂山之中腹。

(ぼん)ぶく(名)(萬福) 萬福也。多福也。

(ぼん)ぶつ(名)(萬物) 萬物也。すべてのもの。あらゆるもの。皆同。

(ぼん)ぶふたり(句)(萬夫不當) 謂多力。萬夫猶不能當。

(はん)ぶん(名)(半分) 物之半也。又謂兩分物。なかば。ふたつわけ。皆同。

(はん)べい(名)(半平) 以魚肉製之。駿河州庖人半平者始製之。故名。一名あんべい。はんべん。

(はん)べい(名)(藩屏) 藩籬也。屏障也。へい。かき。まがき。へだて。皆同。謂諸侯也。以其守護天子當藩屏之任而謂。

(ぼん)べい(名)(番兵) 哨兵也。衛兵也。

はんべり(動) 變。はべり之音便。

はんべん(名) はんべい之轉訛。

ぼんや(名)(番屋) ばんべい之屯處也。

ぼんや(名)(斑包屋) 鬻げん舗。

ぼんや(名)(斑枝花) 熱帶地方所生之樹之繁也。樹實似がしいも。實中有絮。用以實於布團。がしいも之絮也。

(はん)よう(名)(繁用) 繁務也。同ことおほ。

(はん)らう(名)(煩勞) 煩勞也。

(はん)らん(名)(汎濫) 汎濫也。

(はん)りや(名)(半兩) 秦之銅錢也。

(ぼん)りや(名)(盤領) 袍及水干袴之圓領也。

(はん)れい(名)(凡例) 凡例也。

(はん)れき(名)(頒曆) 謂頒曆於民。

(はん)ろ(名)(販路) 銷路也。謂貨物消售之途。

(はん)る(名)(範圍) 範圍也。區域也。さか(捌口)。

ひ。きまり。かこひ。かぎり。皆同。

ひびひ

ひ〔子音〕 此音母親い所胚胎。使觸氣息於上下唇間而發之。

ひひ之〔濁音〕 使顫動氣息於上下唇間而發之。

ひひ之〔半濁音〕 彈氣息於上下唇間而發之。

ひ〔名〕〔日〕 ①日也。②日光也。③日熱也。④日本人尊稱天子爲「日の御門」。

ひ〔名〕〔日〕 前言之轉訛。①晝也。晝間也。ひる。ひるま。皆同。②地球爲一回轉之頃也。即二十四時爲一「日」。にち。じつ。皆同。③期日也。④時也。時代也。⑤日

ひ〔名〕〔比〕 比較也。比類也。くらべ。たぐひ。皆同。

ひ〔名〕〔碑〕 碑也。一名いしぶみ。

ひ〔名〕〔緋〕 染色之一。鮮紅如火。

ひ〔名〕〔妣〕 妣也。「考」。

ひ〔名〕〔美〕 ①美麗也。②美味也。

ひ〔名〕〔微〕 微少也。幽微也。微弱也。すこし。かすか。よほし。皆同。

ひ〔名〕〔尾〕 尾也。同な。

ひ〔名〕〔鼻〕 鼻也。同はな。

ひあひひ〔名〕〔悲哀〕 悲哀也。同かなしみ。

ひあがる〔動ら四〕〔乾上〕 乾涸也。

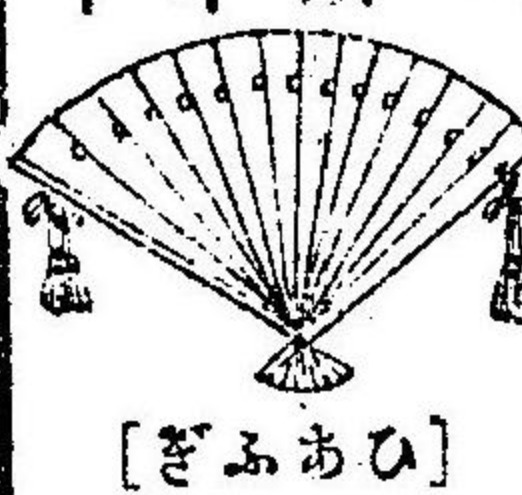
ひあし〔名〕〔日脚〕 暑也。疑日行天空而言。

ひあたり〔活名〕〔日當〕 謂日光照射。

ひあひひ〔活名〕〔日間〕 日數。

ひあふぎ〔名〕〔檜扇〕 扇以扁柏薄片造者。公卿用綴二十

五枚者。殿上人用綴二十



子也。

ひ〔名〕〔火〕 ①火也。②情之激謂「怒」。胸にたく。

ひ〔名〕〔檜〕 木名。扁柏也。相磨擦生熱發火。故名。一名ひのき。

ひ〔名〕〔穢〕 同ひのくち。

ひ〔名〕〔穢〕 廁中受尿管器也。(廁)

ひ〔名〕〔氷〕 氷也。一名こほり。

ひ〔名〕〔梭〕 梭也。一名をさ。

ひ〔名〕〔樋〕 ①引水管也。以竹木造之。一名とひ。刀身細溝曰「」。

ひ〔名〕〔目翳〕 眼病之一種也。瞳上生翳。至不可視。

ひ〔名〕〔隔〕 物有間隔蔽障爲「」。

ひ〔名〕〔婢〕 婢也。げちよ。(下女)はしため。皆同。

ひ〔名〕〔非〕 ①不然也。②非理也。同あしし。

ひ〔名〕〔脾〕 脾也。內臟之一。

三枚者。婦女所用則三十九枚。面有繪畫垂紐餘。①草名。烏扇也。葉廣如菖蒲。形似ひあふぎ。故名。夏秋間開六瓣花。

古刑罰之一。放火燒人家者處此刑。

衛府官吏戒火。夜叫「」而巡警。

寸餘。體中有似米粒者。

力。又推引也。

ひいづ〔動た下二〕〔秀〕 ①謂禾出穗。②卓絶也。同ぬきんづ。(拔出)

ひいづる〔動た下二〕〔秀〕 ひいづ之今言。

かがみ〔名〕〔玻璃鏡〕 玻璃背塗水銀以爲鏡者。一よま〔名〕〔玻璃絲〕 長崎人鷹紙

薦。所用之絲。
 ひいな(名)(雞) 雞也。同ひな。
 ひいばば(名)(曾祖母) 同ひおほば。曾祖母也。

ひいふ(名) 英語 Beef 之音。牛肉也。|
 かつねつ(名) 洋饌之一種。以牛肉所調製之かつねつ也。|すちいく(名) 英語 Beefsteak 之音。牛肉和脂而炒者。一名びすてき。

ひいほん(名) 被風之唐音。
 ひいる(動)(沖) ひひる之音便。
 ひいる(名)(麥酒) 英語 Beer 卑酒也。一名びいあ。

ひいれ(活名)(火入) 烟具之一。火盒也。火盆也。一名たばこぼん。
 ひいろ(名)(緋色) 緋也。謂銅器之色澤耀明爲一。

ひり(動)(微雨) 微雨也。こさめ。こぶり。皆同。

ひえどり(名)(鴨) 鳥名也。好食稗。故名。一名ひよどり。

ひえる(名)(冷) ひゆ之今言。

ひえん(名)(飛簷) 屋簷之四隅。曲而上向者。宮殿佛宇有此簷。

ひえん(名)(飛燕) 飛燕也。槍術ツユ之語。謂輕體身如飛燕。漢代美人之名。

ひおほぢぢ(名)(曾祖父) 曾祖父也。謂祖父之父。おほくぢ。ひぢ。皆同。

ひおほばば(名)(曾祖母) 曾祖母也。謂祖父之母也。おほくば。ひば。皆同。

ひおほひ(活名)(日覆) 蔽遮日光之帳子也。謂劇場之天井。

ひねん(名)(美音) 美聲也。
 ひが(名)(飛蛾) 飛蛾也。一名とびむし。又ひとむし。

ひが(代)(彼我) 彼與我也。
 びが(添)(僻) 與ひがみ同。邪推也。又誤也。

ひり(名)(眉宇) 眉宇也。眉間。眉頭。

ひらちいし(名)(燧石) 燧也。火石也。|
 ちり(活名)(燧石賣) 鬻燧者也。元祿年間。江戶城中有行鬻燧者。謂之。|

ひらちがま(火)(火打鎌) 打燧取火之具也。以鋼造之。加木把。

ひらちがね(名)(燧金) 同ひうちがま。

ひらちぶくろ(名)(燧袋) 小囊藏燧石及ほくち者也。

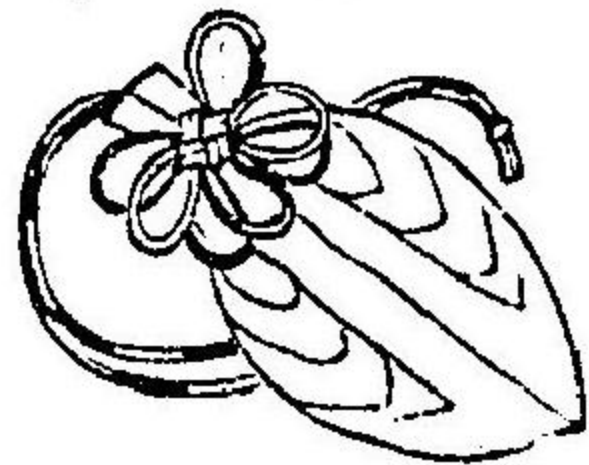
ひらち(名)(枯魚) 枯魚也。乾魚也。

ひらん(名)(微運) 數奇也。薄福也。ふしあはせ。ふうん(不運)。皆同。

ひえ(名)(瘡毒) 病名。梅毒也。關西方言。

ひえ(名)(稗) 稗也。五穀之一。稗子。野稗之略言。|まき(名)(稗蒔) 瓦盆盛土。播野稗種子。而使萌芽。以擬稻田風致者。都人士購置室內以快心目。

ひえき(名)(裨益) 裨益也。
 ひえつ(名)(披閱) 披閱也。|す(動)



ひらちぶくろ

ひが(同義) ひがみたる。
 (ひが) (名)(被害) 被害害也。
 (ひが) (名)(披講) 謂詩歌之會。披講各人所作。|す(動)

ひが(名)(鼻高) 佛僧所穿之沓也。一名はなたか。

ひが(名)(備考) 備考也。

ひが(活名)(觸) 觸。ひきかがみ之約言。膝後坐時所屈曲也。一名よぼる。よぼる。ひか。ひか。み。

ひが(活名)(火搔) 撥火杖也。鐵器出籠中殘火者。一名おきかき。盛炭火運移之器。一名じふのう。

ひが(名)(檜垣) 檜垣。以扁柏薄板編成者。

ひが(名)(比較) 比較也。同くらべあはす。|す(動)

ひが(名)(費額) 所費之金額也。

ひが(同義) ひりめ。
 ひが(活名)(日隱) 遮日光之帳子也。與ひおほひ。ひよけ同。

ひかげ(名)(日景) 陽也。謂日光射照之處。同ひなた。

ひかげ(名)(日陰) 陰也。謂日光爲物所遮之處。

ひかげ(名) ひかげかつら之略稱。

かつら(名)

(日陰)

古。新嘗會

大嘗會等時。祭神者。係於冠之左右者。

元用女蘿。後世代以白青絹絲。

一名(日陰葛) 女蘿也。一名さるをがせ。

又ひかげ。

ひがけ(活名)(日掛) 謂每日存若干錢。

ひがごと(名)(僻事) 非理之事也。又與あやまり同義。誤謬也。

ひがさ(名)(日傘) 涼傘也。遮日光之傘。一名ひがらかさ。

ひがし(名)(東) 東也。ひむかし之約言。

ひかた(名)(干潟) 斥鹵也。謂濱海沙地。

ひかた(名)(日方) 西南風也。

ひかちゆらしや(名)(皮下注射) 醫療



ひかげかひ

之一法。謂皮下注射藥水。

ひがのこ(名)(緋鹿子) かのこしほり之

緋色者。

ひがひ(名) 魚名也。はざ(沙魚)之異名。

近江州方言。

ひがひがし(形動) 不正也。不直也。

ひがひがし(形) 一さ(副)

ひかふ(動) 動は下二(控) 控制也。同

ひきとむ。謂待時機之來。

謂不盡所欲爲所欲言。うちばにす。ほ

どく(に)す。皆同。

謂當前有物。山を一前有山也。

ひかへ(活名)(控) 與前條同義。

私記也。存稿也。副本也。

ひがへり(活名)(日歸) 一日往還也。當

天回來也。

ひかへる(動) 動は下二(控) ひかふ之今言。

ひがみ(活名)(僻) 邪推也。同ひがむ。

ひがみ(名)(日髮) 日日新結髮也。

ひかりもの(名)(光物) 流星之類。謂凡有

光輝而流天空者。

ひかる(動) 動は四(光) 發光也。有光輝也。同

かやく。

ひかん(名)(脾疔) 病名。小兒胃腸之病

也。一名疔癆。

ひがん(名)(彼岸) 佛經之語也。以生

死喻海。未脫煩惱而迷於人間。謂此岸。已

得證果謂彼岸。即達菩薩三諦之地位也。同

涅槃。

日凡七日爲一。春分及秋分其前後各三

日之氣節爲一。

櫻之一種。早櫻也。春分彼岸開花。

ひが(名)(彼岸花) まんじゆしやげ之異名。

ひき(活名)(引) 牽引也。援助也。又與ひい

き同。

ひき(名)(蟻) 蛙類。蟾蜍也。腹大而性鈍。

棲於人家椽下。食小蟲。

ひき(添)(匹) 數禽獸蟲魚之語。馬五

匹。

ひがみ(名)(僻耳) 誤聞也。

ひがむ(動) 動は四(僻) 邪推也。非理之行

也。邪心也。ねじく。ひずむ。皆同。

ひがむ(動) 動は下二(僻) 使之邪曲也。同ま

ぐ(曲)

ひがもの(名)(僻者) 惡漢也。同わるも

の(惡者)

ひがら(名)(瞷眼) 眇也。一名すがめ。

ひがら(名)(日雀) 鳥名也。似四十雀。

小。頭及背紅。腹白。尾翅黑。

ひがら(名)(日次) 日子也。

ひがら(名)(日柄) 日之吉凶之謂。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

ひがら(名)(動) 動は上二(動) ひがらぶ之今言。

◎(同義) ばえ。

古語 俚語方言 (字音)

ひき

一五六五

馬五頭也。①錢二十五文爲一。②布二段爲一。

〔ひき〕〔名〕〔非義〕 非義也。

〔ひき〕〔名〕〔比擬〕 比擬也。同ひきくらぶ。一す〔動〕

◎〔同義〕 なぞらふると。

〔ひき〕〔名〕 墓之轉訛。奥羽方言。

ひきあぐ〔動か下二〕〔引上〕 ①牽而擧之也。②收軍而還也。③超擢也。謂擢而重用之。

ひきあけ〔活名〕〔引明〕 曉天也。黎明也。同よあけ。

ひきあはせる〔動か下二〕 ①ひきあぐ之今言。ひきあて〔活名〕〔引當〕 抵當也。かた。保證品。皆同。

ひきあはす〔動さ下二〕 ①引而合之也。②比較也。對照也。③紹介也。

ひきあはせむ〔活名〕〔引合〕 ①與前條同義。②檀紙無皺者也。上古斲書用之。後世檀紙不問皺之有無皆稱一。③紹介也。

ひきかふる〔動は下二〕〔引替〕 ①交換也。◎反對也。

ひきかへ〔活名〕 與前條同義。一す〔動〕

ひきかへしむ〔活名〕 ①與ひきかへす同。◎謂演劇一齣演了。不移時撤帳而演次齣。◎今時婦女盛服之表裏同者。

ひきかへす〔動さ四〕〔引返〕 ①回還也。同もどす。反復也。◎收還。同とりもどす。

ひきかへる〔動は下二〕〔引還〕 ひきかふ之今言。

〔ひき〕がへる〔名〕〔墓〕 蟻蝨也。同ひき。

ひきさりなし〔ひき〕さりなし〔形動〕 謂無間斷。たてつけるのべつ。皆同。一に〔副〕

ひきさりに〔ひき〕さりに〔副〕〔引切〕 急迫也。

ひきむすり〔名〕〔引藥〕 藥塗抹皮膚者。

ひきくむ〔動ま四〕〔引組〕 搏鬪也。

ひきあひひ〔活名〕〔引合〕 ①謂賣買之約成。◎連累也。同まさぞへ。

ひきあふむ〔動は四〕〔引合〕 ①謂賣買之成約。◎謂賣買而有利。◎謂勞而得其報。

ひきあみ〔名〕〔引網〕 網之一種。濱海漁魚之大網。同ちあみ。

ひきいれ〔活名〕〔引入〕 冠禮時。爲加冠之人。即烏帽子親也。

ひきうく〔動か下二〕〔引受〕 自任也。負擔也。承諾也。

ひきうけ〔活名〕 自任也。一す〔動〕

◎〔同義〕 うけもつ〔受持〕。

ひきうける〔動か下二〕 ひきうく之今言。ひきりす〔名〕〔碾〕 碾子也。粉碎穀類之石臼。

ひきねひひ〔活名〕〔引負〕 謂代人辦事。爲償其闕損。〔通欠。抵負〕

ひきねび〔名〕〔引帶〕 帶子之一種。袍。直衣等之帶子也。〔袴〕

ひきがね〔名〕〔引金〕 鎗火之機也。

ひきくるむ〔動ま下二〕〔引括〕 總括也。包括也。同まとむ。

ひきくるめる〔動ま下二〕 ひきくるむ之今言。

ひきこし〔活名〕〔引越〕 移居也。やうつり。〔家移〕てんきよ。〔轉居〕皆同。

ひきこす〔動さ四〕〔引越〕 ①超擢也。拔擢也。◎移居也。

ひきこぞ〔名〕〔引言〕 引證也。

ひきさく〔活名〕〔引裂〕 抉裂也。

ひきざくら〔名〕〔蕪夷〕 木名。やにれ之類。

ひきざん〔名〕〔引算〕 減算也。

ひきし〔形動〕〔低〕 低也。與ひくし同。

ひきしほる〔名〕〔退潮〕 退潮也。

ひきしほる〔動ら四〕〔引絞〕 謂將發矢而十分控絃。

ひきしやう〔名〕〔火起請〕 上古。使訟者蹈火以判其正邪。謂之一。

ひきしろふぶ〔動は四〕〔引合〕 曳地也。同ひきづる。

◎同義 ひこじろよ。

ひきずり〔活名〕(引摺) 謂裾曳地。嘲婦女

艶装之語也。(拉趾) 一もち〔名〕(引摺)

謂以應需携杵白至人家製茶。爲業者。

ひきずる〔動ら四〕 曳地也。

ひきね〔名〕(引板) ひきいた之略言。與ひ

た同。

ひきだし〔活名〕(引出) ①引而出也。②

抽斗也。抽匣也。

ひきたつ〔動た四〕(引立) 意氣奮揚也。外

觀太美也。又謂時勢商勢等之進進。

ひきたつ〔動た下二〕 ①獎勵也。激勵也。

②拘引也。③拔擢也。保舉也。

ひきたてる〔動た下二〕 ひきたつ之今言。

ひきぢや〔名〕(碾茶) 甄茶也。碾茶葉而爲

粉末者。和熱水而飲之。有濃茶淡茶之二

種。

ひきつく〔動ら下二〕(引付) ①謂小兒急

發病而氣息絕。同め(目)をまはす。②瘧

變也。

ひきつむ〔動か四〕(引繼) 繼續也。

ひきつけ〔活名〕 ①與前條同。②引率而

使面晤也。③謂遵前例處事。④鎌倉幕

府之時謂日記注時事。爲一。⑤ひきつけ

しゅう之略言。一しゅう〔名〕(引付衆)

鎌倉時代評定所下吏之稱也。一名引付方

奉行。掌注日記存政例。

ひきて〔名〕(引手) ①鈕子也。鋪首也。戸

ふすま。しやうじ等觸手開閉處。②警者

之相也。又凡導人者。一ぢや〔名〕(引

手茶屋) 花街茶館。導遊客於倡家者。

ひきでもの〔名〕(引出物) 謂饗贈所贈之

物。上古贈以馬。

ひきど〔名〕 戸之上下有溝。可自由左右行

者。一名やりと。

ひきとる〔動ら四〕(引取) ①取而保之也。

②死去也。

ひきひのひたひた〔名〕(細辛) 細辛

之古名。一名みらのねぐさ。

ひきはだ〔名〕(蓆皮) ①ひきはだかば之

ひきもの〔名〕(彈物) 凡琴瑟類。彈絃而發

音者之總稱。

ひきもの〔名〕(引物) ひきでもの之略言。

ひきもの〔名〕(挽物) 器具以ろくろがな

彫而所造之總名。一名旋器。

ひきやく〔名〕(飛脚) 急使也。同はやく

きやく。

ひきゆ〔動わ上二〕(牽) ひきぬる之轉訛。

ひきより〔名〕(比興) ①詩之比興也。②

謂比況而生興趣。

ひきよく〔名〕(秘曲) 音樂秘而不傳於人

之曲也。

ひきよもぎ〔名〕(引蓬) ①ははこぐさ之

一名。②草名也。葉似蓬。夏秋間開黃花。

一名鬼油麻。

ひきり〔活名〕(日切) 期限也。日期也。

ひきり〔名〕(緋桐) 緋桐也。桐之一種。產

暖地。高一二尺。葉圓而末銳。夏開花。一

名たうきり。

ひきりやうり〔名〕(引兩) 輪中有二橫畫

略言。一名しほみがは。①以蓆皮所製之

刀鞘也。

ひきはらふ〔動は四〕(引拂) 撤去也。

ひきふた〔名〕(引札) 招貼也。

ひきぶね〔名〕(引船) ①船以索牽者。②

元祿時代賤娼之異名。

ひきぼし〔活名〕(曳干) 海藻乾燥者也。

ひきまく〔名〕(引幕) 劇場橫披之幕也。

ひきまど〔名〕(引窓) 天窗也。穿屋取明之

窓。一名てんまど。

ひきまはし〔活名〕 ①德川幕府時。罪當

斬死以上者。縛之於馬上。牌記罪狀。巡行

都中及犯罪之地。然後行本刑。謂之一。

丸合羽ワカバ之一名。②鋸之一種。長七八

寸。濶五六分。用於伐竹。

ひきまゆ〔名〕(獨繭) ひとつまゆ之一名。

ひきまゆ〔名〕(引眉) 畫眉也。

ひきめ〔名〕(暮目) 木鏃也。圍五寸許。長

四寸許。有小孔五若六。射之成聲。以懾伏

妖魔。

者。足利氏徽章。

ひきれ(活名) ひきいれ之約言。器名。

ひきわけ(活名)(引分) 謂角觚技。力相敵

無勝敗。

ひきわた(名)(引綿) 衣中もめんわた之

上所施之蠶綿也。

ひきわたす(動カ四)(引渡) 謂張絲若

繩索。 交付也。

ひきわり(活名)(碾割) 麥屑也。謂碾割之

麥。

ひきふる(動カ四)(引) 引率也。同とも

のふ(帥將。以)

ひく(動カ四)(退) 退却也。まかるのく。

皆同。 罷官也。

ひく(動カ四)(引) 引而近之也。

ひく(動カ四)(牽) 使牽而從也。牽牛之牽。

(挽)

ひく(動カ四)(引) 抽出也。 曳地也。

畫也。土工建築等先規畫而圖之。謂一

圖。 延也。張也。幕を張幕也。 以

術驗人意中謂。 謂控弦彎弓。 庇

護也。推引也。與最負同。 索引也。檢

字書搜字謂。 塗抹也。 省減也。同

へらす。 謂贈ひきでももの。 振也。拔

取也。小松を振取稚松也。 冠動詞

上以強其意之語。 「受く」「替ふ」「連

る。

ひく(動カ四)(彈) 彈也。琴を彈琴也。

ひく(動カ四)(挽) 鋸切也。謂以鋸割木。

以輻輳若鉋造ひきもの亦謂。

ひく(動カ四)(碾) 謂碾而磨碎穀物。

ひく(名) 器編繩索而所作者。沓之類。

入魚之竹器。漁者腰之。魚籃也。

ひく(名)(比丘) 梵語。乞丐之義。僧也。女

僧稱比丘尼。又爲ひくに之略言而用。

ひくい(形動)(低) 低也。同ひくし。

ひくし(形動)(低) 矮也。短身也。 卑

賤也。 謂聲音不揚。

ひくち(名)(火口) 火門也。火鎗之一部。

ひくつ(名)(卑風) 卑風也。同いくちな

ひぐるま(名)(火車) 草名也。ひまはり草

之一名。

ひく丸(活名)(日暮) 日暮也。

ひくわし(名)(乾菓子) くわし之一種也。

なまぐわし之對。

ひくわん(名)(被管) 謂部下官僚。

ひくわん(名)(悲觀) 豫想事不成謂。

一す(動)

ひけ(活名) 引也。 勝負之負也。敗

也。又氣怯也。まけ。おくれ。皆同。 同

めり。減也。 袂斜。謂夜半後爲。

ひげ(名)(髭) 在唇上之髭。曰うはひげ。

在頰之鬚曰したひげ。在頰之髻曰ほしひ

げ。 謂獅猫虎等毛生於口邊長而銳者。

ひげ(名)(卑下) 自卑下也。謙遜也。同へ

りくだる。

ひびき(名)(尾擊) 尾擊也。追擊也。

す(動)

ひびき(名)(悲劇) 演劇脚色之一種。謂

演薄命不幸悲痛可憫之事者。

し。

ひくづ(名)(簸屑) 糠粃也。箕簸穀類而

所出。

ひくつ(動カ四) 恐怖也。畏懼也。同ひ

くくす。

ひくて(名) 誘引者也。

ひくは(名)(比丘尼) 女僧也。尼也。同あ

ま。

ひく(動カ四)(名) 惴惴也。戰戰兢兢也。

と(副)

ひく(動カ四)(名) 駝鳥之一種

也。産於東印度諸島及濠洲。頭上有毛冠。

健脚而能奔馳。一名かぞある。いしわり。

かつわる。食火鷄。

ひくま(名)(罷) 罷也。しぐま之誤。

ひくらら(名)(非藏人) 古官名也。

藏人所之下僚。在殿上辦侍臣雜役。

ひくらし(活名)(日暮) 蟬之一種也。秋多

鳴於日暮。一名寒蟬。晚蟬。寒蟬。茅蜩。

ひくらし(副)(日暮) 終日也。同ひれもす。

ひやし〔活名〕(火消) ●消火也。●消火

夫也。以止失火爲職者。一名消防夫。一

つぼ〔名〕(火消壺) 消炭火之壺。

ひけつ〔名〕(秘結) 醫語。謂大便滯而不

出也。同けつし。

ひけつ〔名〕(否決) 謂衆議決定爲不可。

ひけつ〔名〕(秘訣) 秘訣也。

◎(同義) おくのて。

ひけふ〔名〕(卑怯) ●怯懦也。又謂性

易恐怖。●心術卑陋也。

ひける〔動ら四〕(引) ●退散也。●おつ

(怖)之今言。

ひげをどとこ〔名〕(鬚男) 有鬚男兒也。

ひけん〔名〕(披見) 披見也。一す〔動〕

ひけん〔名〕(鄙見) 鄙見也。謙語。

ひこ〔名〕(彦) 古男子之通稱。

ひこ〔名〕(孫) 孫也。子之子也。うまひ。ま

ひこ。皆同。

ひこ〔名〕(曾孫) 曾孫也。前條之轉訛。ひま

ひこ。ひいまひ。皆同。

ひこ〔名〕(小舌) 在口奧。上垂而開閉自在。

以防食物入咽喉之肉柱也。

ひこ〔名〕(籬) ひげ之轉訛。編籠之竹材也。

ひこ〔名〕(卑語) 鄙語也。謂言語不雅者。

いやしきことば。さとびことば。皆同。

ひこく〔名〕(被告) 被告。爲所訟者也。原

告之對。

ひこじろふ〔動は四〕(牽) 相牽也。又

與ひきする同。曳地也。

◎(同義) ひきしるふ。ひこつらふ。

ひこずるき〔名〕(肥後芋苜) 蓮芋イモ莖之

乾涸者也。

ひこたい〔名〕(平江帶) 草名也。元出於漢

土平江。故名。葉似野薊アザミ而無刺。有白毛。

夏秋間開花。紫而球狀。一名單洲漏盧。

ひこづらふひこつ〔動は四〕(牽) 相牽也。ひ

こじろふ。ひきじろふ。ひきづる。ひっぱ

る。皆同。

ひこばえ〔名〕(蘗) 蘗也。孫生ひこ之義。謂

斷株所生之芽。

ひこひひ〔名〕(緋鯉) 金鯉也。鯉之色赤者。

多養於園池。

ひこひふひ〔名〕(非業) 非業也。佛家之語。

與非命同。

ひこぼしし〔名〕(彥星) 牽牛星也。一名い

かひぼし。

ひこる〔名〕(擔) 漢土量目名。抵日本十六

貫二百四十三匁許。

ひころ〔副〕(日頃) 日來也。

ひころ〔名〕(失聲) 病名。聲不出之病。

ひぎ〔名〕(膝) 膝也。

ひさい〔名〕(微細) 微細也。又細密。綿密

之義。ことこまかに。くばしく。皆同。一

は〔副〕

ひさりり〔名〕(皮相) 皮相也。同うは。

ひざりり〔名〕(秘藏) 秘藏也。

ひざりり〔名〕(非常之古言)

ひざりり〔名〕(砒霜石) ●礦物之名

含有劇毒。●砒石也。一名亞酸化砒素。

ひさかさ〔名〕(杓) 榊サカ之一種。祭神所

供之木也。一名ひししやかき。ひししやしや

け。あくしば。

ひざかけ〔活名〕(膝掛) ●布掩腰下前半

者。與まへだれ。まへかけ同。●坐車上

蔽膝之布也。

ひざがしらら〔名〕(膝頭) 膝頭也。一名ひざ

かぶ。

ひさかたの枕〔枕〕(久方) 天及都之冠辭。

ひさきき〔名〕(楸) 木名也。直幹聳立。上生

枝。葉似桐。有五尖。一尺許。夏開花。有紫

點。葉長尺餘。

ひさくく〔名〕(ひさくく之轉訛。同ひしやく。

ひさぐぐ〔動か四〕(鬻) 鬻也。賣也。同うる。

(販)

ひさぐぐ〔動か下二〕(提) ひさぐぐ(引下)之

略言。提携也。さげる。ひさぐぐ。皆同。

ひさくがたた〔名〕(柄杓形) ●佛家置塔上

之寶珠也。一名火珠。●物似柄杓者之稱。

ひざくらら〔名〕(緋櫻) 櫻之一種也。花小而

四瓣。莖長而垂。其苔鮮紅。

ひさび〔活名〕(提子) 盛酒而注盃之器也。有弦可提。一名注子。

ひさご〔名〕(杓) ①上古。汲水之器。深於今之杓子。②後世謂ひしやく爲一。

ひさご〔名〕(瓠) 胡盧也。ゆふがほ。ふくべ類之總名。(瓠。瓢) 一りり〔名〕(瓠瓜) 瓠瓜也。からすうり之一名。

ひざざら〔名〕(膝皿) 膝頭之骨也。圓而似皿。あはた。ひさのかしら。ひさのかはら。あはた。膝骨。膝蓋骨。皆同。

ひざし〔名〕(庇) 日鎖^{ヒサシ}之義。①上古。家屋之構造。本屋四面有狹室。謂之一。②後世。軒頭更附軒。謂之一。房櫺也。

ひざし〔形動〕(久) 久也。一さ〔形名〕一さ〔形〕 一く〔副〕

ひざし〔活名〕(日差) 謂日光射照。

ひざしい〔形動〕(久) ひざし之今言。

ひざしふり〔活名〕(久振) 久瀾也。謂一別經時。

ひざつ〔名〕(飛札) 急使所致之書牘也。

ひざつぎ〔活名〕(膝突) ①茵之大抵疊^{ヒザツギ}半片者。上古用之。②學歌舞俗樂。納於師之束脩謂一。京阪方言。

ひざのかはら^{ヒザノカハラ}〔名〕 ひざざら之一名。

ひざまくら〔名〕(膝枕) 謂枕他膝而睡。

ひざまづく〔動か四〕(跪) 跪坐也。

ひざめ〔名〕(大雨) 大雨也。甚雨也。同おほあめ。

ひざめ〔名〕(水雨) 霪也。一名ひょう。

ひざもと〔名〕(膝元) ①謂膝之近邊。轉爲近於身之義。②此上加敬語。爲帝都。

葷殿之下也。③謂父母之膝下。謂與父母同栖。

ひざら〔名〕(火皿) ①鎗之盛火藥處。一名火藥口。②煙管之盛煙草處。烟袋鍋兒也。

ひし〔名〕(菱) ①水草名也。根在水中。葉叢生浮水面。其實有稜。秋熟爲黑色。仁白而可食。曰菱實。②斜角也。兩角鈍。兩角銳。似菱實形者。

ひし〔名〕(蘆) 漁人刺魚之具。

ひし〔名〕(叉簇) 武器名。其首爲岐狀。以鐵製之。有長柄。一名さすまた。

ひし〔名〕(鐵蒺藜) 武器。鐵製多刺者。一名さかもぎ。

ひし〔名〕(非時) 僧家謂午後之食爲一。

ひし〔名〕(美事) 美事也。

ひし〔名〕(活名) (引敷) 茵也。一名しとれ。

ひし〔名〕(火敷) 置炭火上。焚香其上之具。以雲母片製之。與香敷^{ヒシ}同。

ひじき〔名〕(鹿尾菜) 海草名也。長二三寸。似鼠尾而黑。可食。一名羊栖菜。

ひしぐ〔動か四〕(拉) 摧也。折也。拉也。

ひしぐ〔動か下二〕 爲所挫碎也。

ひしくひ^{ヒシクヒ}〔名〕(鴻) 菱食之義。鳥名。鴻也。大於雁。翅深黑而腹白。背及頸爲淡黑褐色。好食菱實。故名。一名おほかり。

ひしびる〔動か下二〕 ひしぐ之今言。

ひしと〔名〕 ひしこいわし之略稱。一い

はし〔名〕(鯢) 小魚似鱈者。乾燥爲たつくり。一名ひしこ。しこ。馬紫。

ひしづめのまつり〔活名〕(鎮火祭) 昔陰曆六月十二月所行之祭事。以防火災。

ひしと〔副〕(緊) 狀被壓伏而所發悲鳴聲之語。

ひしと〔副〕(緊) 前條轉訛。強也。烈也。無間斷也。

ひしぬ〔動か變〕(乾死) 餓死也。

ひしは^{ヒシハ}〔名〕(葦菹菜) 草名也。有雌雄。一名すまふとりぐさ。かやつりぐさ。しげり。

ひしは^{ヒシハ}〔名〕(菱灰) 燒菱實所取之褐灰也。用於香爐。

ひしほ^{ヒシホ}〔名〕(醬) 醬也。醃也。炊小麥豆糲和鹽而製之。

ひしめく〔動か四〕(聳) ①謂音聲可聽取。②騷擾也。

ひしもち〔名〕(菱餅) もち裁爲斜方形者也。重三節用之。

ひしや〔名〕(飛車) 將基^{ヒシヤ}子之一也。有

縱橫飛行之能。

(ひじやうり) [名] (非常) 非常也。異常也。

(ひじやうり) [名] (非情) 謂木石之類。

(ひじやうり) [名] (微傷) 微傷也。輕傷也。すしのみきず。かすりきず。うすて。皆同。

(ひじやうり) [名] (非常救) 謂國有吉凶禍災等時。悉救全國罪囚。

(ひじやかき) [名] (杓) ひさかき之訛。

(ひじやく) [名] (柄杓) ①杓子也。用汲水。

②娼女之異名。

(ひじやく) [名] (飛錫) 謂僧之旅行。あんぎや。雲水。皆同。

(ひじやく) [名] (杓) ひさかき之訛。

(ひじやくもん) [名] (毘沙門) 梵語。吠室羅摩拏之轉訛。譯曰多聞。佛教四天王之一也。守護北方之神。一名多聞天。七福神之一。

(ひじゆ) [名] (七首) 七首也。一名あひくち。

(ひじゆかつま) [名] (毘首羯磨) 古代印度

善彫刻之人也。好刻佛像。後世崇而爲佛。(ひじゆつ) [名] (秘術) 秘術也。同おくのて。

(ひじゆつ) [名] (美術) 藝術發揮自然之妙者。即詩歌音樂繪畫彫刻建築等是也。

がく [名] (美術學) 研究美術之理之學。しん [名] (美術心) 解得藝術之趣味之心。

(ひじゆん) [名] (批准) 批准也。謂判決可否而准之。多用於天子認可大臣締結之條約。

(ひじよ) [名] (避暑) 避暑也。

(ひじよ) [名] (秘書) 秘藏之書也。いくわん [名] (秘書官) 官名也。專屬於各省大臣。掌其秘密文書。

(ひじよく) [名] (非職) 在官而無勤務之稱。散官也。

ひじり [名] (聖) 如日神無所不知之義。①聖人也。聖天子也。②謂凡一技一能超越於人者。有歌聖詩聖等。③漢土。清酒

之異名。④高德之僧也。

++ひじる [動ら四] 前條之活用爲動詞者。謂學而爲聖。

ひしろ [名] (種代) 伊勢大廟安神主之器也。純金製之。楕圓形。一名みひしろ。

(ひじん) [名] (美人) 美人也。麗人也。同たをやめ。いさうが [名] (美人草) 虞美人草之略。一名ひなげし。麗春花。虞美人草。錦被花。いせう [名] (美人蕉) 草名。一名紅蕉。産於琉球。

ひす [動さ變] (比) 比較也。同くらぶ。

◎(同義) なぞらふ。

ひす [動さ變] (秘) 秘密之也。ひむ。かくす。皆同。

(ひすい) [名] (翡翠) ひすい之轉訛。鳥名。

++ひすかし [形動] (驚) 心事邪曲也。同かたまし。

++ひすきも [名] (鹿尾菜) ひじき之古名。ひすけ [名] 英語 Biscuit 西洋點心之一。加牛乳製之。

ひすてりい [名] (女病之名也。憂鬱自苦。

ひすたる [名] (短銃) 英語 Pistol 手鎗也。一名拳銃。又對面笑。

++ひすまし [活名] (種洗) 上古。掃除禁中厠房之賤女也。

ひずみ [活名] (歪) 同ひずむ。

ひずむ [動ま四] (歪) 歪也。失正形也。いびつになる。かたよる。皆同。

(ひする) [翡翠] ①鳥名也。一名かばせみ。②鳥尾之長羽也。③謂婦女頭髮之有光澤。

(ひせい) [名] (美聲) 美聲也。

(ひせう) [名] (微笑) 微笑也。同ほろみわらふ。

(ひせう) [名] (美少年) 美少年也。

(ひせき) [名] (砒石) 礦物之名。含有劇毒。一名礬石。又砒霜石。

(ひせき) [名] (肥瘠) 肥及瘠也。

ひせめ [活名] (火攻) 火攻也。同やきうち。

ひせめ [活名] (火責) 以火拷問罪人也。

(ひせん) (名) (被選) 被選舉也。

(ひせん) (名) (皮癬) 病名。疥癬也。痒甚。易傳染。

ひせんがさ (名) 與前條同。

(ひせん) (名) (眉尖刀) 薙刀也。一名なきなた。

ひせんやき (活名) (備前燒) 備前州和氣郡伊部村所産之陶器也。質堅。青而饒雅致。

(ひそ) (名) (檢會) 或擬以檢楚字。扁柏之材也。同こまるた。

(ひそ) (名) (砒素) 元素之一也。含有於砒石中。

(ひそ) (名) (鼻祖) 先祖也。始祖也。又開始也。

ひそか (形名) (竊) 隱密也。秘密也。ないしふう。こっそり。皆同。一に(副)

(ひそく) (名) (秘色) 青磁之陶器也。染色之名。瑠璃色。

(ひそく) (名) (鼻息) 鼻息也。同はない

き。不能自主。視人之意思爲事。謂窺也。

ひそひそ (名) (秘密) 秘密也。しのびやか。こっそり。皆同。又細細之義。一と(副)

ひそまる (動ら四) (潛) 潛伏也。就眠也。

◎ (隱義) かくる。しづかになる。ひっそりとなる。おちつく。

ひそみ (活名) 蹙眉也。蹙也。

ひそむ (動ま四) (潛) 潛匿也。同かくる。

ひそむ (動ま四) (蹙) 蹙也。老人聲不揚也。

ひそむ (動ま下二) (潛) 潛匿也。

ひそめく (動か四) 密語也。私語也。同さやく。

ひそやか (形名) 密也。同しのびやか。一に(副)

ひぞる (動ら四) (乾反) 乾燥而彎曲也。

ひた (名) (引板) 同ひきた。

ひた (副) (直) 專也。純一也。與ひたすら。うちつけに同。

ひた (名) (壁積) 壁積也。摺織也。

ひた (名) 鐵錢也。

(ひた) (名) (緋桃) 桃花之鮮紅者。

(ひた) (名) (非道) 非道也。非理也。

ひたねもて (名) (直面) 率直也。婉曲之反。同うちつけ。

ひたかぶと (名) (直兜) 謂甲士同裝者。

ひたき (活名) (火燒) 上古。家之内外。燒篝火以照夜暗。謂之。一。爐之古名。

ひたきや (名) (火燒屋) 焚火之小屋。

ひたき (名) (鱗) 鳥名也。大如雀。有白斑。領黑。背及翅俱紅。秋末來。善嚙。

ひたじ (活名) (撥出) 箕箒之屑也。

ひたじもの (名) (浸物) 投蔬菜於熱水。後漬於醬而食者。

ひたす (動さ四) (養) 養育也。

ひたす (動さ四) (浸) 浸潤也。

ひたすら (名) (副) (只管) 一向也。一途也。專心也。ひとむき。ひたもの。皆同。一に

(副)

ひたた (形名) (纒) 纒也。同わづか。

ひたたく (動か下二) (酒) 無檢束也。無裝飾也。

ひたたれ (活名) (直垂) 古庶人之服也。後世以爲禮服。如圖。

ひたち (活名) 謂出產若疾病後。漸次復壯健。

ひたちねび (名) (常陸帶) 上古。正月十四日。常陸州鹿島祠祭日。男女各記所思慕之人名於帶子而獻神。以下婚姻之成否。其帶子謂之。

ひたつ (動た四) (日立) 謂逐日成長。

◎ 謂疾逐日而蘇快。

ひたど (副) (直) 無間隔之謂。直也。緊也。密也。同ひたり。

ひたひ (名) (額) 額也。眉上之廣地。

ひたひ (名) (額) 額也。眉上之廣地。◎ 婦女裝飾之具也。髮之類。◎ 冠之當額處



〔れたたひ〕

亦謂一。④凡物突出之處。一かぬ(名) 戰陣所用之帕首。當額處加鐵者。一名題鐵。一がみ(名) (額髮) 額上之髮也。一名ぬかがみ。まへがみ。前髮。一じろ(名) 馬之額白者。一名つきじろ。一つき(名) 謂額狀

ひたひ(名) (干鯛) 鯛之加鹽而乾涸者。 古。飛驒多出巧匠。故爲凡木匠之稱。

ひたふる(名) (頓) 專心也。與ひたすら同。(一向)

ひたみち(名) (直路) 直前也。當事不顧視之謂。ひとすぢに。いちづに。皆同。

ひため(名) (大雨) 大雨也。ひさめ。おほあめ。皆同。(氷雨)

ひたもの(名) (副) (頓) 專一也。與ひたすら同。

ひたや(名) (活名) (直隱) 隱栖也。蟄居也。

ひたら(名) (干鱈) たら(鰈魚)之乾燥者

也。

ひたらず(動) (動) (日足) ひたる之敬語。成長之謂。

ひだり(名) (左) ①左也。右之反。②謂飲酒也。左手舉杯。故云。一がな(名) (左假名) 同ふりかな。施文字左側者。(傍訓) 一

さき(名) (左利) ①謂天性左手利於右手。②謂嗜酒。一のうまのつかさ(名) (左馬寮) 古。官名。一のみさとのつか

さ(名) (左京職) 古。官名。一まへ(名) (左前) ①左衽也。②謂每事與豫期違。薄命也。不運也。一もじ(名) (左文字) 背字也。

ひたる(動) (動) (浸) 浸也。漬也。 ①(同義) ぬれとはる。つかる。

ひだるい(形) (形) (動) ひだるし之音便。

ひだる(形) (形) (動) (饑) 餓也。謂不得食而困苦。同ひもじ。一さ(形) (形) 一さ

ひたれ(名) (膠) 鳥之尾肉也。一名あぶら

しり。

ひたん(名) (悲歎) 悲歎也。

ひぢ(名) (肱) ①肱也。肘也。臂也。②凡物曲而突出者。皆呼爲一。

ひぢ(名) (泥) 泥也。同どろ。

ひぢかけ(活名) (肘掛) 同けふそく。一まど(名) (肘掛窓) 窓之一種。

ひぢかさ(名) (肘笠) ひぢかさあめ之略稱。一あめ(名) (肘雨笠) 驟雨也。

ひぢかね(名) (肘金) 同ひぢつば。

ひぢぎ(名) (肘木) ①枅也。柱上横木支とがた者。一名うでぎ。②ひきうす之把子。

ひぢぢ(名) (曾祖父) 曾祖父也。祖父母之父。

ひぢぢか(名) 謂性溫柔易親。一に(副) 團。一名肘托。

ひぢつば(名) (肘壺) 戸樞之一種。鉸也。ひぢで(名) (肘鐵砲) 峻拒也。拒絶也。

ひぢまさ(活名) (臂卷) 同くしろ。古。臂之裝飾也。

ひぢまくら(名) (肱枕) 曲肱枕之也。ひぢやうぎ(名) (種定木) ぢやうぎ之面刻細溝者。

ひぢゆう(名) (微衷) 微衷也。同寸志。 ①(同義) ぶす。

ひぢよがね(名) (鉸具) 同ちからがね。一名びとうがね。又か。

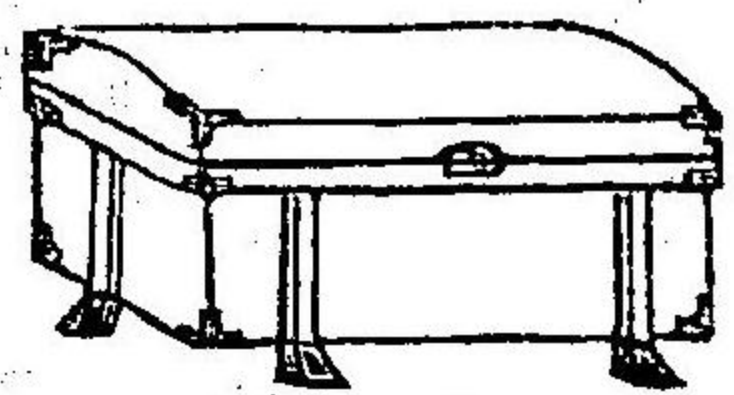
ひぢぢら(名) (鱒鱒) 古食物之名。以麩製之。

ひぢりき(名) (筆簪) 雅樂之樂器。ひぢりこ(名) (泥) 泥也。こひぢ。どろ。ひぢ。皆同。

ひぢりめん(名) (緋縮緬) 緬綱之鮮紅色者。

ひぢをる(動) (動) (肘折) 謂屈折如曲肱。

ひつ(名) (櫃) 匣之大而有蓋者。皆謂之一。(櫃) 匣。櫃。



ひ 櫃

(ひつ)〔名〕(瀾) 官名。彈正臺之次官。
ひつ〔名〕(氷頭) 鮭。鯨等之頭蓋骨也。透明而脆。可食。

†ひつ〔動上二〕(漬) 濡也。漬也。ぬる。ひたる。ぬらす。ひたす。皆同。
(ひつ)〔名〕(筆意) 筆致也。

◎(同義) よつつかひ。
†ひつ(き)〔活名〕(日次) 日日之貢物。

ひつ(き)〔活名〕(日嗣) 繼承日位之謂。日本天子。其先出於日神。故謂天位爲「日繼皇統」。

ひつ(き)〔名〕(棺) 棺也。柩也。
ひつ(く)〔動か四〕(乾付) 乾溷也。同ひからぶ。

ひつ(け)〔活名〕(火付) 謂放火焚人家。
ひつ(け)〔活名〕(日付) 信書文件記入其月日謂之「日」。

ひつ(げ)〔活名〕(日着) 往某地。一日到達之謂。
ひつ(じ)〔名〕(羊) 獸名。羊也。

ひつ(じ)〔名〕(未) ①十二支之第八位。②時刻之名。今之下午二點鐘也。③方位之名也。南西間之少偏於南處。一「さる」〔名〕〔未申〕西南之間也。一名坤。

(ひつ)〔名〕(必然) 必然也。
(ひつ)〔名〕(筆道) 書字之法也。同ふでのみち。

(ひつ)〔名〕(筆談) 筆談也。
†ひつ(ぢ)〔名〕(櫓) 已刈後。復生之稻也。一名ままげえ。おろかおひ。ひつ(ぢ)ほ。(稻孫)

(ひつ)〔名〕(必也) 必也。かならず。きつと。たしかに。皆同。
ひつ(め)〔名〕(蹄) 蹄也。

(ひつ)〔名〕(必用) 必要也。必需也。
†ひつ(ら)〔名〕(みづら) 潤筆也。

(ひつ)〔名〕(筆勢) 筆力也。筆勢也。
(ひつ)〔名〕(否定) 論理學之語。謂斷定爲不然。一「ず」〔動〕

(ひつ)〔名〕(尾骶骨) 脊骨下端。高出於肛上者。一名かめのを。こくしす。

ひつ(り)〔活名〕(旱) 謂夏日無雨。旱魃也。
(ひつ)〔名〕(批點) 批點也。

(ひつ)〔名〕(秘傳) 謂藝術之蘊奧不濫授於人者。同秘訣。
(ひつ)〔名〕(悲田院) 上古。救養貧病者棄兒等之處。

ひつ(人) ①人也。一名にんげん。②世人也。③他人也。謂族戚以外之人。又謂不與俱事之人。同たにん。④成長者也。大人也。⑤謂人之性情爲「」。⑥與或字其字同義。「一とせ」某歲也。

ひつ(人足) 謂人之往來。
(ひつ)〔形動〕 ひつ(し)之音便。

ひつ(副) 決然也。斷然也。
ひつ(人請) 謂薦人保之。

ひつ(人垣) 衆人列植如垣牆也。

ひつ(人影) 人影也。
†ひつ(人頭) 觸體也。一名さわかう。

ひつ(人数) ①人之數也。②謂人在屈指而數之中。
◎(同義) にんぞ(人数)。にんとう(人頭)。

ひつ(人形) ①偶人也。兒女玩具之一。同にんぎやう。②祓除所用之尸也。

ひつ(副) (不一方) 百方也。過分踰等之謂。ひととほりならず。ななめならず。皆同。

ひつ(人買) 擡他人兒女而賣之者。
(ひつ)〔名〕(人柄) 人品也。又謂丰容高雅之人。

†ひつ(棺) 棺也。ひつ(き)くわん。くわんをけ。皆同。
ひつ(人聞) 謂爲人所聞。謂漏聞於外間。

ひつ(副) (二際) 一段也。一層也。

◎(同義) ひときた。ひとしは。

ひとさきり〔活名〕(人斬) 劊手也。一名くびきり。一ばらちやうり〔名〕(人斬庖丁) 刀之異名。方言。

ひととくさ〔名〕(人草) 蒼生也。黎民也。

ひととくち〔名〕(一口) 謂一口喫盡之。◎謂二概論去。◎一言也。

ひととくに〔名〕(他國) 他邦也。異邦也。

ひととけ〔名〕(人氣) 靜寂中如有人在。謂之。

ひとけい〔名〕(日時計) 日晷儀也。臺上立針。日晷移則針影從移。以計時刻者。

ひとところち〔名〕(人心地) 同ひとところ。

ひとところ〔名〕(人心) ①人心也。◎人情也。情愛也。◎謂人之生氣。一がつく。謂蘇生。同よみがへる。

ひとこと〔名〕(人事) ①他人之事也。◎世事也。

ひとことのかみ〔名〕(首長) 上古。謂一群之長。

ひととみ〔活名〕(人込) 雜沓也。謂人群雜

還之場。

ひととろし〔活名〕(人殺) 殺人也。

ひとさかり〔活名〕(二盛) 少時之盛觀也。

ひとさしのねよび〔名〕(人差指) 同ひとさしゆび。

ひとさしゆび。

ひとさしゆび〔名〕(人差指) 食指也。謂

手之第二指。

ひととさま〔名〕(人狀) 人品也。同ひとがら。

ひとし〔形動〕(均) 均也。齊也。等也。

ひとし〔形動〕(非道) 殘酷也。同むじし。◎甚也。

ひとしきり〔副〕(二頻) 一時也。一陣也。

ひとぢち〔名〕(人質) 質子也。戰國時代誓

約。強必要弱之質。不必其子。或以妻或以兄弟。

ひとしなみに〔副〕(等) 同也。一齊也。

ひとしほれ〔名〕(一鹽) 魚及蔬菜鹽醃之

淡者。

ひとしほれ〔副〕(二入) 一層也。一段也。ひとまは。ひときた。皆同。

ひとずき〔名〕(人好) 爲人所好也。

ひとたつ〔動た四〕(人立) 謂長育成入。

ひとたぬ〔名〕(人種) ①一地方之人口也。◎人也。◎人種也。

ひとたのみ〔活名〕(人頼) 謂頼他人之力。

ひとたのめ〔活名〕(人頼) 如真情可頼。而實輕薄者。

ひとたま〔名〕(人魂) 青燐爲球狀而飛行

者也。昔人以謂幽魂冤鬼。故一名人魂火。

ひとたまひ〔活名〕(人給) 後乘也。副

車也。同そへぐるま。

ひとつ〔數〕(一箇) ①數之始。一也。同いち。◎一個也。一個也。單獨也。◎相似

如同一物之義。一がき〔活名〕(一箇書) 謂

條列記之。文式之一種。

ひとづき〔活名〕(人付) 謂接人而和易。

ひとづて〔名〕(人傳) 寄語也。傳語也。同

ことづて。

ひとつば〔名〕(一葉) ①草名也。生山中。葉深綠而冬不枯。採其根。縮而懸檐際。一名石草。又いばかは。◎草名也。懸垂山谷而生。葉長三寸。幅五六分。蒂細。面深綠而有小金星。冬不枯。一名。からひとつば。又金星草。

ひとつばし〔名〕(一橋) 獨木橋也。一名まるきげし。

ひとつひる〔名〕(獨子蒜) にんにく之古

名。

ひとつふて〔名〕(人礮) 謂捉人投擲之如

投石。

ひとつぼし〔名〕(一星) 暮天初見之星也。又曉天之殘星也。

ひとつづま〔名〕(人妻) 他人之妻也。

ひとつまつ〔名〕(孤松) 孤松也。

ひとつもり〔活名〕(雲之異名) 雲之異名。

ひとつゆ〔名〕(孤屋) 一家在山中若野中

者。ばなれや。いけんや。皆同。

ひとで〔名〕(二手) ①謂獨力所爲。◎謂

集而爲一。

ひとで(名)(人手) ●人力也。●他人之

援助也。

ひとで(名)(人手) 介名也。産於日本沿岸

各地。形如楓葉。一名海盤車。又可車。

ひととなり(活名)(爲人) 性質也。其爲

人也。孝弟之爲人。うまれつき。たちも

ちまへ。皆同。

ひととほり(活名)(一通) 尋常也。よの

つれ。ふつう。なみ。皆同。

ひととほり(副)(一通) 一回也。

ひととほり(活名)(人通) 謂人之往來。

同わうらい。

ひとなか(名)(人中) 衆中也。稠人廣座也。

ひとなだれ(名)(人頹) 謂群衆之一時壓

到。

ひとなみ(活名)(人並) 尋常也。謂與他無

甲乙。

ひとなる(活名下二)(人馴) ●謂巧於交

際。●謂禽獸能與人馴。

ひとの(名)(械殿) 厠之古名也。かばや。

せつりん。皆同。

ひとばしら(名)(人柱) 上古。架橋難成

功時。祈河神。以生人爲犧牲。埋之海底。然

後立橋柱。謂之。

ひとばな(名)(人膚) ●人膚也。●謂人

膚之溫。

ひとはな(名)(二花) ●一輪之花也。●

一時之榮華也。

ひとばら(活名)(人拂) 謂屏左右而

密語。

ひとひ(名)(一日) ●一日也。同いちにち。

●月朔也。同ついたち。

ひとびとし(形動)(人人) 謂與尋常人同。

同ひとなみ。

ひとひめ(活名)(太白神) 一日周回

之義。陰陽家所祭之神。而金之精也。崇而

爲大將之象。司兵凶。●謂特書之。●謂

假識之。

ひとへ(名)(一重) ●不重複也。單純也。

●一心也。いちづ。ひとむき。皆同。●單

衣也。●花之單瓣也。

ひとへきぬ(名)(單衣) ●單衣也。暑

衣也。一名ひとへもの。●古禮服下襲之

衣曰。

ひとへに(副)(偏) 一向。一途。專念之

義。與ひたすら。ひとすぢ同。

ひとへもの(名)(單物) 單衣也。暑衣

也。

ひとぼし(名)(火燈頃) 黄昏也。人

家將點燈之時。

ひとま(名)(人間) 人不視之頃也。

ひとまじはり(活名)(交際) 交際也。

ひとます(名)(人樹) 城之曲堡也。

ひとませ(活名) 謂他人之參與。

ひとまつ(副)(一先) 一回也。一旦也。

ひとまへ(名)(人前) 衆中也。外觀也。

(外見)

ひとみ(活名)(瞳) 瞳子也。同眸睛。

ひとみ(名)(人身御供) 古以人

身爲犧牲供神者。

ひとみしり(活名)(人見知) 謂幼兒見人。

或喜或泣。

ひとめ(名)(人目) 衆目也。

ひとめ(名)(一目) 一見也。

ひとめかし(形動) 若成人之義。一さ

〔形名〕一さ〔形〕一く〔副〕

ひとめかす(動三四) 謂務若成人。

ひとめじ(名)(一文字) 惹之異名。

ひとや(名)(囚) 獄也。收置罪囚之舍。か

んこく。らうや。皆同。

ひとやど(名)(人宿) 以紹介雇者於主人

爲業者。

ひとやり(活名) 謂放任他人而使成事。

ひとやり(活名)(人造) 謂遣人於某地。

ひとよき(活名)(一節切) 笛之一種也。

似尺八。而長一尺八分。取竹之一節作

之。故名。或云洞簫即是也。

ひとよき(名)(一夜酒) 酒之一夕釀

成者。

ひとよせ (活名) (人寄) ①ひとよせせき

之略稱。②謂多招徠人。一せき (名) (人

寄席) 招徠衆人演各種技藝或奏音樂之

場。一名よせせき。ひとよせ。よせ。

ひとよづま (名) (一夜妻) 娼婦之一名。

ひととらじ (形動) ①如人也。②謂知人

道。一さ (形名) 一さ (形) 一く (副)

ひととり (活名) (火採) 香爐之一種也。外用

木而內用陶。有銅蓋。一名薰爐。

ひとり (名) (二人) 一人也。

ひとり (名) (獨) 孤獨也。

ひとり (活名) (日取) 謂期日。卜日也。謂

擇吉日而定之。

ひとりこと (動) (獨) 獨言也。獨語也。

ひとりこと (名) (獨言) 獨語也。

ひとりたち (活名) (獨立) ①獨立也。謂不

頼他人之力而立。②孤立。無伴侶也。

ひとりね (名) (獨寐) 孤眠也。

ひとりむし (名) (火取蟲) 燈蛾也。一名さ

しきすずめ。うちすずめ。

ひとりもの (名) (一人者) 鰥也。寡也。

ひとる (動) (四) (日取) 卜日也。

ひとる (動) (四) (火取) 炙也。

ひとるたま (名) 上古舶來之珠也。集光

線。自其燒點取火。火珠。火精。

ひとり (活名) (日取) 謂擇吉日。

ひとわり (副) (二應) 一旦也。一度也。

一回也。ひとたび。いちど。いっくわい。皆

同。

ひとわらへ (活名) 謂爲人所嗤。同も

のわらひ。

ひとわるし (形動) (人惡) 謂對人足愧

耻。一さ (形名) 一さ (形) 一く (副)

ひな (名) (雞) ①鳥雞也。②冠凡小物之

語。③ひひな之異名。

◎同義 ひよこ。

ひな (名) (鄙) 都外之地也。同ひな。

ひなが (名) (日永) 謂日長。夏日也。

ひながた (名) (雞形) 物之模形也。文書之

例式也。

ひなさまやう (名) (雞桔梗) 野生之草

也。葉似撫子^{フシ}而薄。花紺色。似桔梗。一名

いばぎさやう。ひめぎさやう。又細葉沙

參。

ひなびし (名) (雞芥子) 罌粟之一種。一名

美人草。

ひなさき (名) (雞尖) ①烏帽子之眉之中

央。②女陰溺孔之突肉。一名吉舌。又陰

挺。

ひなし (活名) (日濟) 謂每日賠若干錢。

ひなし (形動) (便無) ひんなし之略言。

ひなた (名) (日向) 向日之處。陽也。陰之對。

ひなたぼこ (名) (日向誇) 負喧也。曝日

也。同ひなたぼこ。

ひなたぼこ (名) 同ひなたぼこ。

ひなのみやこ (名) (鄙之都) 謂古之國

府。

ひなは (名) (火繩) 絢竹皮之索也。用於

火鎗。一づづ (名) (火繩筒) 以ひなは

點火以發之鎗也。今廢。

ひなぶ (動) (上) (鄙) 謂似田舍風。同ひ

ななめ。

ひなぶり (活名) (夷振) 上古歌曲。因其節

奏而別之。是其一也。一名夷曲。

ひなみ (活名) (日並) 每日也。

ひなん (名) (非難) 謂舉過誤闕失而難之。

ひなん (名) (避難) 謂避禍難而之他處。

ひなん (名) (美男) 美男子也。一かつら

(名) (美男葛) されかつら之一名。

ひにく (名) (皮肉) ①肉及皮也。②謂譏

刺切於其人。

ひにん (名) (非人) ①罪囚也。②乞丐者

也。

ひね (名) (晚稻) 晚稻也。

ひね (名) 前條之轉也。前年所獲之穀類。皆

謂之。

ひねくる (動) (四) (弄) 弄也。拈也。謂以

指頭把弄物。

ひねく (動) (動) (四) 拗戾也。同なげける。

ひねずみ(名)(火鼠) 漢土傳云。火鼠棲於南荒外之火山。取其毛以織火浣布。

ひねもす(名)(終日) 終日也。

ひねり(活名)(拈) 拈也。●武器名。そでがらみ之類。一名ねぢ。●拗戻也。謂故與人意見反。一ふみ(名)(拈書) 數紙書占辭。拈爲圖。採取而占事者。一名もみくじ。●書牘拈戻一端以代封者。

ひねりいさす(動)(拈) 拈出也。又苦吟之謂。

ひねる(動)(四)(捻) ●謂指端捻捩。●回也。同めぐるす。首を「謂不容易首肯人言。

ひねる(動)(四)(捻) ●謂爲事務出於人意之表。●拗戻也。謂故與人意反。

ひのえ(名)(丙) 十干之第三位。

ひのねまじ(活名)(晝御座) 古。天子晝間所御之座也。在清涼殿。

ひのき(名)(檜木) 檜也。一名扁柏。

ひのくち(名)(樋口) 水門也。一名ぬせ

期也。

ひのまる(名)(日丸) 日章也。日本國旗用之。象於太陽。

ひのみやぐら(名)(火見櫓) 望火樓也。樓上常願望四方。見火災之起。則直報警赴救。一名ひのみ。

ひのめ(名)(日目) 日光也。

ひのもと(名)(火元) 矢火主也。同ひもと。

ひのもと(名)(日本) 日本之一名。

ひのもの(名)(火物) 火食也。凡食煮若炙而調者。一斷ち謂不口火食。

ひのよそひ(活名) 束帶也。同ひのさうちく。

ひは(名)(鵲) 鳥名也。形小於雀。全身青黃色。好食稗。一名まひば。からひば。金雀。金翅雀。

ひば(名)(檜葉) ●檜也。●あすはひのき。及あすならう之一名。俱木名也。

ひば(名)(乾葉) 大根莖葉之乾燥者。

きのくち(槓)

ひのくるま(名)(火車) ●佛教。地獄有此車。火常炎炎。載罪人亡魂而牽之。●謂極貧之苦。

ひのと(名)(火子) 火花。飛火。火星。火片。謂失火之時。火亂迸於四方者。

ひのさうぞく(名)(晝裝束) 束帶也。同ひのよそひ。

ひのし(名)(火熨斗) 熨斗也。

ひのした(名)(日下) 猶謂太陽所照臨。同あめがした。一開山。天下第一人之謂。

ひのためし(活名)(水様) 古。元日宮内省奏氷室所藏氷之厚薄。以是卜一年豐凶。

ひのて(名)(火手) 火勢也。

ひので(活名)(日出) 日出也。

ひのど(名)(丁) 十干第四位之名。

ひのはかま(名) 緋色袴也。宮女穿之。

ひのべ(活名)(日延) 延期也。緩



[まかはのひ]

ひはり(名)(琵琶) 樂器之名。琵琶也。

ひは(名)(枇杷) 木名也。其實可食。初夏黃熟。一えふたり(名)(枇杷葉湯) 去枇杷葉面上之褐毛。乾而煎者。飲之。能避夏時諸病云。

ひはら(名)(誹謗) 誹謗也。讒謗也。そしる。わるくち。皆同。

ひはら(名)(秘方) 藥方之秘訣也。

ひぼろ(名)(未亡人) 夫死之後。其妻自稱之語。同やもめ。

ひばかり(活名)(日計) 蝮蛇之有劇毒者也。爲其所嚙者一日而死。故名。

ひはぎ(活名) 行劫也。劫人於道路。奪其衣物貨財之賊。一名おひはぎ。ひきはぎ。おひおとし。

ひはく(名)(飛白) ●かすりじま之様式。

●漢字書體之一。

ひばこ(名)(火箱) 筐爲爐底者。

ひばこ(名)(槓匣) 槓匣也。

ひばし(名)(火箸) 火筋也。挾炭火之具。

多以金屬製之。

ひばしら 謂紅柱夜直立於空中者。微蟲群集爲之也。俗間恐爲大災前兆。

ひはだり [名] (檜皮) 檜皮也。一名まいはだ。いろ [名] (檜皮色) 染色之名。

ひばち [名] (火鉢) 火盆也。盛炭火置房室中以防寒之具。

ひはちや [名] (鴉茶) 染色之一。

ひはづ [名] (織弱) ひはやかなるも織弱也。い [副]

ひばな [名] (火花) 火片之飛散者。同ひの。

ひばば [名] (曾祖母) 祖父母之母也。同ひばおば。

ひはほふ [名] (琵琶法師) 管人彈琵琶者。

ひはやか [名] (形名) (織弱) 織弱也。たをやか。ひはづ。皆同。い [副]

ひはら [名] (横腹) 腹之左右側也。一名よこばら。

ひばり [名] (雲雀) 鳥名。告天子也。天鵝也。いび [名] (雲雀毛) 謂馬毛黃白雜駁者。

ひひ [名] (狒狒) 獸名。猴類也。栖深山。多產於亞弗利加。身長三尺許。頰上有青脂。容貌醜惡。性亦兇暴。一名やまわらば。又やまわろ。

ひひ [名] (皸) 皸也。謂手足凍裂。あかぎれ之小者。

ひび [名] (皸) 皸也。一名ひびれ。ひびき。ひびり。

ひび [名] (粗朶) 之植於海中。使寄生海苔者。

ひび [副] (日日) 日日也。毎日也。

ひびかす [動] (響) 使響也。諷諭也。同ほのめかす。

ひびき [活名] (響) 音響也。韻也。風聞也。同ひやうばん。影響也。同ひび。響 [名] (響名) 鸚鵡石之類。

ひびく [動] (響) 聲音聞於他方謂。

◎生韻也。◎爲世人所評也。◎(通徹) 謂世人傳聞無不知者。

ひびく [動] (四) (疼) 疼痛也。ひびらく。ひりひりす。うづく。皆同。

ひびと [名] (曾孫) 曾孫也。謂孫之子。一名ひま。

ひびし [形動] (美美) 麗美也。美極也。美觀也。いさ [形名] いさ [形] い [副]

ひびとひ [名] (日一日) 終日也。同ひれもす。

ひびひな [名] (雛) 女兒玩具之偶人也。以紙若土造之。三月三日陳列之。供飲饌。此圖則足利時代之物也。

ひびやう [名] (批評) 批評也。いす [動]

ひびやうるん [名] (避病院) 病院。專治療傳染性病者處。

ひびやき [活名] 磁器故用釉存裂紋者也。



[なひひ]

ひひらぎ [名] (終) 木名。巴天戟也。生山中。葉厚。周圍有刺。其材堅緻。用造そろばん珠。一名杠谷樹。又枸骨。

ひびらく [動] (四) (疼) 微動也。疼也。

◎(同義) うづく。ひりくす。

ひびり [活名] (劈痕) ひび之今言。裂紋也。

ひびる [動] (四) (冲) 飛揚也。同ひらくす。

ひびる [名] (蛾) ひとりむし之總名。蠶所羽化之蛹也。

ひふ [名] (被風) 老人及婦女穿之。外套之一。似羽織。而製少異。

ひふ [名] (皮膚) 皮膚也。はだ。はだへ。皆同。

ひふ [名] (日步) 一日之利息也。

ひふ [名] (日賦) 借金毎日分償若干錢。謂之。ひふきだけ [名] (火吹竹) 吹火管也。一名。ふきだけ。又吹竹筒。